(日刊) 明治四十年十一月三日第三種郵便物認可

滿洲日報

夕刊 九月十三日

發行編輯印刷人 山口庄太郎 / 木下山二郎 / 佐々木鉄雄

大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

昭和五年九月十四日　滿洲日報　(日曜日)　第八千七百五十一號　(一)

審議中止は不穩當と委員外顧問官が反對

輿論の條約賛成をも察知して

精査委員の態度緩和

【東京特電十三日發】十二日の樞府精査委員會散會後濱口首相は首相官邸に安達内相、江木鐵相、松田拓相、阿部陸相代理等を各別に招致し、同日の委員會の經過を報告し併せて今後の對樞府策に關し種々協議する所あり、一方財部海相も海相官邸において小林次官、堀軍務局長等と會合し同日の委員會の經過、就中統帥權問題、條約兵力量問題に就き協議した、十二日の**委員會の形勢については政府側はやゝ樂觀の態で**、殊に財部海相の如きは「小春日和」と頗る上機嫌であつた、即ち政府側の觀る所では同日の委員會においては統帥權、條約兵力量、國防補充計畫等の問題を中心として既に今まで繰返された質問に對し政府側も從來の答辯を答返したに過ぎなかつた、樞府側の質問も別に新たな所も無くまた特に追窮するといふやうな語調も見えなかつた、殊に伊東委員長の議事進行振等は非常に政府に好意的であつた、これ等の點から觀測すると樞府の態度は頗る緩和して來たものと見る事が出來やう、**樞府の態度がかく急變し來た理由は**判然しないけれども委員中の最強硬論者が主張するやうな**審議中止問題に對しては委員外顧問官中には不穩當の處置なりとして反對論者があり、輿論の大勢もロンドン條約に對しては賛成してゐる所から**遂にその主張を枉ぐるに至つたものであらう、即ち委員會としてはこゝ數日中に顧問官多數の意嚮が何處にあるかを實際について調べた上更に世論の趨向を見た上で善處せんとするに至るものであらう、さうすれば顧問官中には國際關係の大局から見て**條約承認の態度に出づる向が必ず多數を占むるであらうから結局警告位は附されるとしても**審議不能を奉答するやうな事は萬々あるまい、從つて樞府今後の態度は悲觀するを要しない、といふ觀測が一致してゐる、尚今後の對策については樞府の出やうを見ることが必要であるが如何なる場合があつても政府としては既定方針を變更する所なく補充計畫の内容は勿論、右に要する經費、負擔輕減額、軍事參議會の奉答文等は一切提出せぬ方針で進むことに意見一致した

[illegible]者によれば本計畫の立案遂行は軍部との意見一致を要するものであるから政府のみの説明を信ずることは出來ぬ軍部の決定したる奉答文提示の必要なる所以を暗に力說したるに對し海相は奉答文に觸れては質問者の滿足する答辯を與へなかつたのであるから、斯くて今一回質疑を續行することゝなつたのである

條約通過は確實

政府漸やく前途を樂觀

【東京十三日發電通】民政黨の富田幹事長、加藤情報部長は十二日樞府委員會散會後官邸に首相を訪問し實情を聽取した處首相は本日は平凡に濟んだ、十五日には質問が終了するものと思ふから安心されたいと述べ政府の見込みを傳へたので與黨では安堵の色あり今後の條約案の審議には多少曲折はあつても條約通過の見込は確實となつたのでその際例へ警告等を附して來る事有つても政府は何等これに介意するの要なしと樂觀してゐる

質問はあと一回

きのふの委員會經過

【東京十三日發電通】十二日の委員會の經過に就し樞府側にては會議經過を次の如く解してゐる、即ち十二日の委員會では明瞭山川委員よりロンドン條約の結果減税方針に對する政府の具體的所信につき質したる處政府側では依然數字的答辯を與へずよつて樞府側としては補充計畫の如何によつては條約の一日的たる國民負擔輕減は達成せられず又負擔增加となるべき懸念に對しても何等賴るべき反證なし故に本條約案の實質的審議はこれを以て一先づ打切るの外なしとして事實上本案審議は打切られこゝに漸く本案審議の總ざらへが開始せらるゝ事となり先づ議に審議不明として質疑を留保してゐた統帥權問題をむし返すことゝなり加藤大將が財部海相を訪問し同意を與へざりし旨を明かにして捻込みたる事實及び加藤前部長の海軍省に提出せる反駁書等質すべき新事實につき河合委員を中心に伊東委員長、金子、黒田の諸委員も交々同意問題につき政府を遺憾なく追窮し財部海相の受けた脈手は淺からざる模樣で統帥權事項に對する海相と軍令部長との覺書も持ち出された、右覺書は御裁裁を經たるものであるが政府は補充計畫につき責任を持つといはれても……

平沼樞府副議長、伊東委員長と會見

【ロンドン條約案審議に關し十一日伊東委員長邸に平沼副議長は訪問何か畫策を練つた（寫眞は右伊東、左平沼兩氏）】

樞府本會議

廿二、三日頃に開く

【東京十三日發電通】樞府精査委員會は來る十五日審議續行する事となつたが同日は軍事參議會で決定上奏せる奉答文の提示方を要求する筈でこれに對し政府は無論拒絶すべく更に十七日最後的委員會を開き精査委員會の態度を決定し來る二十二、三日頃本會議を開いて委員會の經過並に結果を報告して決定する順序である

政友會の三政策

聯合會に報告

【東京十三日發電通】政友會では十二日午後幹部及び政務調査會聯合會を開き犬養總裁以下出席森幹事長より挨拶ありたる後山本會長より

わが黨の新經濟國策及び當面の應急對策については曩て調査中であつたが十六日の臨時大會で新經濟國策の根本國策であるから今後更に調査を繼續して慎重に考究する方針である、この對策三案は國家焦眉の急務であるが故それぞれ特別委員會の議を纏めこゝに成案を得たもて不景氣對策、失業對策、減税政策につき具體案の概要を説明しこれに對し諸氏より質問あり更に各部會、特別委員會で協議の上來る十五日の政務調査會に附議決定することゝなり散會した

南方支持主張者はたゞ一人も無し

張煥相氏は出兵北方援助主張

奉派最高會議の雲行

北方政府は僞物

如何なる契約も承認せず

南京側の對外宣言

【南京十二日發電通】北方政府組織に關聯して國民政府は十二日夜大要左の對外宣言を發表した

北方政府は閻、馮、汪等逆賊の組織せる僞政府たる故如何なる國家、團體、個人たるを問はずこれと借款又は契約を締結する事は中國の内亂を助成するもので國民政府としては絶對に承認し難い又北方政府が最近骨董品を盛んに賣却しゐるがこれは中國の文化を破壞する行爲であるから中國國民はこれを絶對に買はざるやう諒解を得んとす

均善外交說明

朱外交處長より

【北京十二日發電通】外交處長朱鶴翔氏は均善外交に關し左の如き解釋を述べた

新政府の對外政策たる均善外交は蔣、王等の外交に名を藉り私腹を肥る虛僞外交と全然異なり世界の大勢に從つて相互利益を根本原則とし新政府に同情善感を與ふる國に對しては新政府も等しく同情善感を與ふるもので這は中國外交史上一新紀元だ

關内移動奉軍の目的は不明

列車未だ準備されず

駐防地入替の目的らしい

冬期を控へて決戰を開始

南北兩軍の配置状態

京漢線方面

津浦線方面

滿電は百名整理

職員廿名、傭員五十名、華人卅名

主任課長の退職五名

滿電傍系會社の整理は總會後に

横田滿電專務語る

今後引續き自然淘汰

市議補選の候補

六名となる

兼井、熊谷、吉田三氏いよいよけふ立候補屆出

滿電異動評

脇坂氏惜しまる

選擧場入場券

配布不能一千名

安藤明道氏

榮轉か

大藏省に返咲き

財部海相に

辭職勸告

洋々會代表から

食糧檢查登記

機關設置

駐露大使に

廣田和蘭公使

關東廳辭令

人事

大觀小觀

走馬燈

玖溪生

南北兩政府

去る九日閻錫山氏の政府主席就任に由つて組織權に就き支那は茲にまた南北兩政府の分立を見る事となる、元來北方政府は曩に汪精衞氏北上と共に一氣推進的に成立さるべき者なりしに黨部問題や、張學良氏態背問題などに遲疑逡巡して決せず、山東喪失、士氣不振の今日において無理に成立せしむる事は決してその時機を得た者では無い、現在戰局は南軍有利にして兎角北風不競の概ある上に、北方政府の内部は玉石混淆、水油不和の憾

…滿足する答辯を與へなかつたので

◇

…の下に在れば、南軍の外部よりの壓迫を待つ迄もなく、政府内部の軋轢紛爭よりして瓦解し或は三日天下に終るべく期待されぬ事も無い。

◇

されば北方政府の成立は支那今後の戰亂を延長する者として、特に南京政府の支那統一を熱望する蔣介石同情者においては北方政府を無用有害の長物として其の存立を呪ふであらう。然し吾人はこれを悠久なる支那歷史より觀て、又これを至難なる統一より觀て閻、馮、汪派立政府の成立は支那歷史上の一行程、支那革命上の一過程として願有…

俠艶一代男（55）

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

お千賀の行方（十一）

老婆は、黑ずんだ齒齦に二三本殘る前齒を露らにニヤリと笑つて

「お孃さん、お前さんはお千賀さんとやら云ひなさつたれ」

「はい！どうぞお願ひでござんすから、早う父のゐる座敷へお連れ下さいまし」

賤いかゝる恐怖が、黴臭ひ居間のうちに一杯で、胸を喰まれる思ひがした。

「あいよ」

老婆はまた意味あり氣にニヤリと笑んで、輕く二三度頷いてみせた。

流れに白蓮の花が浮く模樣を描いてある、煤け切つた向ひ襖を開けると、埃だらけな廊下が奥へ通じてゐる。

「かうお出で！」

言葉が急にぞんざいに變つた。

お千賀は云れる儘に、暗い灯影一つ射さない長い廊下を、足裏に感ずる冷たさざらくくする埃を無氣味に感じながら、手探り、足探り、たゞくと顫えながら從つた。幾曲りかしたであらう時。向ふに灯の影が細ぐ襖の隙から射してゐるらしいのを見た。

「連れてきたか？」

室内から、確に道玄と思はれる男の聲。足音を聞きつけて呼かけた。

「あいよ」と、老婆が落ちついた返事。

ガラリと襖が開いて、明るい小座敷、飯臺の膳を前に、獨りでチビリくく飲んでゐたらしい道玄が京風の饂目の丸行燈を後に、黑い大入道の影を作つて、出入口に立ちはだかつた。

「おうお千賀さんか？待ち飽れてゐた」

「小父さん……！」と、縋りつく様に、お千賀は座敷へ轉け入ると、自然に淚が何の譯もなくホロリと膝へ落ちた。

「どうしなさつた？大變に隙取つたぢやねえか？隨分と待兼ねてたぜ、まアいゝやそこへ坐んなせえ」

と、道玄は膝の前、元の席に胡坐を組むと

「一杯どうだれ？氣を落ちつけるにや持つてこいの代物さ」と、盃を突きつけた。

「いえ……」と、激しく頭を橫に振りながら

「父は……？父さんは、どこにござんすか？早う逢はして下さいまし」

「合點だツ！心配しなさんな」

「でも氣掛りでなりませぬ」

「まアいゝと云ふにさ。それより一杯、飲んでみたらどうだれ？最初は苦いやうだが少し經ちやア、カラリと胸が開けていゝ氣持になる。それが酒の德さ」

「いえ、私は頂きません。それよりは早く父さんに逢はして下さいませ」

「さうかい！尤もなわけだが實はお千賀さん！お父さんと石上さまはつい今し方まで、お前さんの來るのを、今かくくと待つてお出でだつたが、あんまり遲いので、暫くこゝに入り違ひにお戻りになつたのさ」

「えツ！」と、お千賀はのけぞる程に吃驚して「では父さんはもう戻りましたのか？」

「さうさ。本當に殘念だつたよ。石上さまもな」と、落ちつき臭つて、冷たい酒、獨りで酌をするとぐびりと飲んだ。

老婆は、襖ぎはに突立つて、鏡りに道玄と眼で何やらを語り合つてゐた。

「小父さん、こゝは石上さまのお邸ではござんせぬのかえ？」

「と云ふわけでもねえ。御本宅はお茶の水上だが、まア別邸……さうだ。別邸のやうなものさ」

「では何處でござんすかえ？」

「そんな事はどうでもいゝこと、また明日にでもなつたら詳しく話してきかせやう。な、何も心配することはねえ、この道玄がついてるから安心してお父さんの傍にゐると同じに思へばいゝ！」

老婆がふゝんと、鼻で笑ふのを道玄が險しい眼で睨みつけた。

「小父さん！私を家へ戻して下さ

い。お願ひでございます」と、お千賀は思ひつめたらしく頼んだ。

キネマと演藝

浪曲京山幸枝　明日から大劇で

浪曲京山幸枝一行は愈々十四日から大連劇場で開演するが多人數の讀み手にて午後正六時より幕をあけ主なる讀物は左の如くであると

▲人情百々千鳥　八洲天祐
▲誠忠錄　秋津櫻洲
▲日本海戰記（軍歌節）京山時丸
▲難波戰記（滑稽讀み）藤川友春
▲太刀山と藝者
▲會津小鐵　京山幸枝
入場料は時節柄一圓均一特等一圓五十錢の由

琵琶愛吟會　今夕遊樂館で

琵琶界各派の同志が集つて今回新に組織した愛吟會にては今十四日午後六時より遊樂館に於て第一回演奏會を催すが、番組は左の如くである

▲春日野	錦心流	宮本清光
▲西郷隆盛	同	細川務水
▲旅順開城	筑流	鍛川冨雪
▲月下陣	錦心流	河口丞水
▲臺灣入	錦光流	魚谷光正孃
▲別れの盃	錦心流	川西秤水
▲乃木將軍	同	鹽谷野水
▲常陸丸	同	淺□願水

藤間勘奈津披露目　やなぎ會溫習會　愈よ十月上旬に大連劇場で　華々しく開催に決る

藤間勘奈津師匠名披露目のやなぎ主催の第三回北村席溫習會は愈々來る十月上旬（十月三、四、五日の會期は都合で延期）三日間大連劇場に於て杵屋六寒三郎田中傳兵衛兩師匠補導の下に華々しく開催することに決定しプログラムを發表した、殊に今回は大道具に力を注ぎ新しい舞臺を見せるべく大車輪で演し物も亦、長唄の素囃子、舞踊は勿論清元を演じ更に勘奈津師匠振付の詩情の豐かな民謠舞踊及び童心を表現した可愛い童謠舞踊時代の尖端をゆくダンスを見せる等從來の大連に於ける溫習會の舊套を脫した行き方を示し秋の舞踊音曲界を飾るべく非常な意氣込みで大いに期待されてゐる、プログラムのうち主なるものは左の如くである

▲舞踊（長唄）雛鶴三番叟▲民謠（映畫小唄）祇園小唄▲民謠梅の小枝▲民謠富士山見れば▲民謠忘れな草▲民謠夏の雲▲民謠（映畫小唄）お吉▲童謠かくくコロリ▲童謠紙人形▲童謠からかさ▲素囃し（長唄）勸進帳▲素囃し（新曲長唄）浦島▲素囃し（長唄）秋の色種▲舞踊（清元）おかる勘平道行▲舞踊（長唄）鷺娘▲舞踊（清元）玉兎▲舞踊兎ダンス▲舞踊（新作長唄）都鳥▲舞踊（長唄）多摩川▲舞踊（長唄）新鹿の子道成寺▲三絃童謠雀追ひ雀ダンス▲新作舞踊劇吉野山▲新作舞踊聚樂邸▲新作舞踊劇三條大橋▲舞踊（長唄）奴道成寺

その夜の妻

◆新青年紙上に「九時から九時」までとして發表されたオスカー・シスゴール作の小品の映畫化で、紙上では四頁ぐらいの短いものであつたやうに記憶してゐる。病兒と夫の爲に、强盜をした夫を捕へに來た刑事に短銃を向ける妻の夜更けより夜明けまでの物語り。映畫として、實によく出來てゐる。確かによい映畫の内に入れる事が出來る映畫ではあるが、唯八卷物にするには原作が餘りに單篇で變化に乏しいものであつた事が殘念に思はれた

◆小津の作品としては確かに今までより變つてゐる。メロドラマ的な味を多分に持つた映畫である。同じメロドラマとして發表されたものでも以前の「朗らかに步め」がやゝ太い線で描いてあつたに反して此は全々細い線で、力强く描いてある。ただし餘りこまかく描いた爲に力强さとスピードを損じてゐる點もあるが　小津の持つ多くの長所にかくれて餘り目立たない

◆八雲、岡田は例の如くで、餘り取り立てて云ふ程の點はない。それよりも新入社の山本冬郷がよき適役として、堅實老巧な性格俳優ぶりを見せてゐる。おちつきのある此の映畫、無解說の方が氣分が出るかもしれない。此の映畫の解說者は一度「九時から九時まで」を讀んでおくべきだ【次週帝國館上映――二】

コロムビアレコード演奏會

今十三日（土曜日）午後六時半から電氣遊園音樂堂に於てコロムビアレコード演奏會を催す

噂話

ゆふべ淡月で北村席が溫習會開催のお披露目をしたが▲餘興に勘奈津師匠が先づ「連獅子」に次いで新舞踊の見本に俄仕立の「葦草」をレコードの伴奏でひと踊あざやかなところを見せて尖端鑑賞者の心意氣はこの通りと許り歌江の獨唱で宇女ゝ、てまり宇女柳の三人が鹿の子の振袖姿で「唐人お吉」を見せたが▲小唄映畫のプロローグとして申分のないやうな行き方で映畫館も賑つてゐる時ではあるまい▲古い習の溫習會で映畫館がゆり起されるなんて大連らしい話ではあるが……▲帝劇の女優が御殿女中になつてルビーの指環をさして舞臺

活動屋の女性觀　蔦　楢　天

E

彼には愛する妻がある。でもる樣に見えない。資本主義の□に當面し、妻を所有することにつて然るべきに何事ぞ！彼はせるとを極端に隱そうとさせゐる。

ジャーナリズムと巧な□ら彼の評判されたる艷文が入られる時に、微笑する。□吐露すべき心緖□感ない事實である。

F

G

ペーブメント

▲紫竹會なんかでもよく見受けるやうに三味線や立方の腕に時計がチラつく位おかしなものはないに出たのは有名な笑ひ草であるが

近代都市の夜を華やかに彩るネオンサイン時代が大連にも近づいて來た、名前からしてシイクなネオン・サイン、近代人の感覺にぴつたりと來るネオン・サインの光と色と言葉の響き、一番古いのが菜山電燈課長の洋行土産の滿電入口の英字の社名、それから三年經つて今春に入つて俄かに夜の浪速ブラに、連鎖商店に、また僅かに近代都市らしい匂ひを放つてゐる常盤橋附近に漫步の眼にチラホラと映るやうになつた、伊勢町の浪速ビルのピユーローがつけると間もなく梅園が商店廣告のトップを切つてネオン・サインの飾窓が斷然浪速ブラの足をとゞめさした岩倉洋行も上品なのをつけた、平田洋行は何時の間にか飾窓から引込めた、大山通ではジョン商會がたゞ一軒、連鎖商店ではマルタキの果物、その屋根には福昌公司の赤貝印ガソリンの廣告Shellが高くサインをかゝけ、そばやの蓬萊がモダン振りを示してゐる、近頃になつて東亞タバコがつけたが、せめてあれ位のものでないと引立たない。大連では優秀なもの、一つであらう。常盤座も計畫を早く實現さしたら……そして連鎖商店全部にネオン・サインが色と光を競つたならばと樂しい夢のやうな空想も描きたい、常盤橋では中央ビルに滿電の外に瓦斯會社が靑と赤、天滿屋ホテルの屋上にはズバ抜けて大きいキリンビールの赤い□、また最近開業した西廣場の□理の農水が西通の小路の入口で附近の薄闇に異彩を放つてそれから滿電屋上のスカイサインがないと物足りなく淋しいいつも續けて欲しいもので

ラヂオ

大連 JQAK

九月十四日午後

▲謠曲（俊寬）觀世流泉泰
▲ラヂオスケッチ（奈仁和風夫（細川）父（峯）冷子（大橋）ツを賣る男（高田）釣堀の川）迷子（駒田）警官（田代の母）菊池）虫屋（加藤）藥男（田代）似顏を描く畫家アイスクリームを賣る男其の他群衆大勢
▲落語（野球放送）柳川
▲浪花節（故鄕の錦）市村
▲支那唱（別宮門）唱劉金
▲付王振泉
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK

九月十四日午後六時廿
▲音樂名曲講座（娘道成寺）獅子を比較して）講演町寶演（三絃）中島雅樂之都嘉章
▲ピアノ獨奏（ノクターンショパン作澤田柳吉
▲新內（明烏後の正夢）淨士松津賀太夫、同尾登太夫味線同時蔦齊、上調子富三郎

映畫案内

十二日より

好評の大衆興行　九洲日報社懸賞當選　清瀨英治郎監督映畫
怨歌行
鳥羽陽之助、中村英雄　吉野朝子主演

小唄俳抒詩　木藤茂監督作品
佐渡おけさ
瀧花久子、東勇治主演
佐渡へ佐渡へと草木も靡くよ佐渡は居よいか住よいか……

大日活
久らく上映機問題で皆樣をお待たせしましたが、いよく今週より堂々大連映畫街を席捲すべく現る

獨逸ウファ社最大帝玉篇
バンチネロ
エウルネル・クラウス氏主演　イエニー・ユーゴー孃助演
あゝふるゝ涙をぎらす哀しき道化師の胸に秘めて・笑ひの物語・すべてアリテエよりの四人の……
覽以上作品

ミルトン・シルス氏主演　父性愛劇

ケン・メイナード氏主演の
無名の騎士

西部の曠原を背景に超スピード
本格的ソシアルダンスの名手ベトロフ
夫妻の舞踊
ウルトラモダンダンス……時代の……

常盤座
八日より　晝零時半より　夜正七時より　階上……　階下四十錢

大都會爆發篇
牛原虚彥監督作品
昨年驚異的な高評を贏ちました大都會勞働篇の同じスタッフの姉妹篇
稲田正夫原作　阪東壽之助
鈴木傳明主演
尻に敷かれて
□□
文部省選定　田中絹代……

帝國館
良い映畫と安い料金
九月十一日封切上映
劍の歌
時代　廿錢
お早く御出下さい
男！市川玉太郎主演
週木曜日は寶館の初日

通り魔
新興キネマ長瀨作品
市川百々之助主演

電氣館
市川百々之助映畫

海關收入から見た貿易の不振

八月から實施を見た輸出附加税は七萬三千餘兩

八月中に於ける大連海關總收入は八十二萬三十七兩にして、これを前月中の八十萬五千六十九兩に比すれば一萬五千八兩の増加を示してゐるが、八月よりは日支關税協定成立の結果として輸出附加税が減收されて居り、此の額は船舶税、戎克税沿岸貿易税の各附加税合計七萬三千五百七十一兩であるから海關收入としては増加し居るも貿易自體から觀れば、夏枯期の不況愈々深刻を加えたことを示して居る今各種別に示せば(單位海關兩)

税目	金額
輸入税	二五九、四六七
船舶税	一六一、九七〇
戎克税	一、六九八
沿岸貿易税	四、一九七
噸税	三七九
輸入附加税	三二八、五三二
輸出附加税	七三、五七一
合計	八二〇、〇三七

紡績の操短は三割四分邊まで

內外棉の岡田取締　斯業の不況を語る

十三日午前八時半入港のばいかる丸で內外棉花取締役岡田源太郎氏が來連したが氏は最近の我國紡績界の現狀に就いて語る

支那綿布の印度方面及び銀安の爲め支那節輸出がさつぱり駄目なので我國の紡績界は全く悲況のどん底です今までは一月に二十四、五萬俵の原棉を使つて居りましたが如上の輸出減のため操業短縮をせねばならず既に二割七分位の操短をやつてゐます、今のところ月十九萬俵位しか使へませんから更に操短を決行せねばならず結局三割四分位までいくでせう、米棉の本年の豫想高は昨年さ大した變りはありませんが何分繰越高が多いので原棉相場の前途は樂觀出來ません、さにかく我國産業界で紡績業だけは不況に當つて最後まで持堪えたのですが此の世界的不況には叶ひません、印度のボイコットは未だになかなか手堅いものでまあ國民的覺醒の結果さでも言ひませうか一寸當分局面打開出來さうにもありません、英國の紡績界にしろ我國以上に惡く、これは世界的な現象ですね、私は金州の工場を見て廻つて一週位當地に滯在してそれから青島上海へ廻ります

市內各銀行で購買會計畫

近く實現の模樣

市內各銀行では行員及び家族の消費經濟を合理化せしむるため滿鐵消費組合及關東廳購買組合等の方法に模し購買會の設置方につき寄々協議中であるが既に正金、鮮銀、正隆、滿銀の四行共贊成したので近く何等かの形で實現をみる模樣である

八月中の銀塊輸入商

本年八月中に上海香港兩港に輸入せる銀塊は二百七十五萬六千八百九十オンスで昨年の八月よりも減少してゐるが本年七月に比ぶれば大に増加してゐる、右の內米國より輸入せるものは二百六十三萬三千六百十オンスで大部分を占め他國よりの輸入は僅に十二萬三千二百八十オンスに過ぎない

十三日限り鈔票受渡高

大連取引所錢鈔市場に於ける九月十三日限り受渡しは十二日前場を以て納會を告げたが受渡し高は百二十四萬圓でこれを前期に比すさ四十萬圓の減少を示してゐる、受渡し標準値段は五十九圓三錢である、主なる手口を示せば左の如し(單位千圓)

▲賣方　徳泰一八〇、儲蓄二九〇、雙聚福一八〇、福順一二〇、義成信二一〇

▲買方　山田一五〇、山本一一〇、裕昌祥一七〇、三井四二〇、東昌祥一二〇

全國商議聯合會

各商議の提出議案

第十三回滿洲商工會議所聯合會は既報の通り來る二十六日、二十七日の兩日に亘り長春において開催されるが各地よりの提案を示せば左の如し

▲奉天商工會議所提出

一、滿洲に産業經濟の調査統制機關設置方建議の件

二、東洋拓殖會社の金利引下並に遲延利息違約金廢止方建議の件

▲鐵嶺商工會議所提出

一、朝鮮向粟の袋詰斤量並に一車袋數統一に關する件

▲四平街市民協會提出

一、全滿邦人特産物商輸出組合設立の件

▲哈爾濱日本商工會議所提出

一、貨物運賃引下方を南滿、東支兩鐵道に要望の件

二、浦鹽における蘇聯官憲の邦人壓迫問題に關し最重抗議方政府に要望の件

三、輸出補償法を滿洲に適用方要望の件

四、輸出補償法を滿洲に適用方要望の件

▲長春商工會議所提出

一、度量衡取締規則を滿鐵沿線附屬地に實施方關東長官に要望の件

二、商工會議所基金造成策に關し當局に要望の件

三、滿洲輸出組合に關する件

卸賣市場賣上げ去年に比し激減

八月中に於ける業績

八月中における市設中央卸賣市場の賣上高は點數二萬百八十七點、金額十萬一千七百三十八圓にして前月に比し點數三千三十點、金額八千三百五十五圓の増加を示した、この主なる原因は第一部(日本)輸入品を筆頭に支那及び臺灣よりの入荷激減し、加ふるに朝鮮よりは皆無なりしも地物の最盛期にして七萬六千餘圓の賣上を見たので他部の激減に拘らず斯く増加を示したのである、然るに前年同期に比較すれば七千九百四十六點、五萬五千四百八十圓の減小、同じく累計においては七千七百六十九點、十六萬九千百八十四圓の大減少振にて、前者は三割五分、後者は二割三分の減收に當る、この原因を各部に亘り調査するに第四部(地物)果實部中、桃は前年同期よりも、二千七百十八貫(對比七分)梨は一千四百三十八貫(六分)を増加せしも

全額は　反つて前者四千四百六十六圓(三割四分)後者は三千六十六圓(三割五分)の減少を示し、林檎は一萬六千二百三十二貫(四割四分)金額六千百九十三圓を各々減少した、林檎の減收は不作に基因し、桃、梨が數量において増加を示したるも金額において大減少となりしは銀價暴落のため奧地との取引圓滑ならず、荷問への結果安値ながらも投資の已むを得ざる狀態に至つたためで、葡萄が四百十四貫(三割)六百七十四圓を減少したのは開花期より結實期にかけて過度の旱魃を受けし直後豪雨に襲はれて黑痘病にかゝり多量の落果を見たのによる、なほ蔬菜中甜瓜は例年より雨量多かつたゝめ雨落ち腐敗を見る廉れありて、生産者の賣急ぎさなり從つて

非常の　安値にて昨年に比べ數量三十二萬八千六百七十八本(一割三分)を増加したが金額は却つて一萬四百六十三圓(三割四分)の減收を來し、昨年の一本平均一錢三厘強に對し本年は僅か八厘弱に當つた、第三部(支那)果實部の減少は昨年米國産のれもん、れーぶるの直輸入ありしも本年は入荷なかつた爲めで、朝鮮部の減少は本月中松茸の入荷がなかつたのによる、第一部(日本)蔬菜部において玉葱は本年愛知産の初入荷を見、五百六十七箱(一割三分)を増加せしも金額は五千七百五十八圓即ち約四割の減少を來した、これ內地豐作が幾分原因となつてゐるが該品の主なる得意先たる

奧地と　艀船が財界不況に禍され實需不振、供給過剩をして相場振はなかつた爲めである、馬鈴薯、黑芋の如きは安値のため採算不引合に出荷を見合せ、第一部蔬菜において七千餘圓の減收を來した、而して本月の商況を概說すれば相場は低落區々ながら果實部において內地輸入品は殆ど見るべきものなきも地物はこれに反し桃を初め林檎、梨、葡萄等の出廻り優良品の入荷を見、一貫高値一圓二十錢を示し、梨は二十世紀、長十郞、太白、明月の順に、林檎は紅魁、祝、紅魁、旭等西瓜に代りて新鮮な初秋の味覺をそゝるもの續々さして市場に現はれたが銀安關係による購買力の減退を招來して相場振はず、高値五十錢を越えず、梨は洋梨の

出廻り　旺盛なりしも買氣薄にて高値七十錢、仲値は三十五錢どころを往復した蔬菜部にあつて泉州玉葱は殆ど居据り狀態、根芋さ獨活の氣配は良好であつたが少量さ需要も一般的ならずして問題にならず、西瓜は肥後を初め大和、三河、和歌山等より續々の入荷を見、上旬出廻り期においては上物一貫四十錢見當なりしも下旬は終末期に入り入荷薄のため好氣配を示して、上押歩調を辿り終に七十五錢臺に及んだ、地物にありて甜瓜は初旬、雨のため荷主の賣急ぎあり、出廻り盛にして毎日十萬本を突破し賣上も千圓に及んだが中旬初めより漸落し下旬は釣瓶落しに激減して月末はその隆を潛めた、相場も最初上物一本二錢を呼んだが自然品質低下し且つ他の

果實に　押されて暴落し終に五厘見當の商內を見た、玉菜は第一回栽培物の端境期に入り朝瓜は終末に近づいて出廻り減少のため上押し、甘藷は逐日漸增の傾向にて自然下落を辿り月初の一貫五十錢に對し月末は二十錢に低落した、臺灣、朝鮮物は入荷杜絕して閑散を極め、本月は一般を通じて軟弱氣配裡に越月した、各部別の賣上を示せば左の如し(單位圓)

	賣買高	前月比較
日本物(蔬菜/果實)	[illegible]	減 [illegible]
臺灣物(蔬菜/果實)	[illegible]	同 [illegible]
支那物(蔬菜/果實)	[illegible]	同 [illegible]
朝鮮物(蔬菜/果實)	[illegible]	同 [illegible]
地場物(蔬菜/果實)	[illegible]	増 [illegible]
合計	一〇一、七三八	増 八、三五五
點數	二〇、一八七	増 三、〇三〇

國際聯盟總會

經濟關係の議題解說

(A)

國際聯盟第十一回總會は去る十日よりジュネーヴに於て開催された、場所は從來の總會に使用されたサール・ド・ラ・レフォールマシオン(宗教改革記念館)は手狹い通風さの關係で、今回の總會からはジュネーヴ大學の傍にあるパチマン・エレクトラルを使用することになり、聯盟事務局では旣に約二萬五千圓を投じて、聯盟總會に適する樣に內部の模樣替を行つた、昨年は英のマクドナルド、佛のブリアン、獨のストレーゼマン等の立役者の顏が並んだが、今回はストレーゼマン逝き、國際政治界は永遠に博士の溫顏に接する機會を失つたことは遺憾のきはみである、昨年は代表中現職の總理大臣の出席九名あつたが、今年は今迄の所で英、佛、獨等の歐洲大國よりの總理大臣は出席せず他の歐洲小國乃至英國自治領から一、二名の總理が出席する位である、然し外務大臣或は他の國務大臣は昨年の如く二十名位は出席する模樣で、佛のブリアン、英のヘンダーソン、獨のクルチウス、伊のグランヂー氏は勿論この中に含まれてゐる、日本よりは松平駐英、芳澤駐佛の兩大使、井上匡四郎子、支那からは駐米公使伍朝樞氏が出席總會の議事日程に上された議題は極めて多く、先づ總會議長及び副議長各委員長及び委員の選擧の後、過去一ケ年間の聯盟事業の報告に移り、各種の問題につき審議するのであるが、その中經濟財政問題は分科會たる第二委員會に於て審議される。以下今回の總會に於て審議さるべき經濟問題につきその簡單なる解說を試みることゝしよう。

輸出奬勵金と代金一部前拂ひ

南洋向林檎問題の當業者協議で要望に決す

滿洲林檎の南洋輸出につき十二日大連民政署にて當業者が協議會を開いたことは既報の通りで、南洋輸出は將來極めて有望であるが、現在においては運送費が元價の約半額に當り且つ代金回收が甚だ遲れるのが輸出を阻害してゐる有樣である、それで藤田商會としても運賃輕減につき汽船會社と極力折衝し、相當割引させることになつたが一方當業者としても荷造に相當の經費を要するので一箱當り五十錢の輸出奬勵金を果樹組合より受け更に組合より一箱につき五十錢の前拂立替を受くれば右の障害が取除かれることゝなり、現に組合に右資金を保有されてゐるので來る十六日旅順の果樹組合本部にて右の要望につき打合せをなすことゝなつた、因に藤田商會の輸出豫定個數は約一萬箱にして右の條件が實現すればその蒐集は困難でないさ

水産大會下打合

西部水産大會開催につき十三日午後一時より目下關東廳殖産課長も出席し大連民政署において關係各方面の準備打合せをなすさ

綿糸座談會開催

十五日午後三時から

既報の如く五品商品部の綿糸取引振興に關する座談會は都合により延期中のところ十五日午後三時より同所において丸永專務不破小一郎氏並に商品部主任藤井氏を中心として催す筈

滿洲の工業(六)

各種工業の概觀

窯業塗料染料肥料電氣瓦斯

◇…**陶器及硝子製造業**

滿洲における陶磁器は需要に比べて生産少く、主として上海や日本その他から輸入され、たゞ水盤の類のみは奉天、撫順、長春、本溪湖等において相當多量の生産が行はれてゐた、滿鐵では大正二年に中央試驗所に窯業試驗工場を附設し窯業の試驗研究を續けた結果、陶磁器工場が先づ企業試驗に成功したので大正九年に大連窯業公司が創設され、續いて大正十四年に耐火煉瓦、硝子工場事業を繼承して大連窯業株式會社が設立された、硝子製造では從來硝子屑を原料とする壜類、ランプホヤ等を製造する程度のものであつたが曹達硝子や硬質硝子の品質改善に成功し、その製品は南洋、印度、濠洲等にも廣く輸出さるゝに至り、かくて昭和三年十一月には大連窯業會社硝子工場を繼承して南滿硝子會社が設立された、次に滿鐵は板硝子製造の研究にも成功し沙河口に二萬四千坪の敷地を定めて工場建設に着手したが、その後旭硝子會社と共同經營をすることゝなり、大正十四年四月昌光硝子會社を創設した、同工場は一ケ年卅三萬函の製造能力あり、販路は南北支那及南洋方面にも及んでゐる、其他滿洲陶、玉置硝子(以上大連)安東硝子等の工場も生産に從事してゐる

◇…**塗料及染料製造業**

塗料は概ね鑛物質硬化塗料及豆油を原料とし、マグネシア粉末、ズタツコマンチエリア、陸石粉及トラスト、ペイントの類で主として大連及旅順にて製造されてゐる、膠は原料たる獸皮の産出豐富なるため相當の生産あり、その主産地は奉天、錦州、赤峰、ハルビン等である、邦人では大連の滿蒙礦產株式會社が主として骨膠を製造してゐる次に染料は支那人が衣服類用として多量の藍を需要し、古來北部滿洲地方の藍及び支那産藍、槐樹皮、楓樹染料等を用ゐてきたが一度ドイツ染料の滿洲輸入以來、その價格の低廉にして使用法便利なため一般に歡迎されて在來品は殆ち驅逐された、從來滿洲では化學染料の製造をなすものがなかつたが大正七年興田銀次郎氏が自己發明にかゝる黑色硫化染料の製造を企てゝ大連に工場を設け鋭意經營した結果、順調な發達を遂げ大正八年組織を改めて資本金二百萬圓の大和染料製布株式會社とした

◇…**肥料工業**　豆粕以外の肥料工業さしては鞍山製鐵所硫安工場、大連瓦斯會社硫酸アムモニア、滿蒙礦產會社の骨粉肥料などがある、硫安の一ケ年生産高は前記三工場を合せて約七千噸瓦にして內地及南滿各地に送られ、骨粉は染織その他の肥料さして歡迎される、この外に乾燥肥料を製造するものに大連の志岐組がある

◇…**電氣及瓦斯業**　滿洲における電氣事業は露西亞時代東淸鐵道會社の附屬事業として經營されたのが最初であるが明治卅七年五月我軍が大連を占領するや、これを踏襲し軍用及び官衙燈火用にあてた同卅九年には營口に日支合辦の營口水道電氣會社が設立された、大連の電氣事業は戰後、滿鐵が繼承し、爾來旅順、奉天、撫順、長春、本溪湖、安東、鐵嶺、遼陽、開原、瓦房店、大石橋、公主嶺、金州、四平街、鞍山、范家屯、貔子窩、普蘭店等の各地に相次で官私營又は日支合辦事業の經營を見るに至つた滿鐵は大正十五年六月電氣事業を分離して南滿電氣會社を設立し、その後鞍山、海城、瓦房店、大石橋、遼陽、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、范家屯等の各電燈會社を合併し又は株式の過半數を買收した、次に瓦斯事業は滿鐵が撫順炭利用の一方法として明治四十年に計畫し、同四十三年より大連で營業を開始したが相次で奉天、撫順、長春、安東、鞍山にも事業を開始した、大正十四年七月滿鐵はその經營にかゝる瓦斯事業(撫順を除く)を分離し南滿洲瓦斯會社を設立した

稅を徵せぬ中山港

今後六十年間

【廣東特電十二日發】國民政府では總理孫文の記念さして其の出生地なる廣東省中山縣の唐家灣を修築して中山港さ命名するに決定したが、今回本港を六十年間無稅港となし輸出入稅を免除するは勿論同港所屬の營業稅は開港に先だち撤廢する旨中山縣長宛命令した

黃塵

◇…一般證券界の受難時代さは言へ近頃五品市場の不振はひどいもので丸で株式部は閑古鳥の鳴き出しそうな寂れ方だ。

◇…タダ商品部の綿糸取引が彈むので幾らか公設市場らしい體面を保つてゐるに過ぎない、然し五品は細い糸で命脈を繫いでゐる形である。

◇…綿糸取引さいへばいよいよ來る十五日限りで安東の陸境關稅三分の一減稅が廢されることになるから今後は大連が有利さなり從つて商品市場も惠まれることになるかも知れない。

◇…現在大連市場の取引は大部分の鞘眞相場で實買を商品ざるが三品市場では大連筋が受渡して大阪市場に繫いで大連筋に提灯をつけた違ひはないさまで評判が良うだ。

◇…瀧石は國際經濟聯盟の一綿つスペキレーターさして經驗も其他海外材料に敏感なさころから相場の見方が正確だ當も良いが惡くされば大連のパクオがすぐれてゐるさも言ふ。

特產

大豆は昨日前場以來銀市の強含みを眺め又大勢安に押れ續落を呈せる氣先▲今朝は差したる買氣があつた譯ではないが埠頭在高薄を眺め現豆は強調を呈し又當期は現物高に添ひ三錢方の反撥を示した▲しかし十月もの以降は依然大勢安氣配に押され續落を呈して打ち止めた▲十一日現在埠頭在高一等品は二百四十三車で今月の一日に比すさ百三十八車の減少で特等品は一日より皆無である▲高粱は昨日在庫薄及び奧地高で踉り商狀を呈し今朝も引き續き奧地高及び出廻り皆無を眺めたにも拘らず伸び惱み保合で大引▲高粱は目先出廻り薄及び奧地の強氣配で底意強かりさも觀られてゐるが大豆の大勢安を眺めむしろ弱氣配ではなからうか。

錢鈔

昨日前場以來地場鈔票は內地政局懸念で急騰を呈せる氣先▲今朝は政局も今のところ一服狀態さなりたるにより海外材料さしての銀塊の反撥にも拘らず弱保合商狀で打ち止めた▲日米爲替は日銀の援入で現狀を維持されてゐるのであるが正貨の流出がかなりある樣であるから目前安氣配さ觀られてゐる▲又一般に鈔票の安値には飽かれ氣味であるから內地政局の一服を眺めても差したる反落はあるまいさ思はれる▲一部邦商では八圓臺迄は急落するさ觀測してゐるがこれはあまりに弱氣ではあるまいかさ思ふ▲銀價は最早底を入れ漸次回復の途上にあるものさ樂觀的觀察をなす人々もボツボツ現はれて來つゝある樣だ。

株式

今朝北濱の寄は鐘紡の二圓安を筆頭に諸株共軟調を呈し東京短期の新東も一圓安を入れ當市現物の新東もこれにつれ八十錢安さ寄つたが地場株は氣乘薄の折柄氣配惡らず同事を示した▲奉答文問題から早くも政變を見越して強張つてゐた相場だけに樞府對政府の空氣緩和の模樣を呈するや諸株共一齊安を演じた▲買方も折角の手がゝりを失つた譯であるから一般の諸株に對する物色買さ相俟つて過般來買過ぎはせぬかさ思はれた新東株にも氣疲れが見えて來た▲只直に崩れ立つ程の險惡味がないのは買方が比較的冷靜で急變化を好まず寧ろ株價を保たせてなるべく多く賣らうさするからである當分相場も漸衰時代を續ける外なからう。

綿糸

米棉情報は目星い買ひ物がない上にリヴアプールよりの情報が惡いのさ消費減が少い爲め市況は引續んださあり現物は二十五ポイント先物は二十ポイント方續落した▲大阪三品は原綿安に逆行して却て堅調を呈した材料を無視して強張るさころはあなざり難い商勢さも思はれるが強氣の腕力的相場の裏に些か無理がありはしないか▲政變氣構へを買つた相場なら樞府の態度緩和で失望せねばならないし米棉の安定を買つたら米棉安で反落すべきが當然であり實需買氣の擡頭を見越したのなら今少し期近物が引締られねばならない譯になる▲それらいづれも反映せざる處に相場に自然ならざるものがあり從つて安心買の出來ない處であらう。

市況(十三日)

特產

大豆當限強調

埠頭在庫品薄で

大豆現物は埠頭在庫品薄で強調を呈し當限も亦添ひ軟調、しかし先物は大勢安に押され軟調、豆粕、豆油も亦軟調高粱は保合で大引

鈔票弱保合

倫銀高乍ら

滿洲日報

社說 詰込主義の弊 教育者反省の秋

「兒童の世紀」が力說され愛の教育が强調されてゐる明らかなるべき現代の教育界に於て一學科が不出來だといふ理由から數名の幼き兒童の肉體に笞による體罰が課せられ、其のために一兒童が病床に臥するに至つたといふ事實は學校に愛兒を託してゐる多數父兄の胸に一抹の暗影を投げ與へた。抑も教育と體罰とは如何なる交渉を持つか、吾等は遺憾の事實を前にして聊か之を吟味して見る必要がある。

◇

現代の教育思潮から見て體罰を用ふる教育が拙劣なる教育法であることは何人も肯定するところであらう。之を教育史上に探るならば文化の幼稚な時代程、體罰が多く行はれてゐた。極端なる嚴格教育の行はれたスパルタに於ては矯正、鍛錬の二目的の下に盛に體罰が行はれローマの教育もスパルタ以上の體罰を行つた。中世に入ると宗教上の原罪說から「鞭つは惡魔を追ひ出す道なり」といふ考へから僧庵學校においては單に道德上の缺點のみならず、學習上の過誤に對しても鞭を以て酬いられた。ソロモンは「鞭を節する者は其の子を憎むものなり」と言ひ、メナンデルは「鞭打たざれば人は教育せらるゝことなし」と言つた。ドイツのラテン學校の如きは生徒を鞭うつために學校に靑い上衣を着たブルーマンと稱する特別の役人をすら置いた。十五世紀以後に於ては識見ある教育者の間に鞭を用ふることの不可なることが盛んに力說されラトケ・コメニウス・マルカスターなどは兒童教育から鞭を取り去れとまで極言するに至つた。しかし一部教育家の間にかゝる主張があるにかゝはらず頑迷なる教育者達は十七、八世紀に至るも鞭韃主義の舊態を改めず、十九世紀に於て初めてランカスターがバーロードに鞭のない學校を設け、鞭の教育も次第に影をひそめるに至つた。

◇

我國においても現在の學校の前身である寺小屋時代には相當、苛酷な體罰が行はれたらしいが、明治に入つて學制が布かれ體罰に關する規定が設けられ明治十二年發布の教育令第十六條には「凡そ學校にては生徒に體罰を加ふべからず」と規定し、其の後此の條文に多少の改竄が行はれたが明治三十三年八月改正の小學校令には「小學校長及教員は教育上必要と認めたるときは懲戒を加ふることを得但し體罰を加ふることを得ず」と規定し現今に及んでゐる。

◇

規定に於て嚴禁されるまでもなく體罰が教育の方法として許すべからざるものであることは識者の均しく認めるところであつて思慮ある親達は勿論思慮ある教師も亦教育に體罰を用ひない。一部硬教育主義者の間には「憎しとて叩くにあらず竹の雪」などゝいふ古句を提げ來り熱愛こめた體罰は必ず兒童を感銘せしむるものであるとの說を爲す者があるが、それは「鞭打たざれば人は教育せらるゝことなし」といふ古いローマ時代の教育を繰返すものにしか過ぎない。體罰が教育の方針として恥づべき手段であることは親が人の前で我が子の打擲を遠慮し、教師が視學や校長の參觀の際、或は研究授業の場合等に於て體罰が教育の一方法として用ひられることのないことによつても之を知ることが出來る。

◇

こゝにおいて吾人は現代教育の大いなる缺點を指摘することが出來る。缺陷とは何であるか、それは詰込主義の弊である。人の素質と天分とを見出しそれを十分發揚することが教育本來の目的である にかゝはらず兒童の個性を没却し徒らに器械的劃一を强ひ知能の傳達授受を以て職能とするため、そこに教育の無理が生じ、鞭をまで持ち出さなければならないことになる。伸びる技は伸ばせ、伸びぬ技は何故、伸びぬか先づ其の原因を探り然る後、其の對策を講ぜよ。教師には常に兒童を叱る前に教師自身を叱るだけの反省がなければならぬ。

◇

明らかなるべき教育場に殺伐なる體罰の行はれる今一つの原因は其の學校の空氣である。校長が部下職員を奴隷の如く怒號し、徒らに規定を嚴達履行せしめる如きことあれば部下教員の氣質も次第に荒み職員相互間の愛も姿をひそめて、やがてそれは教室に於て愛のない教育となつて兒童の上に反映することになるのである。こまやかな愛によつて營まれる朗かな家庭には體罰などの行はれない如くよく融和のされた圓滿な空氣の漲つてゐる學校には體罰の如き忌はしき非教育的な行爲の行はれる筈もない。

一種の微妙な關係に置かれた樞府と政府
深入りした感ある委員の態度
こゝ數日の成行重大

【東京特電十三日發】あはや正面衝突と思はれた政府對樞府の論戰は十二日の精査委員會で危機一髮といふところで「廻れ右ッ」一般の豫想を裏切つて何等の波瀾なく今まで行はれた質問應答を繰返したのみで次回は十五日と決定散會した。同日の樞府の形勢に對して

政府側は 案外樂觀的觀測を下しモウ樞府もこれ以上横車を押し審査不能などゝゴネるやうなことはあるまい、恐く行つても警告附乃至特別上奏の上條約案そのものは必ず可決されるものと觀てゐる、これに對し樞府側の觀るところは依然として既定方針に少しも變化はない、審査材料の不足は何といつても政府の不誠意によるこれが充分出揃はぬ以上審査不能に陷るも保し難しと氣味惡い脅し文句をいつてゐる、斯くの如く政府と樞府の觀測と見解は全然相反し、果して政府の觀るところが眞相か、それとも樞府の言分が當れるか、何れも相對峙してゐる當事者のいふところだけに第三者から觀れば事態は

頗る微妙 な關係に立てゐると觀る外はない、ところでこれまでの經過を觀るに政府側に重大な手落が二三あつただけに樞府の鐵詰に遭ひ窮に窮したのは當然の成行であるが、これに乘じ樞府側の追擊ぶりは少々分を忘れて深入し過ぎたとは明瞭な事實であらう、殊に樞府側は絕對安全の城壁に立て籠つて受身の政府を散々惱ましたばかりでは滿足せず勢ひに乘じて土壇場まで追詰めやうとしたところに何といつても無理がある、即ち統帥權干犯の點で政府を窮め海軍補充計畫並に減稅などについても政府に責任を持たせれば樞府としては十二分の成功であつた、これを未完成な補充計畫の內容や減稅案、或は政府が

公然提示 出來ないことの答文などについて餘り執拗にやり過ぎた事は却て第三者の反感を買つたものとさへいへぬでもない、又樞府といはず政府といはず或は周圍を取卷く種々の大小策士連などが醜い裏面の暗躍を行つたことも第三者の一般民衆には不愉快な一現象であつた、何れにしてもこゝ數日の成行こそ重大視すべきであらう

十一月には出來上ると言つてゐるが樞府もまさか夫れ迄待つ譯にも行くまい、そこで何とか圓滿解決するやう樞府も政府も交渉を進めやうとしてゐるのであるから我輩個人の考へとしては結局解決するのではなからうかと思ふてゐる

伊澤多喜男氏 政府を鞭撻

【東京十三日發電通】伊澤多喜男氏は十三日午後一時濱口首相を官邸に訪問し樞府委員會の情勢につき種々意見交換を爲したが伊澤氏は政府は如何なる場合にも所信をまげず輿論を背景とした既定方針で邁進せられ度いと進言した

議事の模樣から好轉と觀測する
政府側は依然樂觀

【東京十三日發電通】十二日に於ける樞府委員會の空氣を政府は好轉したと解し、一方樞府側の一部では樞府の態度に變化なしと依然强硬論を傳へてゐる事は既報の如くであるが政府側の見る處は樞府の態度が好轉せりや否やは政府でも疑問としてゐるが然し同日の議事進行の模樣から見ればどうしても好轉と見る外はない若し樞府が審議不能といふやうな態度を決定してゐるならば當日の久保田委員や金子委員より政府に對し條約實行上の注文や希望を述べる要はないがこの點より見るも好轉したと見る外はないと稱してゐる

翰長委員長訪問

【東京十三日發電通】二上樞府書記官長は十三日午前八時五十分伊東委員長を訪問し十二日の第十回委員會を以て條約案に對する政府側の答辯も大體聽取し終り十五日尚一回政府側は三大臣出席の下に最後の答辯を求めた後愈々委員會としての最後の態度を決定することゝなつたのでこの點の善後措置に關し委員長と種々意見を交換打合せを爲す處あつた

翰長、議長協議

【東京十三日發電通】二上樞府翰長は伊東委員長訪問に先立ち今朝八時倉富議長を自邸に訪ひロンドン條約案今後の審査方針につき種々打合せを爲し八時四十分辭去した

濱口首相鎌倉行き中止

【東京十三日發電通】樞府の形勢尚ほ樂觀を許さぬものある爲め濱口首相は恒例の鎌倉行を取止め明日の日曜も官邸に立籠り對策を錬ることゝなつた

福田顧問官が奔走
きのふ伊東伯を訪問
三時間餘に亘り懇談

【東京十三日發電通】樞府顧問官福田雅太郎大將は今日午後一時より四時迄三時間の長きに亘り伊東委員長と會談したが、其內容は同顧問官は濱口首相より推薦された關係上現內閣を支持せざる可らざる立場に在り、而して十五日の樞府委員會にて條約案は最後の決定に近付かんとしつゝあるに拘らず伊東委員長の肚の底が政府に摑めず、然も一面頻りに條約否決說等が傳へられつゝあるため、焦慮の餘り政府は密に福田顧問官に言含めて伊東伯を訪問せしめ樞府の情勢を探ると同時に、條約否決の不可なる事を說きて之を牽制せしめんとしたものであらうと言はれ、而して一部には或は福田顧問官は首相の意を受けて或種の諒解運動を爲したものではないかとも觀測するものあり何れにせよ同顧問官の奔走には相當の注目が拂はれてゐる

そう簡單には審議は行へまい
然し結局解決しやう…福田顧問官語る

【東京十三日發電通】伊東委員長訪問後福田顧問官は代々木自邸で語る

今日伊東伯を訪問したのは我輩が長崎縣人の會長をやつてゐるので先日の暴風水害救濟の基金募集が目的だつた、無論ロンドン條約についても話はあつた、然し我輩は伊東伯には幼少の頃から世話になつてゐるから我輩への話は幾分割引があると思ふ、精査委員會が何時終了するか的確には目鼻が付いてゐない、政府の方では焦つてゐるが樞府としても重大問題であるからさう簡單に審議を行ふ譯に行くまい政府と樞府がまるで喧嘩してゐるやうに世間では傳へてゐるが審議は圓滿に行はれてゐる、審議の內容に就ては統帥權問題は全く片付いてゐるのではないが政府も議會の答辯を變更して加藤大將の同意を得た答辯してゐるから委員も夫れで滿足したのだらう、議會の答辯通りだとすれば我輩も斷じて承知せぬ、然し政府が果して軍令部の同意を得たかどうかの點については矢張り議論があるやうだ、奉答文提出要求に對しては政府も何とか態度を決めねば委員會も審議を進める譯に行かぬだらう、最も問題となるのは兵力量の補充問題であると思ふ、國民負擔が却つて增すやうでは條約の精神に反するから樞府としては此の點に關する政府の明確な答辯が必要となつて來る、政府が說明出來れば補充計畫が出來るまで委員會を中止せねばならぬ破目に陷るかも知れない、政府は

第二回委員會の三相の答辯文書
要求により提出す

【東京十三日發電通】樞府精査委員會は第二回委員會に於ける政府側三大臣の說明內容を文書として提示するやう要求して來たので、政府は本日二上書記官長を通じ之を提出した、右政府側說明要項は左の如くである

- 濱口首相 ロンドン會議參加理由、回訓發送より條約案調印經緯及び一般國際事情に關する總括的大綱
- 幣原外相 華府會議以來ロンドン條約調印迄の外交經過
- 財部海相 海軍大臣として同條約案に贊成した理由並に軍事專門的事項

市議補選の立候補
九名にて愈よ決戰投票
きのふ午後十二時屆出締切る

大連市會議員補缺選擧は立候補屆出受付開始以來頗る氣乘薄にて、芦刈末喜氏が最初の名乘を擧げ續いて高塚源一、岡野勇兩氏が立候補の屆出をなしたのみであつたが十三日の締切日には俄然形勢逆轉して活況を呈し夕刊所報の如く乘井林藏並に吉田親數兩氏が出馬したが其後滿蒙土地の熊谷直治氏立ち續いて若狹町二一九貿易商五十崎正大(貿)並に初音町二九九辯護士木原鐵之助(辯)の兩氏は自薦にて立候補の屆出を最後に聖德街三丁目二三五醫師矢野靜哉(醫)氏は五泉辯護士の推薦にて立ち結局補缺六名に對して九名の候補者現はれ三名の超過となり愈々決戰投票が行はれることゝなつた、因に立候補者の氏名並に職業は左の如くである

△芦刈末喜(新聞記者) △高塚源一(著述業) △岡野勇(辯護士) △熊谷直治(滿蒙土地專務) △吉田親數(極東週報社長) △乘井林藏(公正社々長) △五十崎正大(貿易商) △木原鐵之助(辯護士) △矢野靜哉(醫師)

露支交涉方針を南京政府に請訓
露に誠意無しとして

【南京特電十二日發】張學良氏は本日南京政府へ次の如く報告し今後の露支交渉を如何にすべきやについて請訓した

莫全權入露以來カラハン氏と十數回に亘りて會見するところあつたことは既に報告濟の通りであるが要するに勞農露國の態度は無誠意極るものである、彼にして方針を改めざる限り莫全權をモスクワに滯在せしむることは今や不必要となつた、今後如何なる方針を以て交渉を進むべきや又は莫全權を引揚げしむべきやについて何分の指示を請ふ

歐洲聯盟案の支持者漸く增加
國際聯盟總會にて

【ジュネーヴ十二日發電通】本日午前の國際聯盟總會でブリアン佛外相の歐洲聯盟案に對する各國代表の演說が行はれたが同案の支持は次第に增加され各國代表は國際聯盟の業績の緩慢なるを知悉しこの上に歐洲聯盟に言及し之を許し新らしき歐洲聯盟が全世界に亘る廣汎な抱負よりも最も親しい國の多い歐洲問題に對し良く結晶するを得るであらうと述べた、即ちオランダ外相ブロクランド氏は世界大戰は國際間により緊密な協同の必要を自覺せしめた、就中大戰後の傾向は關稅保護政策に轉換を見せてゐるが關稅障壁程戰後の歐洲新興諸國に對し破壞的のものはない、よつてオランダは歐洲聯盟案を喜ぶと述べ、尚デンマーク外相ミュンヒ氏も左の贊成演說をなした、歐洲における一般的な不安の狀態はブリアン氏提唱の歐洲諸國協調機關の組織を可とすべき有力な論據である、從來歐洲諸國が交渉し合つた形式は今や不完全なものとなつた各國間の關係の更によき基礎が見出さなければならぬ

次にキューバ首席代表フェララ氏は現下の世界的經濟危機および各國間の政治的誤解につき極めて痛烈な口調で演說し歐洲聯盟案に言及し左の如く述べた

歐洲聯盟案は必然的に各國民間の精神的實質的軍縮の素因を作り國際聯盟にも一つの新らしい刺戟を與へるものである、嘗に歐洲大戰の苦き經驗を嘗めた人類は歐洲は危機の釀される度に測り知られざる經濟的不安を感ずる故に吾人は嚴密な五惡主義に準據せる歐洲の經濟的協約には雙手を擧げて贊成するものである

新聞記者を嫌ふエムシヤノフ氏
家族を引き具して いま星ケ浦の生活

◇…一時は東支鐵道管理局長として羽振りに從業員から鬼のやうに恐れられた彼、赤軍を引つ張つて來て東支幹線を占領してしまふとまで意氣込んだがうまく〱失敗して露支紛爭など引き起した彼、そして最後にはブルジュア的の生活をしたといふ科で收監されやうとしたので國外に逃亡しやうとまで企てた彼ではある、兎も角東支鐵道副管理局長といふ實質的には勢力を持たぬ閑職を辛うじて保つてゐるエムシヤノフ君が傳へられた長崎落ちを中止してひよつこり大連に來て腰を落付けた

◇…管理局長當時には大連に來る度に問題を起してゐたが今度はほんとうの避暑だと云ふことである、星ケ浦の四十六番バンガローを借り受けて家族ばかりの水入らずの生活をしてゐる、露支交渉が停頓々々でさつぱり埒が明かぬ今日理事會なども開いても效果がないのだから彼も悠々靜養するつもりなのだらう

◇…管理局長在任中一度も新聞記者に面會しなかつたと云ふレコード保持者だから駄目だとは思ひながら刺を通ずると十二三歲の腕白な小僧が出て來た「お父さんは今寢てゐるから起すと叱られるよ」尤もな話だそこへ四十位の中年增の夫人――と云ふのは言葉がもつたいない位の誰の目にも女中と間違へるやうな婦人が出て來て應對する、素足にスリッパを引つ掛けて日にやけた赤ら顏の體格のがつしりした婦人だ、話の具合でそれが副管理局長夫人なることを知つた、それにしてもこの土臭い一女性が彼に數千圓の毛皮の外套を買はせたり、アメリカのブルジュア氣取りで日本に避暑旅行をしたり、そして遂にはブルジュア的の生活をしたとの科で夫が收監されやうとまでした婦人だとは思はれない

◇…夫人の話はあまり要領がよすぎてこちらが逃げ腰だ「主人は一切人々に面會しません殊に新聞記者に對してはお目にかゝらぬことに決めてゐます」と「何時まで御滯在ですか」「判りません」これでは取りつく島もない、逃亡說で締められたのが餘程こたへてゐるらしい、彼の日課は十時頃起きて海に入つて十二時から四時頃まで寢て後は哈爾濱から來る新聞を讀んで一日を過ごすのだと云ふあの堂々たる體軀で毎日寢て暮してゐるといふのも面白い、何を考へて暮してゐるだらう?

◇…彼が副管理局長の職にあるのも長くはあるまいと噂されてゐるが解職されても再び歸國するだらうか?大きな疑問として取沙汰されてゐる、外國で貴族の如き豪勢な生活をしてゐる彼も一旦歸國すれば月二百五十ルーブル以下の收入に滿足せねばならぬ、チギーが逃れ、ベセドフスキーが逃れ最近までに在外通商代表二百數十名がプロの生活を嫌つて外國に逃亡したと傳へられる今日此頃、彼の心中少からず迷つてゐやう

◇…電信技手から出發して共產黨幹部にまで上つた彼ではあるがやはり世間並の上流生活にあこがれて一度は身の破滅を來たそうとしたこともある彼である、靜かに暮れてゆく星ケ浦の海を眺めてどんなことを考へて暮してゐるだらふ

獨逸の投資歡迎
東北鐵道事業に對し

【奉天特電十三日發】曩にドイツ實業團が來滿東北三省の經濟事情を調査して歸國したが右實業團が去月初旬交通委員會に對して東北鐵道に投資すべく十月中に代表者を送りたき旨交渉して來たので交通委員會は協議した結果東北は尚經濟的開發を要すべき餘地充分あり且ドイツの投資は何等政治的意味をふくまぬといふので投資を歡迎するに決したと

奉軍出兵の事實無し
長官公署否定

【奉天特電十三日發】關內奉天軍の出動說に對し長官公署は全然其事實なしと明白に否認してゐる、單なる兵時裝備の充實を誤り傳へたものらしい

青島市長閻氏に祝電

【北京特電十二日發】青島市長胡若愚氏は閻錫山氏に長文の祝電を發した、滿蒙天津要人で北方政府の主席就任を祝したのは氏一人である

張學良氏武器材料購入

【上海特電十三日發】張學良氏は當地においてドイツ商人から武器製造の材料二十萬噸を購入し目下海路營口へ輸送すべく準備中

唐紹儀氏北上疑問

【上海特電十三日發】唐紹儀氏の北方政府委員に推されたことは唐氏及その親近者の何等知るところないこゝで唐氏の秘書盧信氏が暗に策動し西山會議派と結んだ結果である從つて唐紹儀氏が北上するかどうか疑問だと見られてゐる

ザール地方撤兵實現

【ジュネーヴ十二日發電】國際聯盟理事會は十二日の會議において多年の懸案たるザール炭礦地方鐵道守備隊の撤退を決定しその結果現在同地方に駐屯せる三百名の聯合國の鐵道守備隊は今後三月以內に撤退することゝなり最近のライン撤兵と共にドイツは漸く多年の希望が達せられた譯である、尚同地方は一九三五年迄國務は聯盟の管理下に置き同年一月十日住民の一般投票によりその歸屬を決することゝなつた、因にザール地方はベルサイユ條約の規定によりフランスの占有に移され佛國は八千の軍隊を駐屯せしめてゐたがドイツの要求により遂に佛、白、英の軍隊八百名を以て鐵道守備隊としてこれに代らしめ後三百名に減員されてゐたものをライン撤兵と共にドイツは更にこれが撤退を要求し遂に成功したものでこれにより佛獨關係は好轉するものと見らる

四川省獨立し反蔣の通電

【漢口十二日發電通】四川省各軍將領は成都に於て會議を開きたる結果いよ〱反蔣聯盟成立し鄧文輝、鄧錫侯、田頌堯、楊森及び問題とされた劉湘もこれに參加し十日附四川省獨立聲明をなすと共に反蔣通電を發した、この結果右各軍の在漢口代表は昨夜十時頃何れも逃亡した

仙石總裁日程
哈爾濱における

【ハルビン特電十二日發】仙石滿鐵總裁は廿四日十五時着哈、その夜露支關係者を招待し廿五日一泊し廿六日九時十五分發列車で南下するが、廿五日には日本人有志と會見の豫定で民會主催の歡迎會を催す筈

遼寧救災費に蔣氏義捐

【奉天特電十三日發】蔣介石氏は吳鐵城氏を通じて遼寧省の水害救濟金に二十萬元を寄附する旨張學良氏に電告した

遼寧警務處長更迭

【奉天特電十三日發】遼寧全省警察處長孫旭昌氏は今回東北騎兵第一師長に榮轉するに內定しその後任として瀋陽公安局長白銘鎭氏、又公安局長には安東公安局長張漢威氏が昇任する模樣である

政府米拂下げ 二十五萬石

【東京十三日發電通】政府は今回左記要項に依り籾米拂下げを實施したる第一次第二項の米拂下げ殘り二十五萬石を賣却するに決定した

一、賣却時期 現品及び見本下見九月十七日、申込受付九月十八日正午迄
一、賣却數量 大正十五年產米四百石、昭和二年產米二十三萬三百五石六斗、昭和三年產米一萬九千二百九十四石四斗、計二十五萬石
一、受渡期 契約成立の翌日より二十日(九月十九日より十月八日迄)

とし政府倉庫保管の搬出期間は契約成立翌日より三十日間

辭令

【東京十三日發電通】

昭和五年特別大演習觀艦式指揮官被仰付 海軍中將 山本英輔
同參謀長被仰付 海軍少將 鹽澤幸一
同副官被仰付 海軍中佐 後藤輝造

關東廳辭令(十二日付)

兼任稅關事務官 關東廳事務官兼關東廳秘書官 安藤明道
敍高等官三等

人事

▲久保田春光氏(奉天醫大教授)十三日二十時三十分の急行にてヤマトホテルへ

安樂椅子

張學良氏の南北に對する態度は依然嚴正中立を固守してゐるとはいへ銃器彈藥等の加勢の點から考へると北に七分、南に三分といふ比例を生じてゐる▲奉派の巨頭會議を前にして國民政府代表方本仁、吳鐵城、張群の諸氏その使命を果すべく聊かあせり氣味となつて十一日張學良氏を訪問し膝詰談判曰く 貴官の態度不明にして未だにわが使命を全うする能はず、今回の奉派巨頭會議に先立ち東北省としての態度及び執らるべき內容如何にや その質問に對し張學良氏は いやお質問は尤もな話、今回の巨頭會議の主要目は內治外交時局問題にあり時局問題に關しては既に奉天に集中してゐる奉派の巨頭連も本官と同樣意見である故に巨頭會議としても別に變化はなし東北省としての態度は最初聲明せる如く絕對中立を嚴守するものである との返事▲聊か物足らぬ代表はスゴ〱引下つたとの事であるが何れにせよ近く開かれる巨頭會議で奉派としての態度を確定しなければならぬといふ板挾みの間にある學良氏は何時までも嚴正中立を押し通すかどうか

市況(十三日)

株式 後場引 氣配變らず 無味閑散

內地は諸株共弱保合を入れて當市も氣乘らず新豆は十錢安新東鐘新は二十錢安を示し閑散裡に大引

特產 大豆當限强調 品薄を眺め

大豆現物は前場より引き續き品薄を眺め好調を呈し當限も亦遂び六錢方の昂騰、豆粕、豆油は出來不申、高粱は强保合で大引

錢鈔 鈔票弱氣配 人氣引立す

前場より引き續き內地政局懸念一服を眺め人氣引き立ず倫銀の好調を響かず弱氣配を辿りて大引

商品 後場 大阪三品引綻り 地場は氣迷

大阪三品後場强調を示したが當市は賣人氣乍ら休日控へに警戒して見送りの態であつた

綿糸(出來不申)
麻袋(出來不申)

市場電報(十三日)

神戸特產 大阪株式 東京株式(長期) 東京株式(短期) 大阪綿糸 大阪期米 神戸期米 東京期米

大連市公報を添ふ

コドモ

倒れるかも知れない 名物のピザの傾塔
根元に雨の水が貯つたのです

先づこゝに載つて居る傾いた塔の寫眞をごらんなさい、皆さんの中には一目見て「ハヽア これは世界七不思議の一つとして有名なイタリーにあるピザの斜塔だナ」とすぐおわかりになつた方もあるでせう、このピザの斜塔が大變なことに近頃降りつゞいた雨で塔の根もとのところに雨水がたくさんたまつて地盤に穴があき、うつかりすると此の塔が倒れるかも知れないといふのです、下の寫眞をごらんなさい、これは塔の根元に水の溜つてゐるところです、だが、六百年餘りも傾いたまゝで倒れないでゐるところを見ると、これ位のことでは中々倒れないかも知れません。

このピザの斜塔については昔から色々の説があつて皆さん方のお讀みになる兒童文庫などには建築中に斜いたのをそのまゝ工事を進めたのだといふやうに書いてありますが、このピザの附近には他にも幾つかの傾いた塔があるところから見て其の當時の人が好奇心からわざと斜めに設計したものらしいといふのがほんたうのやうです 此のピザの斜塔はごらんの通り外から見ると八階建てのやうですが、中は直通した圓筒で八階目にあたるところに數個の鐘が吊されてゐます、塔の高さは地上百八十尺、直徑は五十二尺で壁の厚さは十二尺ばかりもあります。

この塔がこんなに傾いてゐて中々倒れないのはどうしてでせう、重力の原理で學んだ方はすぐおわかりになるでせう。

深い海の底にもぐり 謎の世界の探險家
いろ〳〵な珍らしいお土産話
ビーブ博士の研究

おとぎばなしで見ると海の底には金や銀や水晶などで出來た目もまばゆいやうな龍宮城があつて、そこには美しい乙姫さまがいらつしやることになつてゐますが、ほんとうの海の底はどうして〳〵そんな美しいものではなくて、それは地上に住む私どもの想像も出來ないやうな恐ろしい靜寂と死の世界があるばかりなのです

表面から見るとあの青々とした海の水の底はどんなに美しいことだらうとも思はれますが、それはほんの表面に近いところだけのことで五千尺も入ると太陽の光線も全く通らない眞の暗黒世界です、海の表面には山なす大波が人も船も丸呑みにするやうな勢ひで荒れ狂ふてゐても深い海の底は靜かで音もなくざよめき一つしない死の世界なのです

昔から海の底の探檢を企てた人は決して少くありませんでした、しかし海水の壓力は一インチ平方に加はる壓力が一千尺毎に一噸づゝも増して行くので深い海にもぐり込むことは中々出來ません、それで深い海の底は昔から謎の世界となつたのでありましたが、近頃海底研究家のビーブ氏とそのお友達のオチス・バートン氏とは厚い硝子の窓をつけた大きな鋼鐵のボールの中に入り、ベルムダの沖で千四百二十六呎の海底にもぐり込み今まで知られなかつた不思議な世界を探檢しました

この鋼鐵のボールの中には酸素が用意されました、暗黒の世界を照らすためには強力な電燈も用意されました、電話機も用意されました、船の甲板の上でビーブ氏とオチス氏がボールの中にもぐり込むと外からは何百噸の壓力にも堪へる厚いトビラがしつかり閉ざされやがて長い〳〵綱で結びつけられたボールはクレーンによつて甲板上から海にする〳〵と降ろされました、甲板上の乘組員たちが片唾をのんで眺めてゐる中に二人を閉ぢこめた鋼鐵のボールは靜かに〳〵海の底へ沈んで行きました

ボールの中のビーブ博士とオチス・バートン氏とは一々深さを計る器械とにらめつこをしながらだん〳〵深く入つてゆきます、そして二百呎も降るとそろ〳〵珍しい世界が見えて來ました、光も通さない眞暗な海底の世界には今まで見たこともない妙な動物が螢のやうに光りを出しながら人魂のやうにふわ〳〵と游いでゐるのも見えました、お化のやうな顔のお魚もおよいでゐました、蛇とヰモリの合の子のやうなヒヨロ〳〵した魚も泳ぎ廻つてゐました、やがて二人の入つたこの鋼鐵ボールが再び甲板に引き上げられた時に二人はニコ〳〵しながら珍しいお土産話をどつさり持つてボールの中から出て來たのでした（寫眞は鋼鐵ボールの中から顔を出したビーブ博士と深海で撮つた珍しい深海魚の寫眞です）

負けるものか「我慢ごっこ」
子供は木の上で頑張り合ひ
米國は耐久競爭時代

「オイにらめつこをしやう、先に笑つた方が負けだよ」

これも一つの耐久競爭だ、だがそんなおやさしい耐久競爭でなくて中々念の入つた耐久競爭がアメリカでは大ばやりだ

「飛行機を何時間續けて飛ばせるかやつて見やう」といつてやりだしたのが抑々のはじまり

「何時間水泳を續けられるかやつて見やう」

一人がレコードをつくると「何に負けるものか、オレはもつと長い時間泳いで見せる」と負けぬ氣になつて別のがやり始める

「何日間御飯を食べないで居られるかやつて見やう」

「うんそれは面白い、やらう」

「小便をこらへる競爭をやらう」

「よし、やらう」

大人達があちらでもこちらでもこんなことを始めると何でも眞似たがる子供は中々默つては居ない

「オイ僕等も耐久競爭をやらうや」

「うん、やらう、何をやらうか」

「木登りをやらう、木の上にいつまでも登つてゐるんだ、長く登つてゐるものが勝だよ」

「面白いツ、やらう〳〵」

さあ大變だ、茶目坊共が公園あたりに行つて思ひ〳〵の木に攀ぢ登る

夕方になつても子供が歸つて來ないのでお母さん達があちらこちら探し廻すと、茶目公達が公園の木の上で澄まし込んでゐる

「オヤ〳〵あんなところに登つて居る、こまつた子だねえ、もう夕方になつたから早くおうちへお歸り」

「だつてお母さん今僕達木登りの耐久競爭をしてゐるのだから歸れないよ」

「えツ耐久競爭をしてゐるのかい それぢや、しつかりおやり今パンを持つて來て上げますからね」

さあこうなると大變なことだ、子供達は木の上で我慢くらべをやつてゐる、下では親達が「負けるでないよ」と聲援をする、雨が降ると雨具を持つて來てやる、日が經つとバリカンを持つて來て散髪をしてやる、三度の食事の間にはオヤツを持つて來てやるといふ騒ぎ

その中に「木登りなんかつまらないや、それよりも竹竿の上にどれだけ登つてゐられるか耐久競爭をやらう」「ブランコにいつまで乘つてゐられるか競爭をしやう」「何時間續けて本が讀めるか競爭をしやう」

と次から次といろ〳〵の耐久競爭がはじまりアメリカは今大人も子供も耐久競爭時代である

スズシイアキニナリマシタ
ゲンキニ アソビマセウ

アツイ アツイトイイ
ツテキルウチニ イツ
ノマニカ スズシクナ
タリ ガクカウノ ゴ
ホン ヲ ヨンダリ ス
ルノニ ヨイジセツデ
ス、シカシ マイトシ
アキニ ナルト イロ
イロノ ワルイ ベウ
キガ ハヤリマス カラ
タベモノ ニ キヲ
ツケナケレバナリマセ
ン。マタ ネビエ ヲ
シタリ カゼ ヲ ヒ
イタリ シナイヤウニ
キ ヲ ツケナケレバ
ナリマセン。

ツテ ヨル ナドハ
ヒトヘ デハ サムイ
クラキニ ナリマシタ
クサムラ ニハ キリ
ギリス ヤ コホロギ
ナド ガ アキノ キ
タノ ヲ ヨロコブヤウ
ニ イイコエデ ウタ
ツテ キマス。
コレカラハ ダンダン
ヨル ガ ナガクナリ
マス、デンキ ノ シ
タデ エホン ヲ ミ

童謠 ジャンク波止場
北村しげる

ジャンク波止場に
夕日がしづむ
並んだ帆柱
だん〳〵くれて
ゆふげの仕度の
灯火が赤い
海もどんより
岸からくれて
ジャンク波止場に
日がくれる

童話 星とこほろぎ
石森延男

蚊帳がつつてありますが、もうその用はないほどに凉しくなつてゐます。窓からはいつてくる夜風が、蚊帳の裾をふはふはとウゴかします。それがもうなんとなく、うすら寒いやうにさへおもはれます。

蚊帳をはづしてもいゝのですがまだどこかに蚊がさんでゐて、それが、かへつてわづらはしいから蚊帳をさらずにゐます。それに、蚊帳をとつてしまつたら、部屋がすぎて、すつかり秋になつてしまふから、それがみようにものたりない氣がするのです。

お母さんは、末の三ちやんを眠りつかせながら、こんなことをかんがへました。お母さんにとつては、秋はものさびしいものです。それは三ちやんのお父さんが、船舶の船長でしたから。秋になると波があれてきます。土用波がたつて、それから、二百十日、それがすぎて、北風がひつきりなしに吹きます。船長だから、波や風などにおそれるやうな人ではないのですが、お留守居をしてゐるお母さんにとつては、おちおち眠れないやうな心ぼそさを感じました。

今夜も、かうして、三ちやんといつしよにお床に横になりながら秋のくるのをかなしみました。

三ちやんが、ふと眼をさまして「お母さん」とさいひかけました。

「なあに」

「どこからこほろぎがはいつてきたの」

お母さんは、はつとして耳をそばだてました。たしかにこほろぎが鳴いてゐます。しかもお風呂の室からきこえてきます。お母さんは、秋のくるのをかんがへてゐたので、このこほろぎの聲には、氣がつかずにゐました。

ころ ころ ころ ころ……

「あ、ほんと。いゝ聲で鳴いてるわれえ」

「どこからはいつてきたの」

「さあ、どこからでせう」

「あ、わかつた、お窓からよ」

お窓の障子は、よくすきとほつてみえます。光でも音でも、窓でもすききとほります。こほろぎもその障子窓から、そつとすきとほつて、はいつてきたとおもつたのです。

三ちやんはかういつたきり、またうとうとしてしまひました。

お母さんは、蚊帳から窓をとほして外をみると、黒い空に星が、かゞやきすぎるほどに光つてゐました。四つ五つの星が、美しくならんでゐました。

一つの星から、隣の星に、青白い小路がかよつてゐます。その路を通り歩いてゆくと、お隣の星へ近道がついてゐます。そこをつたつてゆくと、お家の星へとつながつてゐます。

星と星との間には、銀の木路ができてゐます。

お母さんの眼にはそれが、そのやうに見えましたが、そのうちの細い一筋がにはかに呼吸をうつて太くふくれてきます。

それは、いつかお父さんにくはしいお話をきいた海圖上の航路にかはりました。眞黑い海面を、一艘の貨物船が、しづしづと走つてゐます。波の跡が、白く細く尾をひいていきます。

貨物船の上甲板に、お父さんがぽつりとたゝずんでゐて、眞白なつめえりの服をきて、眼に双眼鏡をあてゝゐます。

船の姿はたちまち小さくなつていつて、波の影も、うすく消えかゝりました。スクリユーの音だけが、かすかにきこえてゐます。それが、

「ころ ころ ころ ころ……」

にきこえてきます。

お母さんも、いつかしら三ちやんを胸にだきかゝえたまゝ眠つてゐました。

夜風は、ひりひり、蚊帳をうごかしましたが、お母さんの夢は、さめません。

滿日各地版

奉天

奉天神社の秋祭
いろ／＼の催しの外 山車や屋臺も出る

……屋臺の準備も出來全くお祭氣分を唆つてゐる

野球大會組合せ協議

奉日社並に我社奉天支社共催の全奉天野球大會は十六日から開始されるが參加チーム俄に増し既報の外に青年實業團と奉天驛のニチー……

馬賊頭目の救命願
部下三百名が

……鐵南縣を荒した馬賊の頭目黒猴は同縣公安局の手によつて逮捕され近く死刑に處せられることになつてゐるがその部下三百餘名は縣當局に押かけ頭目を釋放された後は鐵南縣城附近は絶對に荒さないことを條件に頭目の命乞ひを迫つてゐるさ

妻子を棄て、家出した男

……井出末喜は昨……上に更に寢穢し明日をも……に陷り剩つさへ二人の……他に養女として遣らなければならぬ悲境に陷つてゐる始末……見かねた知人から大連の……井出の捜査方を依頼して……井出は家庭の事は一向省みず熊本縣人に頼つて各所……てゐるものらしいさ

學校制服は國産使用
教育廳が通令

……教育廳は國貨獎勵のため今より全省各學校の制服は遼寧國産品を使用すべしと通令

日曜の催し

▲滿鐵秋季運動大會 午前八時より舊グラウンドにて開催（但し雨天の際は廿一日開催）
▲奉天神社秋季大祭前夜祭 午後七時から執行
▲秋季寫眞展覽會 中谷ビルデングに於て開催

町のニュース

十二日正午頃加茂町九番地支部人居住宅裏に於て屋根修理のためコールタールを溶解中風のためコールタールに引火して火事だと大騒ぎしたが大事に至らずに消し止む

◇市内日吉町金八前に於て十一日午前九時半頃松島町昭和自動車運轉手山滯の操縱せる自動車と南市場雜貨商孫樹平（二八）の乘れる自轉車とが衝突し孫は手足に擦過傷を負ひ自轉車に三圓の損害を蒙つた

◇小西邊門第二區居住五藤某は十一日白晝不在中自宅に於て衣類卅二點價格二百四十圓の盜難に掛つた

◇藤田商議會頭は特別委員會出席のため十一日夜野添書記長と共に赴連した

◇今回仲田氏より經營の一切を引繼いだ熊捕のぶ代氏は内部の大改造を行つてゐたが愈完成したので十三日午後六時から各方面を招待し披露宴を張つたまた新裝成れるサラクカフエーでも十六日午後六時より披露宴を催した

◇八幡町十一番地伊藤吾六氏以下十五名は一割五分家賃値下げを家賃相談會に持ち出したので家主側と交渉の結果四十五圓を四十圓に三十八圓を三十五圓に二十五圓を二十三圓に値下げすることゝなり圓滿解決した

人事

▲近藤鐵嶺領事 十一日過奉安奉線にて内地へ
▲鳥居博士 十一日來奉
▲小阪奉天署保安主任 十二日四平街へ
▲ルズヴエツク、オーベルト氏（駐日瑞典公使） 十一日大連より過奉長春へ

遼中の水災農民 十三萬人に上る
溺死者は八十餘名

遼中方面の水害の調査を了し歸奉せる遼寧水害救濟會調査員王桓春、傅鍾夫兩氏の報告によれば遼中縣一帶は前後三回の增水で家屋作物は全部流失し全縣十七萬三千餘人中十三萬六千人は是非救濟を必要とするもので家屋倒壞二千六百四十六戸、溺死者八十餘名その他一切の政務は交通杜絶のため殆ど停止の狀態にあるさ

遼西水災協賑會組織

遼寧省西部二十餘縣の水害罹災民は秋涼に入つて食無く衣無く悲慘を極めてゐるので奉天各界に於てはこれが救濟運動漸次盛んに行はれてゐるが今回張學良氏の正夫人于鳳至女史を會長とし張學銘氏を幹事長とする遼西水災協賑會が組織され官民多數の贊助を得て廣く義捐金品を募集することになつたがその第一事業として書畫展覽會を開催しその入場料及び賣上高を救濟資金に充てるさ

奉天驛に馬賊 襲來の虚報

十一日午後七時頃奉天驛に十名組馬賊現はれ切符賣上金を掠奪に來たとの急報により奉天署では時を移さず緊張し切つて匪賊の逮捕に赴いたがそれらしいものが發見されず實は從來驛構内に旅館のボーターを勝手に入れてゐなかつた處同夜はどうしたものかボーターが十餘名構内にドヤ／＼入り込んで來たので之を見た驛員は匪賊と早……

遼陽

軍人會の射撃會
けふ陸軍射撃場にて

遼陽在郷軍人分會では十四日首山陸軍射撃場において秋季射撃大會を催すさ

餘興も澤山で 炭坑祭
廿一日擧行

煙臺採炭所では廿一日午前十一時から恒例に依り炭坑祭を執行し、日支官民多數を招待し藝妓の手踊、從事員及び家族の餘興等も催すべく準備中であるさ

哈爾濱

教育勅語御宣布記念日に展覽會
十月一日小學校で

ハルピン日本人小學校にては來る十月一日は畏くも明治大帝が我國教育振興と國礎を鞏固にするため教育勅語を宣布し給ひてより恰度四十年に相當するので記念展覽學藝會を開催する由で準備中であるが、白髮校長は右につき語る

明治維新の大業をなさせ給ふてから我等臣民の守るべき本分を指示し給ふた教育勅語は千古不磨の法典で身教育の任にあるものは寤寐にも夢寐にも忘れることができない、恰度十月一日は四十年に相當するので記念學藝會を開催し本校兒童の成績品のみならず、四圍の土地柄上露支人兒童の作品も展覽したいと考へてゐる、尚は本校に關する各種の兒童統計學校の內容を一目瞭然たらしめる圖表も作成されたから大にこの日を有意義に擧行したい希望であるさ

露支人子弟 入學問題
日本小學校に

日本人小學校に露支人子弟の入學希望者はその事情により許可する議したが、學校當局の意嚮は勿論無制限に入學せしめる意味ではなく最近南滿から來哈した日本婦人……入學せしめたいとの希望があつたので初めて學校側の問題となり南滿小學の規定により入學を許可する方針を考慮したのであつた、然し本問題は國際都市だけに研究するの要あり多分來年の新入學期までには解決するであらうさ、因に同小學校にはロシヤ婦人を妻にした日本人の兒童が各學年を通じ約二十名就學してゐる、學校當局としてはその方面の兒童に對し學術その他の綿密な研究をするさ

南滿炭輸出減か
鶴、穆兩炭の進出で
チヤライ礦も採炭を開始

黑龍江省穆稜立當炭の本年度の產出量は約廿餘萬噸で、從業員は勞働者だけで一千七百餘名を使用してゐると云はれ今冬の北滿炭界は穆稜炭の進出と鶴立崗炭により、南滿炭は昨年の消費量より漸減するものと見られてゐる、南滿炭は一昨年二十四萬噸、昨年は二十萬噸餘であつたが、露支紛爭によりチヤライ炭が採炭不能となつた結果穆稜炭の市場進出となり採炭量も倍加したので該三炭の本年度の競爭は相當激甚であらうと見られてゐる、尚チヤライ炭は愈々採炭を開始することになり露支人技師三名の一行は九日同地に向つた

札來副礦長任命

札來諾爾炭礦は愈々採掘することに決し副礦長に丁濟氏が任命された

南京教育視察團一行

南京中央大學其他の教育視察團は董德鑑氏に引率され一行九名大連から來哈した、滿洲における日露支の教育狀況を視察するのが目的で既に南滿にては日本側の華數人教育狀態と遼寧省の各大中小學校を參觀し、ハルビンにても露支人教育の狀況を調査し黑龍江省に向ひ洮昂、四洮線により洮南地の屯墾事業をも視察するさ

司法會議出席

來る十月廿二日關東廳で開催される常例の司法官會議にハルビンから中川領事が出席するに決定した

東鐵庶務次長挨拶

東鐵理事會庶務次長エチ・ベ・ブ……

駐日瑞典公使

……ムヒヤンスキー氏は新任挨拶のため十四日奉天に向ふ

駐日スエーデン公使アウベルト氏は神戸駐在領事ガンスモエ氏と十二日午前八時來哈、モデルンに二泊十四日南下奉天に向ふ

危ふく人質

葦沙河居住東谷寅市氏の長男壽正（又）が何ものにか人質として拉致された事件あり、ハルビン總領事館では極力犯人捜査中

露國重視
東北四省會議を

東北四省最高會議出席のため張學良長官は既に奉天へ向つたが鐵嶺交渉員も十三日南下の豫定である 今回の會議は
一、南北對峙についての奉派の態度を決定し
二、軍事、外交、政治の各重要問題を討議すること
三、財政問題
の三要項にあるが、モスクワにおける露支正式會議に關する最後的態度について具體的の方針を決定するものとしてソウエート側は重要視してゐる

營口

料亭八月水揚高
一萬二千圓

八月中における營口花街の水揚高は料亭七軒、藝妓四十一名酌婦十六名不況の際とて合計一萬二千圓最高が「武藏野」の四千圓最低が「永樂館」の四百圓である

鮮人會役員
正副會長以下決定

當地鮮人會は十日明倫義塾において臨時總會を開き正副會長並に評議員の改選を行ひ會長に成世憲副會長に白元豹氏當選した

入港船檢閱
虎疫豫防のため

虎疫蔓延の兆あるにより非島より入港せる船舶に對しては檢疫を施行することゝなり稅關より二十一日領事團の同意を得た

中谷警務局長

沿線巡視中の中谷警務局長は十三日十七時半來營、十四日警察署の檢閲を行ひ十三時二十分發にて離營した

長春

秩父宮楯 優勝の赤組に
學年別對抗は一年生の捷利
室町校の秋季運動會

既報長春室町小學校の秋季體育大會は十一日午前八時半から同校々庭に於いて開催されたが午後三時頃からは降雨があつたが競技は既に終了した後であり秩父宮殿下御下賜金によつて作られた榮ある優勝楯は百九十九點の最高點で赤組に歸した、當日各組の得點は左の如くである

四年以上
赤組百九十九點、白綠組百八十一點、黃組百七十八點、白組百九十

三年以下
赤組二百二十五點、白組百九十五點

個人學年別對抗競技は一年生が優勝カップを授與された

滿洲青年議會 順序等決定す
聯盟本部の理事會で

來る廿一、二の兩日長春において開催の第三回滿洲青年議會に關し六日午後六時より大連山城町七番聯盟本部にて理事會を開き協議の結果左の如く決定發表した

▲交渉委員會（廿日夜開催）一、組織（本部理事、支部長、各地支部代表者各一名を以て組織す）二、交渉事項（聯盟の本質に關する事項、聯盟理事に關する件、聯盟の基金、確立方法、理事長推薦候補者、規約に關する件）三、議會に關する事項（正副議長候補者交渉、議員發言に關する交渉、緊急動議及緊急議案提出に關する交渉、議事日程作製交渉）

議會順序

▲第一日（廿一日午後一時三十分開會）一、假議長司會（出席議員點呼報告）二、議長選擧、副議長選擧）二、議長第三議會の成立を宣す、三、國歌唱和、四、顧問來賓の演說、五、議事（理事長推薦）、本部理事より議會の報告、本會議）▲滿洲青年聯盟大演說會開催（午後七時より）

▲第二日（廿二日午前九時開會）一、第一日に委員附託の議案ありたる場合は日程を變更し委員會の經過報告（採決）二、本會議、三、本會議終了後委員會の經過報告（採決）午後六時閉會、懇親會開催（午後七時より）

青聯議會準備
支部で打合會

滿洲青年聯盟長春支部では第三回青年議會が間近に迫つて來たので十二日午後七時から滿鐵倶樂部で月例幹事會を開き諸般の打合會を十三日午後七時から吉野町小澤作氏宅で議員會を開催、提出議案其他に就き打合せを行つた

きのふ乃木祭

十三日午後七時から祝町太子堂で乃木祭が施行される、主催者は教化聯盟、國粹會、在郷軍人分會で講演並に活動寫眞の公開があつた

山本師團長
きのふ來長巡視

山本第十六師團長は初滿視のため十三日十三時十分着列車にて來長十四日八時三十分發急行で南行した

軍隊宿舍打合

來る十月中旬から第十六師團と獨立守備隊との對抗演習が奉天、長春間において開催され約四千人の兵士が演習終了と同時に長春に宿營する筈で、これが宿營割當に就いて十三日午後一時半から地方事務所當事者並に各區長が集り打合會を開催した

吉林

吉海鐵路局が 機務工廠を設置
約九十萬元を投じて

吉海鐵路局においては車輛修理上の不便を一掃する見地から機務工廠の建設方を設計書を添へて省政府に請願した模樣であるが、右設計は同局の王機務課長の手に依つたもので、經費は建築費銀洋五萬七千元、機械購入費金八十萬九千餘圓であるさ

共產黨警戒を
通令

東北邊防軍司令官公署より共產黨警戒に關し當地軍警各處は次の如き通令に接したさ 最近密偵よりの報告に依れば東北共產黨はソウエート聯邦の援助の下に多數の黨員を遼寧、吉林、黑龍江、熱河等に派し、鐵道、郵務、電報、電話、電燈、兵工廠及び一切の大小工廠の工人組、工友會等を煽動して赤化を圖つてゐるから各機關はこれが警戒を嚴にせよ

要人悉く赴奉
張氏令息婚儀で

吉林省政府各機關の科長級以上の官吏連は今回奉天にて擧行される張作相主席第三子の婚儀に列するため連日吉長線並に吉海線に續々赴奉して居つたが十二日を以て殆ど大部出發する模樣でこれがため各機關は全くガラ空となるらしいさ

林大佐赴奉

吉林邊防副司令官公署顧問林大佐は張作相第三子の婚儀に列するため十二日當地出發赴奉したが十六日午前十一時三十五分着列車にて歸來の豫定であるさ

撫順

露天掘附近に 轉がる生首
＝胴體の見當らぬ支那人＝
撫順署で犯人嚴探中

撫順に一大センセーションを捲き起した既報首なし事件に對し十二日は亦も生首事件が突發した、撫順するに古城子露天掘第十見張所西南百米の地點、大山南坑から計軍屯に通ずる鐵土線傍らに後頭部より咽喉部まで銳利なる兇器で約二十四時間前に切放した一見三十七八歲位の支那人男の生首あるを十二日午前七時頃通行中の一鮮人が發見、急報に接した撫順署では倉田司法主任以下急行實地檢證せるも胴體は何處にも發見されず

當局は事件を重大視し目下血眼で犯人嚴探中であるが、强盜乃至怨恨の結果他所で慘殺した後犯跡を晦ますため線路自殺を裝はしめんため前記の場所に十二日の深夜首のみを持つて來たものらしく、胴體隱匿したるは手掛となる指紋の發覺を恐るゝらしく、指紋は智識ある炭礦從事員乃至も炭礦にゐた者と見られてゐる

9―2 古城子の好打 東郷を壓す
廿八チームが猛鬪した全撫軟式野球大會了る

參加二十八チームにて去月三十一日以來四球場で行はれてゐたオール撫順スポンヂ野球大會決勝戰は四回戰において萬遂屆に五對四で辛勝した東郷と發電所を七對三で破つた古城子チームとの顚合せで十一日午後三時半よりバツテリー古城子、內村、吉野、東鄉、黑木滿多野で、淸水、勝木兩氏審判の下に本グラウンドで行はれたが、古城子の打撃大いに振ひ釣瓶打の猛襲に對し東鄉の外野エラー續出九對二にて古城子大勝同五時半閉戰したメンバー次の如し

東鄉 1黒木 2滿野 3岡本 4松田 5榮忠 6御田 7中所 8神島 9多松
古城子 1內村 2吉野 3佐野 4黑田 5淸水 6吉田 7森高 8今井 9吉塚

對撫中戰に 小學校捷つ
少年軟式野球大會

少年スポンヂ野球大會の皮切は十一日午後三時より撫中（十五以下）對千金小學の顔振れで中學グランドで行はれたが八對五で小學勝つ閉戰五時

滿鐵本社軍と 經理軍の對戰
あす鞍山にて

滿鐵本社用度と炭礦部經理課は十四日の日曜双方より陣を進め鞍山にて對陣、野球、庭球、ピンポンの三種目に就き決戰を試みると、當日撫軍選手の顔觸次の如し

野球 古森、吉野、今里、谷口、高田、村田、岡田、大石 PCBBSFFF 1238OLRR

庭球（成大）井（古森）谷（宮原（出）（今里）平田 畑（小松）（谷口）中島 浦 園

恩を仇に 千圓を橫領
酒食に溺れて 勳八等捕まる

勳八等の男が恩を仇で返し約一千圓の詐欺橫領を働き十二日遂に奉天領事館送りなつた、本籍山口縣宇部市大字神宇部本年八月十九日迄撫順西一番町三十六番地永昌洋行に勤めてゐた土木請負業柏崎猛雄（三一）は勳八等に叙せられた男であるが

本年正月 來撫後市內東二條十九番地木本久作方に寄食してゐる內木本の世話で三月一日から前記永昌洋行永松豐太氏方の現場監督として傭はれ中、左記の犯行を犯し酒と女に費消した者である

三月十日頃永昌洋行が炭礦から請負つた新市街土取運搬作業を六百七十五圓で木本が下請した際、柏崎はその間に入り支部人に亦請けさし僅に百八十三圓しか支拂はず木本を欺き約四百圓を橫領

永昌洋行が本年五六月頃炭礦北部工務區より請負ひたる四百八十一圓二十五錢の仕事を市內東五條十一番地宇都宮英敏に二百十一圓で下請さし永松には炭礦直營なりと欺き差額二百七十圓を詐取した外、同樣の方法にて五月から八月二十五日までに十七件の連續犯で前記の如く總計約一千圓を詐欺橫領したものである

渾河北岸に現る
五人組辻强盜

撫順新市街と餘り遠くない永安橋附近の渾河北岸に十二日午前九時十五分眞晝間各ピストル所持の五人組辻强盜出現し折柄通行中の市內西三條通七、東京屋洋服店々員李子雲（三）に拳銃を突きつけ所持の金品全部を强奪悠々附近の高粱畑に影を沒したが犯人不明

開原

圖書館で座談會
二十日第一回を開催

開原圖書館にては十六日より二十日まで曝室のため休館する事となつた、同圖書館にては二十日午後七時より第一回讀書座談會を催す由、當日は讀書のみならず各種座談會希望者の出席を乞ひ將來の座談會の趣旨等につき打合協議をなすにつき出席されたいと

種痘
二十五日から二十六日まで

開原警察署にては左記により臨時種痘を施行しなほ定期種痘當該者には定期種痘證を交附すると
▲二十五日（午後一時より三時まで昌圖公醫診療所にて施行）昌圖馬仲河滿井管內
▲二十五日（午後一時より三時まで開原公會堂にて施行）直隷南孫家街、掏鹿第二、中街、金蒔子管內
▲二十六日（午後一時より三時まで開原公會堂にて施行）開原大街、驛、北三街、掏鹿大街、民宅管內
檢疫日は各所共種痘所において十二日午後二時より三時までの間に施行すると

鐵道部長より禮狀
馬仲河事件で

去る二日の馬仲河驛における急行列車脫線事件に盡力した開原各方面へ對し滿鐵々道部長より禮狀が來たと

勸業債券賣出
郵便局で扱ふ

開原郵便局にては來る十五日より第三回割引勸業債券を賣出す事となつたと、額面十圓、年二回づゝ抽籤、一等三千圓以下每回多數割增金付にて非常に有利な條件付であると

西伯利出征の講演

開原在鄉軍人分會主催滿鐵社會課後援にて第四十七聯隊出身安藤寬氏のシベリア出征軍事講演會を十四五日頃公會堂において開演すると

おらが町の歩み （十二）
25 NEN

熊岳城の巻（8）
涙の裡にもり立てた 幾波瀾の温泉史
手押トロッコ馬車鐵道から現在の自動車道路に
形田恒子さん苦心談

草分時代（下）

さてまた現温泉ホテルをもり立て、涙の中に今日まで奮鬪を續けたと云ふ形田恒子さんは、丁度明治四十年一月元旦夫君形田式に迎へられ始めて熊岳城の土を踏んだ、と前提して當時の寂漠たりし模樣を語る「

滿洲の寒地へ正月元旦

に來たものですから堪りません、今から考へると入江さんの處あたりでした、雪を降りしきる、滿鐵の馬車を傭つて來るまで店先に腰掛けさせられて、頭はお高祖頭巾を冠り足から腰へかけては防寒の支度はしてゐましたが、寒さは身を刺すやうでした、やがて馬車に乘つて見えぬ暗闇の中を行く心細さと云つたら譬へやうもありません、溫泉場へ行くのだと喜んでたのも束の間、馬車は幾回となく顛覆しそうになります、漸く一つ目になつてその通つた道といふのを見て二度びつくり、全く道とても無い高粱畑の雪の中を無暗に通つて來てゐるでは有りませんか、實に今の人達からは想像も及ばぬものでした、八月頃の雨期ともなつたら堪りません、丈餘に伸びた高粱が兩側に吹き靡された泥土の中を無理から押し分けて通る苦勞といつたら、今思ひ出してもぞツとします、それでやつと滿鐵に嘆願して明治四十五年溫泉道路を開き輕便手押しのトロツコを運轉させて頂きました、それが大正九年十一月から馬車鐵道に改められましたが其の

思出の深いトロツコも

御承知の通り昭和二年に至つて全く廢され、今日の自動車道路が驛の西部を南走し試驗場內を貫くに至つたのはつひ二三年前からです」熊岳城の文化發展の道程は、此の交通機關の上の話からでも如たるものがある「溫泉場の發展！あゝそれに就いては感慨無量、さても一日や二日では話し盡くされません」と今年六十一歲の老媼とは見えぬ二十幾貫のでつかい體それでゐて……額の小皺に刻み込んで溫泉地の今日に至る幾多曲折の跡を一通り話した後「其の思ひ出の支那の廟はホテルの續く限り記念館として保存して置く考へで、三棟の中一棟だけ壞さないで殘してあります」とつけ加へた、それは先代形田氏が始めてホテルの基礎を作つた明治三十八九年の旅館で

三棟の支那廟內を改造

し河魚料理にごぶろくを呑んで野戰の兵士相手に「雪はしんしん降り積り……」とだみ聲を張り上げてその將卒を慰めた處だといふ、南岸の共同浴場は卅九年四十年の雨期に跡形もなく流失し多大の損失を蒙つたが、此の艱難の中から明治四十一年現在の位置に四十坪の平屋建を新築し（今の幾代館）大正元年滿鐵會社は一萬圓を投じて雨期に被害なき位置に現在の共同浴場を建設した、その後大正十一年に至つて河原に夏冬兼用の煉瓦造砂風呂が建造し、草花木石をあしらつて風雅な砂風呂だと世人に賞めたてられたも束の間、整十二年八月の洪水にこれ亦跡形も無く流失した、其後はアンペラ造の假設風呂で每年移動式に造つて今日に至つたが、ホテルは此の間に早川滿鐵社長に日參し大正十二年八月遂に現在の石造新館を竣工せしめて浴客の收容力を高め、一方公園地帶の樹木植付けも了し大いに體裁を整ふるに至つた（寫眞は上より（形田恒子さん）（思出のトロツコ）（明治三十九年のホテル）（野戰當時の溫泉場――現在溫泉場の南岸）

祝創刊二十五周年 並に 社屋新築記念

鞍山

鞍山 笑話會員一同

鞍山 滿鐵醫院從事員一同

鞍山輸入組合 電話六一番

鞍山不動産信託株式會社 電話二〇・一四一番

南滿洲電氣株式會社鞍山支店 電話一五・五三番

滿洲興業株式會社 電話五五・四二二番

南滿洲土木建築協會鞍山支部 電話四番

立山 滿洲鑄鐵株式會社 專務 神保香藏

南滿洲瓦斯株式會社鞍山支店 電話四五八番

鞍山菓子商組合

滿洲銀行鞍山支店

正隆銀行鞍山支店

地方委員副議長 石川義助

地方委員 山崎英武

地方委員 野毛四郎

地方委員 三浦源七

區長 門井鑁

區長 相谷彦三郎

區長 東郷清一

區長 片岡對吉

金融組合理事 藤竿義雄

實業協會副會長 神田藤兵衛

實業協會長 加藤政人

土建支部長 笠原弘

菊地龜助

やまき呉服店 電話二三一・三六番

銑鐵共同販賣所 電三七〇番

石炭共同販賣所 電四七番

關東廳臨時滿鐵助成旅館 近江屋ホテル 電三二・三八七番

和洋雜貨 大惠商店 電話一二六番

日用雜貨 滿洲購買組合 電五四番

和洋菓子 小原洋行支店 電三〇九番

和洋菓子 八雲堂 電二六四番

和洋菓子 菊水堂 電一一九番

書籍 文房具 大盛堂書店 電二四〇番

永井自轉車商會 電四三八番

自動車 鞍山タクシー 電一八・二七五番

自動車 池田タクシー 電一五〇・四三五番

彫刻印刷 金城商會 電二九番

劇場 演藝館 電二七〇番

日用雜貨 食料品 盛海洋行 電三二・四三六五番

木材煉瓦 叶井商會 電六五・一二番

食料雜貨 ○國洋行 電一四四・二二三番

牛乳販賣 吉川牧場 電三五三・二三〇番

履物 瀧口洋行 電三四五・四三七番

高等理髮 大正軒

文具、雜誌、玩具 大達摩藤井商店 電二一五番

乾物 雜貨 志きし滿屋 電一三九番

米穀燃料 田中洋行 電三一番

銘茶 世帶道具 近江洋行茶舖 電二七八番

建築材料 岡部商店 電一三二番

御料理 柳町 橘家 電一二五・三五五番

炊事仕出 住吉商店 電七六番

食料雜貨 大福商店 電二五八番

金物 世帶道具 福井洋行 電二三一番

製靴 北本製靴店 電三〇六番

高等洋服 小川洋服店 電二四三番

高等洋服 金城洋服店 電三三五番

時計 貴金屬 北川金光堂 電三五九番

ペンキ塗 硝子販賣 諫山工舍 電三六一番

文具玩具 三好號 電一一七番

機械表具 田村表具店 電四二一九番

蓄音機 和洋樂器 濱田樂器店 電一三六番

質 みね川質店 電四二番

東京カルシュームパン 設計油 バン 頭肝 東月堂 電三一八番

旅館 扇屋旅館 電一四〇番

長唄研究 美也古會 杵屋六眞龜

飲食店 鹿兒島屋 電三四九番

和洋食堂 ますや

カフエー 月夜 電一五二番

料理 銀蝶 電二一二番

料理 明月 電四四七番

料理 開福 電三〇番

毛布 雜貨 太平號 電四四五番

御料理 柳町 一樂 電一二七・一七五・三六〇番

大連

合名會社 菱川大昌堂藥局

代表社員 日本赤十字社出身 勳八等 菱川みね

藥局主任 藥學士 安倍靜雄

銘茶 並ニ 茶器一式 薰香 柿造

大連市浪速町三丁目一五八

㋜ 袋布向春園支店

電話四四四五番、七七六六番 振替大連七四番

赤星寫眞館 大連市敷島町五二 電話七六八〇番

和洋家具製造、各種漆器、籐製品、內外敷物、窓掛室內裝飾品、其他附屬材料品

Ⓦ 渡邊洋行 大連市信濃町一四（市場前） 電話八八三七番

大分名産、滿洲物産紹介 株式會社 東亞物産館 大連市磐城町八 電話七〇三七番

パン、菓子製造 ㋑ マルイパン店 大連市常盤橋（瓦斯會社前） 電話八二五一番

ラヂウム温泉 大連市松山町 電話六八七九番

美容と結髮 ミトセ美容院 大連市西通九三常盤橋に向ふ角松村ビル階上 電話三五九九番

文房具、運動具 天野滿書堂 大連市浪速町大山通角 電話四四九九番

機械煖房[illegible]負 勝[illegible]機械事務所 大連連鎖商店街銀座通 電話二六八九〇番 二二一九一番

魚商 西園商店 大連市信濃町市場三三 電話代表五一五五番 住宅同西通八四四 電話三六四〇番

支那人勞働者の給料や 手當を銀建金拂に

滿鐵勞務課が生活調査の結果 愈よ勞務會議に提案

滿鐵では工場、埠頭、鑛山、撫順等において多數の支那人勞働者を使用してゐるので、時節がら彼等の思想傾向や生活問題には深甚の注意を拂ひ研究してゐるが、最も

頭痛の種となつてゐる

のは金銀相場の變動による給料支拂方法で、この缺點を除去するためにさきに支那人傭員の給料はすべて銀建金拂ひとし、相場の變動により換算率を變更して手加減することゝなつてゐる、しかし宿舍料その他の手當は從來通り金建とし矛盾した方法を採つてゐたが今度勞務課で生活調査をした結果、彼等の生活費は必ずしも貨幣相場に左右されないことが立證されたので、給與方法を

合理化

し給料も手當もすべて銀建とし貨幣相場及び物價指數に準じて換算率を定め金拂ひとすることに大體決定、恒例による十六、七兩日の勞務會議に提出することゝなつた

2A―1 打擊振はず 大滿惜敗

選拔野球リーグ戰

大連新聞社主催全滿選拔野球リーグ戰第二日目奉天滿倶對大連滿倶戰は十三日午後四時十分より實業球場に於て安藤兄(球審)源川、岩瀬(壘審)三氏審判大連滿倶先攻で開始したが二A對一で奉天滿倶辛勝す閉戰六時

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
(大滿)得點	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
安打	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
敵失	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
(奉滿)得點	0	0	0	0	0	0	2	0	×	2A
安打	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
敵失	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

△第一回 大滿吉野三匍疋田投匍芥田二飛▲奉滿松本四球に出で香川のバントに二進し水原の左飛後三盜したが近藤二飛

△第二回 大滿片岡右飛中井中飛高須右飛▲奉滿沖右前單打し小島のバントに二進したが青木の二飛後二盜に死ぬ

△第三回 大滿鈴田投匍青山一直後綠川右中間單打したが吉野中飛▲奉滿田村捕邪飛原田三振松本三振

△第四回 大滿疋田遊匍失に出で芥田のバントに二進、片岡三遊間單打し疋田生還、中井遊飛、片岡投手牽制球に死ぬ▲奉滿香川二飛水原三振近藤四球(代走青木)沖左飛

△第五回 大滿高須二匍鈴田遊匍青山四球綠川投匍▲奉滿小島中飛青木三振田村右飛

△第六回 大滿高野三匍疋田右飛芥田一匍▲奉滿原田投飛松本二飛香川四球に出たが二盜空し

△第七回 大滿片岡遊匍低投で一壘二進し中井四球につゞいたが高須三振鈴田二飛青山右飛▲奉滿水原二飛後近藤四球(代走青木)に出で沖の左飛失に二進、小島一―〇後三壘ベース上に痛快な單打して原田(青木の代走)還り更に左翼のファンブルに沖も生還小島二進、青木の三匍小島を二壘に刺し、田村原田共に四球で二死滿壘(大滿青山退き山口投手となる)となつたが松本投匍

△第八回 大滿綠川中飛吉野右飛失に生き疋田右飛後芥田、片岡四球で二死滿壘となつたが中井見逃して無雜作に三振▲奉滿香川三匍水原四球に出たが近藤の遊匍で併殺

△第九回 大滿和田(高須に代る)二―三後見逃して三振PH上條(鈴田に代る)一―一後中飛山口初球を二飛

(大滿)

		打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
6	吉野	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0
3	疋田	4	1	0	0	0	0	0	5	0	0
8	芥田	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0
2	片岡	3	0	1	0	0	0	1	5	2	0
5	中井	3	0	0	0	0	1	1	1	2	0
7	高須	3	0	0	0	0	1	1	1	2	0
PH	和田	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
4	鈴田	3	0	0	5	0	0	0	7	1	0
PH	上條	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	青山	2	0	0	0	0	0	1	1	2	0
1	山口	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
9	綠川	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	計	30	1	2	1	0	3	4	24	9	2

(奉滿)

		打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
6	松本	3	0	0	0	1	1	1	1	1	2
7	香川	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0
3	水原	3	0	0	0	0	1	1	10	0	0
2	近藤	2	1	0	0	0	0	2	3	0	0
4	沖	3	1	1	0	0	0	0	4	1	0
8	小島	2	0	1	1	0	0	0	4	0	0
9	青木	3	0	0	0	0	1	0	5	0	1
1	田村	2	0	0	0	0	0	1	0	5	0
5	原田	2	0	0	0	0	1	1	0	2	0
	計	22	2	2	2	1	4	7	27	6	3

▲併殺―大滿1(吉野、鈴田、疋田)▲試合時間――一時間五十分

戰評

▲奉滿小島を連投させるであらう豫測は裏切られて田村をマウンドさせた點が意外な切札だつた、この意表に出でた田村、好投とは言ひ得ないのに大滿今シーズンに入つての一番不成績二本の貧打で終始したこともまた意外なことだつた▲大滿明日の對實業戰に殘して正投手山口を立てず、六回裏まで内外野手の好守に援けられ好投す▲一二三回と瞬ろが如き三回が續いたが四回表疋田を遊匍失で生かしたのが因となり片岡の遊左抜く單打で疋田好走先づ一點を擧げて聊か氣分となる▲後また二回兩軍凡打に終る▲七回表片岡の遊右强ゴロ松本よくとめたがホットした氣のゆるみの上に擔走り後のことゝてフォーム亂れて居たために一壘に惡投して生かし續く中井四球に出でて一寸ざはめいたが三者凡退して折角の機會も煙滅した▲然るに同裏七回迄ノーエラーの完膚なき陣營も一死後近藤四球に出でし後を受けて沖左翼に飛球を上げ高須つかんだがぽろりと落して生かしたのが遠因となり續く小島の三壘ベース上の單打をカバーした高須ハンブルしたのが近因となつて決勝的二點を入れて勝利を逸してしまつた▲八回表大滿二死滿壘の機會を得たがピンチに强い中井三ストライクを見逃してしまつた、九回表和田上條等をピンチに出すよりも中井の代りに上條和田を起用して居たならと惜まれる▲結局滿倶近來稀な貧打で終始し内地遠征を前にする奉滿に敗れた

公定相場を崩し 露貨賣買を禁ず

ハバロフスク財政全權から 浦鹽鮮銀支店に通告

【東京十三日發電通】浦鹽鮮銀有門支配人宛ハバロフスク財政全權より十二日附公文を以て左の如き通告があつた

外國貨幣並に貴金屬及び有價證券の賣買及び送金は千九百廿四年四月四日附及び千九百廿八年三日廿一日附ソウエート政府の閣議の法律ならびに千九百廿八年五月卅一日附財政人民委員會の訓令によりてのみ許可せらるべきものとす、公定相場によらざる自由相場を以て外國貨幣に對しソウエート政府貨幣の現金を賣買することは投機と見做し法律を以て訴追せらるゝものとす、依つて國外送金業務及び公定相場に該當せざる自由相場にて露貨を賣買する業務を絶對に行はざる樣申し送る

右報命に接した浦鹽領事館の緒方事務代理はこれが對策につき外務省に訓請し來たので本省では目下對策講究中である

シカゴ勝つ

對慶應野球戰

【東京十三日發電通】シカゴ對慶應第二回野球戰は三時五分開始、慶應は宮武、山下井川等の猛將を出でず敵れ新人を以て對戰したがシカゴ對戰二アルファー對一で慶應を破り來朝後始めての勝利を得た閉戰五時五十分

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
慶應	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
シカゴ	0	0	0	0	0	1	0	1	A	2A

バッテリー 慶應 上野、塚越 シカゴ 小川、カヒル、ウインゲート

歐米に比し不振の我國の 移植民教育を振興

文部省が來年度に十二萬圓計上 全國實業學校に別課設置に決定

【東京特電十三日發】文部省では吾國の移植民教育が歐米各國のそれに比し頗る不振の實情にあり、しかも逐年七十萬の人口激增の狀態にあり、吾國の人口政策よりしても海外移民の獎勵は緊急なる問題であり、從つて移植民教育の普及徹底は國家の問題なりとの見解より、來年度豫算に實業教育充實費に十二萬圓を計上してその振興を期することゝなり、目下實業學務局に於て移植民教育に關する歐米各國の方針並に吾國に於ける現狀を調査するとともに、その具體案につき研究を重ねてゐるが、現在吾國に於ける移植民教育は中等學校に於ては殆ど實施を見ず、僅に實業專門學校に於て不完全な教育が行はれるのみで從つてその成績も極めて不良の實情にあり、文部當局では大體左の各案につき實現方を考究中である

一、實業學校に移植民別課を設置すること
現に實業各校中移植民教育の別課を設置してゐるものもあるが極めて少ないので今後出來得る限り各實業學校に別課を設け移植民教育をほどこすこと

二、移植民に關する教員の養成(特に移植民教育の任に當る教員を養成しかつ絶へず講習會を開き移植民教育に關する新知識を涵養し教員の資質改善に留意すること)

三、學生生徒の移植民視察獎勵 學生生徒を移植民地に派遣し彼の地に於ける實情を視察せしめる方針をとること

四、移植民教育の調査 各國の國情並びにそれから割出された移植民教育の實情を調して本教育の進展に資すること

滿洲の職業婦人 なぜ晩婚か

八割迄は家庭を支ふ 彼女らにかゝる重荷

滿鐵に勤務するタイピストや事務員、看護婦、その他在滿職業婦人が一般に晩婚であることはよく問題にされるが、これも捨て置き難い社會問題だとあつて滿鐵で調査したところによると、大部分の原因はやはり經濟上の理由によることが明かとなつた、卽ち彼女等の多くは親を養ふものや兄弟の教育を引受けてゐるものや女の細腕で一家をさゝへてゐるものが八割を占めてゐるといふことである、彼女等のそうした重荷が自然結婚の時機を失はせるものである

シカゴチーム 早大軍と西下

【東京十三日發電通】來朝中のシカゴ大學野球チームは十五日早大との三回戰を終へ十六日午前十時東京發早大チームと共に大阪に赴き十七、十九、二十、二十四、二十五の五日間甲子園球場にて早大と三回戰、關西學院と二回の試合をなし歸途同チームは靜岡市のグラウンド開きに臨む豫定である

魚形水雷失踪 發見者に賞金

去る八月十日旅順沖に於て「横二五四七」と刻せる魚形水雷一個演習中失踪せる爲め今回佐世保鎭守府より搜査方を依賴して來たが拾得者は廣告の日より一ケ月以內なれば金百圓、二ケ月以內七十七圓三ケ月以內五十圓、四ケ月以內の届出者に對しては三十圓の賞金を與へる由

贓品は入質遊興に 恐るべき猪太郎の罪業

流石の悪黨振りに係官舌を卷く 漸く取り調べ一段落、きのふ送局

八月卅一日午前八時ごろ市內櫻花臺五二番地昌光硝子社員杉森政治方に押入り女中を脅迫、現金三十圓を强奪した前科一犯鷲猪太郎(二〇)は引續き大連署司法係大崎警部補の手で取調中であるが、續々として竊盜、詐欺、横領の

餘罪が

發覺、二十歲位の男の仕事とも思はれぬ悪黨振りに流石の係員も舌を卷いてゐる、卽ち

本年三月十日惠比須町五六番地印刷業磯綿方に雇はれ中集金二十七圓を横領したのを手初めに八月八日主家の金七十圓を竊盜同十五日濱町三番地辻竹次郎方に侵入、衣類二十五圓を竊取同十六日星ケ浦ヤマトホテルベランダーに忍び込み佛人サンマーの衣類七十圓を竊取、同十八日

伊勢町

四番地脇川省民方に侵入、衣類十二圓を竊取、同廿日加賀町聆正夫方で衣類十七圓を竊取、同二十五日神戶町三四番滿鐵社員大藤義夫方に侵入し衣類二百四十圓を竊取、その足で柳町八四番地國際運輸社員片山茂丸方で百六十圓の衣類を盜み、同廿八日聖德街間原德太郎方で三十圓を竊取、同夜水仙町二一番地杉牧夫方で二十圓更らに廿九日同町四番地長谷川吉次郎方で百三十八圓の衣類を竊取 何れも入質して金に替へ遊興に

費消し

たもので取調べ一段落つき十三日午後一件書類と共に身柄を送局した

ブ中尉は 今朝出發

一路タコマ市へ

【青森十三日發電通】プロムリー中尉は十三日午後三時三十分田中航空官と協議の結果十四日早曉一路タコマ市へ出發するに決した、右は中央氣象臺により「明早朝飛出されば向ふ一週間は氣象の關係で全然横斷に不適當なり」との公電到にブ中尉も愈々飛出すに決意したのである

チルデン敗る

【ホレスムヒルス十二日發電通】本日の全米庭球シングルス選手權大會準決勝の成績左の如くチルデンは昨日ハンターを破つた年少選手ドエーグに敗れた

シールズ [illegible] ウッド
ドエーグ [illegible] チルデン

省線電車が衝突

負傷者百餘名を出す

【東京十三日發電通】午後六時四十五分省線京濱電車が新橋、有樂町間(帝國ホテル裏)に停車中山の手電車が疾走し來り追突し木製車輛三輛を破壞し負傷者百餘名を出した

大平滿鐵副總裁 躓き手頸を折る

一昨日帝國ホテルで 全治迄には二三週間

【東京特電十三日發】上京中の大平副總裁は十二日午前十一時頃帝國ホテルに於て木村理事と會談後同氏を見送つて歩き出したとたん室內のカーペットに躓づいて倒れる調子に右手を突き、手頸を骨折したので直に醫師の來診を求め治療したが、幸ひにも他に負傷なく約二三週間にて全治する見込で、同日午後首相官邸で開かれた國際觀光局委員會にも出席し訪問客等も平素の通り行つてゐる

山十製糸社長 背任横領で收容

【東京十三日發電通】山十製糸社長小口今朝吉氏は昨夜警視廳に留置され十三日早朝より東京檢事局枇杷田檢事の取調を受けてゐたが背任横領の嫌疑濃厚となり井上豫審判事の拘留訊問に依り起訴前の强制處分に依り午後五時市ケ谷刑務所に收容された

瓦斯の肴燒器 需要家に好評

南滿瓦斯會社では既報の如く瓦斯七輪による理想的な輕便肴燒器を發明したので去る十一日より向ふ二十日間社員總動員の標語の下に各需要家を各戶別に訪問して之が注文を受けてゐるが、値段が安い上に輕便耐久力に富み殊に燒肴の風味を失はぬのが特質である所から俄に各需要家の間に好評を博し十二日の如きは四百餘個の注文があつた、現在ガス需要戶數は二萬戶に上るが二十日間に全部廻るとしても一日一千戶を訪問しなければならず、殊に肴燒器の注文が意外に多數に上つたゝめその注文に應じ切れない盛況を來しガス會社では肴燒器の製造に轉手古舞を演じてゐる

大連神社月次祭

來る十五日の大連神社月次祭には氏子代參當番町信濃町市場區の氏子役員筆參列のうへ午前十時より月次祭典執行一般參拜者のため早朝より祓神樂を奉仕し御神酒供物を頒與するさ

廿人組强盜團 副頭目逮捕

撫順歡樂園前で

【撫順特電十三日發】十三日午後九時歡樂園で奉撫間をあらしてゐたモーゼル拳銃所持の二十人組强盜團副頭目一名を捕縛の上逮捕した

外人礦山は 漸次回收

遼寧省農工廳で計畫

【奉天特電十三日發】遼寧省農工廳では今度礦山辦法を設け管內各礦區に關する諸規定を決定したが同時に未開礦區は絶對に外人に提供せぬこと、外人經營のものは漸次回收すること、合辦事業はその利權を均等ならしめ將來漸次回收することゝし下調査のため委員を各地に派遣したと

ヴ博士夫妻 日本に向ふ

【北京十三日發電通】ベルギー元首相にして現第二インターナショナル議長ヴァンデルネルド博士夫妻は目下當地に在るが十四日朝天津より日本に向ふと

こども肥ゆ――北公園所見――

おらが大連の成長を語る (13)

ナンと奇妙な商賣! 湯たんぽ屋さん

料理屋の繁昌に比例して大儲

「ストーヴなんてあんな暖いものは最近出來たんですよ」と如何にもうらめしさうに明治三十七年戰爭時分から滿洲に來て今日に至るまで建築請負で終始一貫してゐる某君の話――この人には今の大連に新しい屋根の文化住宅が出來たり、何時の間に現はれたか美しいモダンマダムが浪速町邊の夜を濶歩する姿がドウ考へても理窟に合はないのだ。

◇――◇

「なるほど二十五年たつたんですかな、さういへばわつしの娘も大連に生れたんですが昨年嫁にやりましたわい、なるほど」と掘を經へて今更の樣に感心してゐる。

悲慘だ、嚴寒に叺寢

來た時はね、軍人は未だようござんしたよ、不便だといつても寢る時には毛布は貰えたしね、そこになるとわれ〳〵が隨いて來た軍人以外の者は悲慘なものでして、嚴寒に夜具も何もないんですよ無論夢なんかありませんよね、それで炊事場に行つてはかますを盜んで來てその中に潛り込んで寢るんですよそのかますの取りッこで血を流したほどの喧嘩をしましたよ、まるつきり乞食ですね、だから皆病氣でごろ〳〵斃れましたよ、我々は戰場に行かない代りに病氣で隨分やられたものですよ

彼は軍夫時代に次から次へ病死して逝つた仲間のことを想ひ出して少し面を曇らせたが「あんた、こんなこと知つてゐますか」と話してくれたのは珍無類ゆたんぽ賣の話。

◇――◇

戰爭は勝つた、續々若い元氣盛りの男が入り込んで來る、で無論水に流れる藻の樣に入り込んで來た娘子軍、奥町や東鄉町邊に小料理屋が雨後の筍の樣に姿を現はしてその後西通りに市中散在の料理屋を集めたといふ話は既に書いたが、當時西通り一帶は大連唯一の柳暗花明の巷であつた、その頃はストーヴもなければ何の煖房裝置もない、いくら肉布團の暖さはいひながらアンペラの隙を洩れて來る骨を刺す滿洲風には叶はない考へ出したのはこれ等料理屋――とさいつても實は淫賣屋だが――を相手に賣込む「ゆたんぽや」だ、客が來て注文があれば「湯たんぽ一個」と早速暖かいのをとゞける界隈の料理屋が繁昌すると共にこの湯たんぽ屋さんも隨分儲けた、「何と奇妙な商賣でせうが」と彼も當時アンペラ張りの翠帳紅閨裡に湯たんぽを抱いた一人か、そして彼は「變りましたなあ――」と結んだ。

海の唄　『五三』

仲木貞一作　林唯一畫

疑惑（九）

昨夜から一睡もさらなかつたので、月枝は京子が歸つて了ふと、間もなく炬燵に火を入れて、うと〳〵と睡てしまつた。

和雄は、田部に擲ぐられた時から、京子の歸るまで、何が何だかまるで夢の中に暮してしまつたやうな感じがしてならなかつた。

だん〳〵、頭や身體が痛み出して、胸は張むしられるやうに寂しかつた。そして悲しくなつた。

「すべてが運命のさすらひだ」

から思ふと。和雄は、もうそこに、ぢつとしてはゐられない。そつと視線を、そらして月枝を見れば、彼女はもういつか熟睡に落ちてゐる。

和雄は、フラ〳〵と起ち上ると、傍のマントを、ちよつと引つかけて外へ出た。そして、當もなく停車場の方へ歩いた。

「なんだつて、俺は呼び返してやらなかつたんだらう？」

再び、懺悔の情が心の底に、冷たく頭を擡げて來た。

そして、時々、冬枯の郊外に、白く光るトタン屋根の照り返しが強く疲れた和雄の眼底を射た。

いつか停留場の前まで來てゐたポケツトのパスを、何と云ふ氣なしに改札へ示すと、ホームへ出たそこから來合せた電車に乗り込んだ。

何時も、和雄が出勤する時間より、ずつと早いので、電車は可なりこんでゐた。

「あゝ、今頃が、やはりラッシユアワーか」

漸く氣付いたやうに心に云つてみた。

和雄が乗つた列車が次の驛へ着くと、まるで京子と姉妹でもあるかと思はれる一人の女が乗り込んだ。そして、而も和雄の隣りに立ち並んで吊り皮を握つた。

和雄は、その女の腕の肉付を見て、強く昨夜の京子を感じて、吊り皮を握つたまゝ、法廷に立たされた囚人のやうに首垂れた。

「京子は、途中、思ひ返して、すなほに大阪へ歸つてくれたらうか？」

またも、かう考へるのだつた。大勢の他人がゐるので、理性の指揮を仰いで熱と心を落附かせたが、いつかまた感情で心は一杯になつて了つた。

「終に、俺は一人の女を殺したのか！」

不用意にも、和雄は、かう聲を出してしまつた。それは、車の動揺に混じつて、さう聞きされるほどのものではなかつたが、和雄の隣りの女には聞えたらしい。

その女は、和雄の歪んだ蒼白に疲れた横顔を、そつと覗み見た。そして、和雄の顏の様子から、何かしらない惱みでも、分けて貰つてもいゝと云つた表情をした。

それから二十分も過ぎたころ、……なかつたのに、新宿の驛へ着いてゐた。さつきの女が、また、和雄の横にゐた。

そして、和雄が下りると、その女も下りて來た。和雄は改札を出ると、寂しさと、憐ましさを押へ切れず、そのまゝ電車線に沿つて右側のペーブメントを、歩いて來た。

武藏野館への入口のところまで來て、和雄がキネマの方へ曲ると、また、さつきの女が彼の後からうつ向き加減にして歩いてきた。

丁度、その日から「キーン」と「ポージエスト」とのサイレント週間が始まらうとしてゐた。

そこには、ハムレツト役者として、英國當代隨一と稱せられたエドマンド・キーンに扮したイヴアン・モジユヒンと、ケーフエルド伯爵夫人のナタリー・リセンコ嬢とが、ゆくりなくも邂逅して、初めて握り合つた手に、喜びは高く躍る心臟を震はせながら、大きく輝くその眼ざしを見交した時のスチールが貼り出されてゐた。和雄は、思はずそこに立ち止まつた。

その時、さつきの女は、するくと武藏野館の中へ消えて行つた。

和雄は、また京子の影像を瞼の裏に描いて佇んだ。

滿日俳壇募集規定

次回課題「夜寒」「秋の雨」

「コスモス」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各用紙に必ず雅號氏名を記し置くこと▲締切九月二十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

滿日柳壇課題

△祝吟「滿日二十五周年記念」
△課題「虫」「又聞」「漸德」
△句數 祝吟三句、其他五句限
△締切 九月二十日（各題別記）
△宛所 大連市彌生町高橋月南

滿洲日報 夕刊 九月十三日
(第三種郵便物認可)

審議中止は不穩當と委員外顧問官が反對

輿論の條約贊成をも察知して 精査委員の態度緩和

【東京特電十三日發】十二日の樞府精査委員會散會後濱口首相は首相官邸に安達內相、江木鐵相、松田拓相、阿部陸相代理等を各別に招致し、同日の委員會の經過を報告し併せて今後の對樞府策に關し種々協議する所あり、一方財部海相も海相官邸において小林次官、堀軍務局長等と會合し同日の委員會の經過、就中統帥權問題、條約兵力量問題に就き協議した、十二日の委員會の形勢については政府側はやゝ樂觀の態で、殊に財部海相の如きは「小春日和」と頗る上機嫌であつた、卽ち政府側の觀る所では同日の委員會においては統帥權、條約兵力量、國防補充計畫等の問題を中心として既に今まで繰返された質問に對し政府側も從來の答辯を答返したに過ぎなかつた、殊に伊東委員長の議事進行振等は非常に政府に好意的であつた、これ等の點から觀測すると樞府の態度は頗る緩和して來たものと見る事が出來やう、樞府の態度がかく急變し來た理由は判然しないけれども委員中の最強硬論者が主張するやうな審議中止問題に對しては委員外顧問官中には不穩當の處置なりとして反對論者があり、輿論の大勢もロンドン條約に對しては贊成してゐる所から遂にその主張を枉ぐるに至つたものであらう、卽ち委員會としてはこゝ數日中に顧問官多數の意嚮が何處にあるかを實際について調べた上更に世論の趨向を見た上で善處せんとするに至るものであらう、さうすれば顧問官中には國際關係の大局から見て條約承認の態度に出づる向が必ず多數を占むるであらうから結局警告位は附されるとしても審議不能を奉答するやうな事は萬々あるまい、從つて樞府今後の態度は悲觀するを要しない、といふ觀測が一致してゐる、尙今後の對策については樞府の出やうを見ることが必要であるが如何なる場合があつても政府としては既定方針を變更する所なく補充計畫の內容は勿論、右に要する經費、負擔輕減額、軍事參議會の奉答文等は一切提出せぬ方針で進むことに意見一致した

書によれば本計畫の立案遂行は軍部との意見一致を要するものであるから政府のみの說明を信ずることは出來ぬ軍部の意向如何、と軍部の決定したる奉答文提示の必要なる所以を暗に力說したるに對し海相は奉答文に觸れては質問者の滿足する答辯を與へなかつたのである、斯くて今一回質疑を續行することゝなつたのである

條約通過は確實

政府漸やく前途を樂觀

【東京十三日發電通】民政黨の富田幹事長、加藤情報部長は十二日樞府委員會散會後官邸に首相を訪問し質問を聽取した處首相は本日は平凡に濟んだ、十五日には質問が終了するものと思ふから安心されたいと述べ政府の見込みを傳へたので與黨では安堵の色あり今後の條約案の審議には多少曲折はあつても條約通過の見込は確實となつたのでその際例へ警告等を附し來る事有つても政府は何等これに介意するの要なしと樂觀してゐる

質問はあと一回

きのふの委員會經過

【東京十三日發電通】十二日の委員會の經過に對し樞府側にては會議經過を次の如く解してゐる、卽ち十二日の委員會では劈頭山川委員よりロンドン條約の結果減稅方針に關する政府の具體的所信につき質したる處政府側では依然數字的答辯を與へずよつて樞府側としては補充計畫の如何によつては條約の一日的たる國民負擔輕減は達成せられず又負擔增加となるべき懸念に對しても何等賴るべき反證なし故に本條約案の實質的審議はこれを以て一先づ打切るの外なしとして事實上本案審議は打切られこゝに漸く本案審議の緒ざらへが開始せらるゝ事となり先づ鑑に審議不明として質疑を留保してゐた統帥權問題をむし返すことゝなり加藤大將が財部海相を訪問し同意を與へざりし旨を明かにして據込みたる事實及び加藤前部長の海軍省に提出せる反駁書等質すべき新事實につき河合委員を中心に伊東委員長、金子、黑田の諸委員も交々同意問題につき政府を遺憾なく追窮し財部海相の受けた痛手は淺からざる模樣で統帥權事項に對する海相と軍令部長との覺書も持ち出された、右覺書は御親裁を經たるものであるが政府は補充計畫につき責任を持つといはれても

平沼樞府副議長、伊東委員長と會見 ロンドン條約案審議に關し十一日伊東委員長邸に平沼副議長は訪問何か協議を練つた【寫眞は右伊東、左平沼兩氏】

樞府本會議

廿二、三日頃に開く

【東京十三日發電通】樞府精査委員會は來る十五日審議續行する事となつたが同日は軍事參議會で決定上奏せる奉答文の提示方を要求する筈でこれに對し政府は無論拒絕すべく更に十七日最後的委員會を開き精査委員會の態度を決定し來る二十二、三日頃本會議を開いて委員會の經過並に結果を報告して決定する順序であると

政友會の三政策

聯合會に報告

【東京十三日發電通】政友會では十二日午後幹部及び政務調査會聯合會を開き犬養總裁以下出席森幹事長より挨拶ありたる後山本會長より

わが黨の新經濟國策及び當面の應急對策については豫て調査中であつたが十六日の臨時大會で愈々發表することゝなつた、新經濟國策はわが國將來の根本國策であるから今後更に調査を繼續して愼重に考究する方針であろ、この對策三案は國家焦眉の急務であろ故それ/\特別委員會の議を纏めこゝに成案を得たとて不景氣對策、失業對策、減稅政策につき具體案の概要を說明しこれに對し諸氏より質問あり更に各部會、特別委員會で協議の上來る十五日の政務調査會に附議決定することゝなり散會した

南方支持主張者はたゞ一人も無し

張煥相氏は出兵北方援助主張 奉派最高會議の雲行

【奉天特電十三日發】十日以來長官公署にて非公式に擴大的軍事會議が開かれ滿玉麟氏の代表も參加してゐるが、滿玉麟氏も十三日着奉しこゝに東北四省の軍事最高會議が開かれ時局に對する方針を討議決定することになるのである、今日までの會議の模樣を仄聞するに中央擁護と蔣介石氏支持を主張する者は

唯一人も ゐない、殆ど全部北方に同情的意見を懷いてゐるやうである所謂最高幹部の顏觸れから見てこの事は不思議とするに足りない、又諸元老のこの心理には彼の南京派の馬廷福、陳乾懷賈收事件の影響もある、張作相、萬福麟、張景惠氏等も中央の要求による出兵に反對の意見に一致してゐる、たゞ張煥相氏だけはこの際出兵して北方を援助せよと強硬に主張し張作相氏は出兵するにしても今暫く南北の戰況の發展を注視して南北双方とも疲弊し切つた時期においてするのが得策であるといふ意見である、しかし大體の空氣は

、保境安民 に傾いてゐる、

この主張の理由として擧げられてゐるのは

一、露支紛爭解決後もロシヤは依然國境方面の軍隊を撤退しない
二、共產黨の東北四省における勢力扶植は輕視出來ない狀態である
三、銀の暴落による財政的疲弊は出兵どころの騷ぎではない

等である、殊に張學良氏は東北四省人民の平和維持の總意を無視する能はざる立場に在るから中央援助のための出兵は先づ絕對に實現しないと觀てよい、たゞ將來形勢の如何によつては

消極的な 調停を試すことは有り得るかも知れないといふ意見で、滿玉麟氏が參加して正式會議が開かれても恐らくこの結論の外には出でないであらう

冬期を控へて決戰を開始

南北兩軍の配置狀態

最近の支那戰局は目下依然たる奉天側の中立維持により南北兩軍共こゝもと冬期を控へていよ/\一大決戰を開始せんと互に主力の大軍を京漢線方面に移動しつゝあるが今左に兩軍の行動及び兵力を詳述すれば

京漢線方面

南軍 は目下その主力約二十ケ師を京漢線方面に移動し該方面において一大決戰を企圖して着々進攻擊の準備中にしてその第一線は曹縣から太康、周家口、西華、郾城附近の線にありて北軍の前進小部隊と時々交戰しつゝあり

北軍 は主力を以つて開封を初め尉氏、通許、扶溝、許昌地方に堅固なる陣地を占領し鄭州附近には約十ケ師の總豫備軍を控置してゐる、かくて兩軍戰鬪開始すれば南軍は京漢線を遠く西方より北軍の後方を突かんも該方面の地形は嶮難にして大兵の運用至難なるため結局京漢線に近く攻擊開始の餘儀なきに至るであらうと觀測されてゐるが一方北軍は已に該山地方面には配備あるのみならず京漢線には該地繼備隊を以つても應じ得ると尙許昌附近には堅固なる陣地を有せるため專ら兩者主力の正面衝突とならんも戰鬪は持久に陷るものと觀測されてゐる

津浦線方面

南軍 卽ち中央軍は韓復榘軍二ケ師を以つて齊城附近李樹霖軍一ケ師を以つて濟南の北側附近黃河沿岸に馬鴻逵軍一ケ師を以つて泰安平陰附近に夫々配置せるも攻擊に前進せず

北軍 卽ち西北軍は武定附近に第二軍津浦線上黃河對岸より德州の間に約五ケ師及び東昌附近に一ケ師を配備せるも專ら防禦工事と部隊整頓中にて該方面においては戰鬪なく持久を策せるものの如くである

北方政府は僞物

如何なる契約も承認せず 南京側の對外宣言

【南京十二日發電通】北方政府組織に關聯して國民政府は十二日夜大要左の對外宣言を發表した

北方政府は閻、馮、汪等逆賊の組織せる僞政府たる故如何なる國家、團體、個人たるを問はずこれと借款又は契約を締結する事は中國の內亂を助成するもので國民政府としては絕對に承認し難い又北方政府が最近骨董品を盛んに賣出しゐるがこれは中國の文化を破壞する行爲であるから友邦國民はこれを絕對に買はざるやう諒解を得んとす

均善外交說明

朱外交處長より

【北京十二日發電通】外交處長朱鶴翔氏は均善外交に關し左の如き解釋を述べた

新政府の對外政策たる均善外交は蔣、王等の外交に名を藉り私腹を圖る虛僞外交と全然異なり世界の大勢に從つて相互利益を根本原則とし新政府に同情善感を與ふる國に對しては新政府も等しく同情善感を與ふるもので這は中國外交史上一新紀元だ

關內移動奉軍の目的は不明

列車未だ準備されず

【山海關特電十三日發】關內駐屯の奉天軍(步兵第二十七旅、第六旅騎兵第一師、工兵六營)に對し出動命令ありこれ等の軍隊は小銃の分配並に一人につき二百發づつの小銃彈補給を完了した出動の時日、目的等はなほ不明で列車さへ準備されてゐないから果して何れへ出動するのかなほ判明しない、又灤河子にあつた第四旅第十二旅を連山へ、第二十旅は前所へ、第

駐防地入替の目的らしい

【山海關特電十三日發】當地方面の奉天軍移動について上海方面では奉天派が武力調停の目的からではないかと傳へられてゐるやうだが、奉天派は嚴正中立の態度を持しをり、今回の奉軍移動は馬延福事件により從來の駐防地入替のためと觀られてゐる

滿電は百名整理

職員廿名、傭員五十名、華人卅名 主任課長の退職五名

滿鐵傍系會社の人事整理に關しては既に國際、大汽がそれ/\發表し滿電でも横田專務、今井常務の手によつて愼重協議中であつたが十三日午前九時横田專務より左の如く發表した

本店經理課長 三宅敬夫
同電燈課營業主任 脇坂正之
同 集金係主任 西本和郎
同電線課運輸主任 井上正忠
奉天支店長 獺永茂太郎
依願本職を免ず

尚本支店全體で今次の整理により退職を命ぜられたものは職員二十名、傭員五十名、支那人三十名合計百名だが傭員、支那人は更に今後十名以上の退職者を見る筈で本店は十二日支店は十三日それ/\本人に通告した、而して右退職による異動は

自動車係主任 原口純充 經理課長を命ず
電燈課長 栗山〔?〕二 電燈課營業係主任、同集金係主任業務を命ず
重役室附 長谷川敬 奉天支店長を命ず
庶務課庶務係勤務 後藤吉之助 庶務課人事係主任を命ず
電燈課外線係 大塚良治 長春發電所主任を命ず
電燈課內線係主任 奧平廣直 電線課運輸主任を命ず
電線課運輸係 市川孝八 鞍山支店長を命ず

尚電燈課內線係主任富田登二、鞍山支店長稅所壯吉兩氏は滿鐵傍系會社重役として榮轉に決定してゐる

滿電傍系會社の整理は總會後に

横田滿電專務語る

滿電今次の人事整理問題について横田專務は語る

自から退職を願出た人もありました、會社としてもこの機會に人事の入換の希望もあつたので本店は十二日に、支店は十三日それ/\本人に通知した滿電の傍系會社は瓦房店、大石橋、遼陽、鐵嶺、開原、四平街、范家屯、鄭家屯、新義州の九ケ所にあるが勿論この傍系會社に對しても退職異動を見ることゝなつてゐる、然し傍系會社については臨時總會を開き最後の決定をなす筈だが退職者五六名あらうと思ふ、この傍系會社の異動のため本支店の異動も今日全部決定する譯に行かない事情となつてゐる、退職者の休職期限は在社滿一ケ年以上のものは九ケ月一年未滿者は五ケ月で本俸、手當、宿舍料を支給することにしてゐる

今後引續き自然淘汰

滿電が滿鐵から分離したのは昭和二年で當時一千五百名の社員を以て成立したが現在は二千名を超過(內日本人社員は一千十四名)してゐる、獨立翌年第一次の社員整理を行ひしも極めて少數であつた今次の整理數は全社員の五分に當つてゐるが同社では目立たぬやうボツ/\整理する方針であるから或は今後更に整理の手を延ばされるのではなからうかと觀測されてゐる

滿電異動評

脇坂氏惜しまる

滿鐵の電燈營業は開業四年に過ぎぬがその發展振りは大連一だらうと一般から見られてゐる、この發展に努力した營業主任の脇坂正之氏は今次退職に決定し社內は勿論各方面で惜まれてゐる、尙一說によれば今次の整理は支配人高橋派の全滅でこれは高橋支配人の退職を暗示するものでないかと滿電內で噂されてゐる

市議補選の候補六名となる

秉井、熊谷、吉田三氏 いよ/\けふ立候補屆出

大連市會議員補缺選擧の立候補屆出は十三日午後十二時を以て締切られるが依然振はず正午までに濱町三十八番地出版および商業秉井林藏(?)氏が園山太郎、小澤太兵衛、立川雲平、藤根壽吉、高柳保太郎諸氏の推薦により正式屆出をなしたのみ、氏は一時出馬を斷念したもの如く傳へられたが、各方面の勸誘もだし難く決意した模樣で主として滿鐵會社方面を地盤とするらしい、この他極東週報社長吉田毅滿蒙土地會社專務熊谷直治兩氏も出馬を決意しいよ/\今十三日午後に至つて正式に屆出たがなほ二、三名食指動いてゐるものあると傳へられてゐる、この分ならば無投票當選とならうか、例へ經過しても混戰に陷る如きはないであらうと觀測され氣乘薄の選擧投票に際しても相當棄權は免れないであらう

選擧場入場券

配布不能一千名

大連市役所では來る二十日に執行される補缺選擧に關し有權者に對し過般來選擧場の入場券を配布してゐるが住所の移轉その他につき配布洩れのもの現在なほ一千名あり、これ等の人達は十八日頃まで市役所に出頭し受領して貰ひたいと

安藤明道氏榮轉か

大藏省に返咲き

過般歸新した關東廳總理課長兼秘書課長安藤明道氏は今回太田長官の肝煎りで內地に榮轉するらしい模樣で、いづれ元の古巢大藏省に返り咲くのではないかとみられてゐる、その後任は例により內地から物色するらしい

財部海相に辭職勸告

洋々會代表から

【東京十三日發電通】洋々會の有馬大將、樅弘會の筑紫中將は軍縮問題に關し同會を代表して十三日午前十時鍬ヶ關官邸に財部海相を訪問し條約を中心とする時局問題につき海相の態度を遺憾としその心事を質す處あり種々會議の後海軍の大行事たる大演習も近く行はれることとてこの際部內の空氣を一掃するため海相の辭職を勸告して正午解散した

走馬燈

玖渓生

南北兩政府

斯くて期待された北方政府は、去る九日閻錫山氏の政府主席就任に由つて組織緒に就き支那は茲にまた南北兩政府の分立を見ることなる。元來北方政府は蠢に汪精衛氏北上と共に一氣拙速的に成立さるべき者なりしに黨部問題や、張學良氏態度問題など に遲疑逡巡して決せず、山東喪失、士氣不振の今日において無理に成立せしむる事は決してその時機を得た者では無い、現在戰局は南軍有利にして兎角北風不振の憾ある上に、北方政府の內部は玉石混淆、水油不和の憾みの下に在れば、南軍の外部よりの壓迫を待つ迄もなく、政府內部の軋轢紛爭よりして瓦解し或は三日天下に終るべく期待されぬ事も無い。

◇

されば北方政府の成立は支那今後の戰亂を延長する者として、特に南京政府の支那統一を翹望する蔣介石同情者においては北方政府を無用有害の長物として其の存立を呪ふであらう、然し吾人はこれを悠久なる支那歷史より觀て、又これを至難なる統一より觀て閻、馮、汪聯立政府の成立は支那歷史上の一行程、支那革命上の一過程として應有必到の運命を有し然も大局上よりは支那の鬪爭は一歩一歩と統一に向ひ支那の革命は一段一段と徹底化しつゝある者と觀るのである。

◇

支那上下五千年の歷史を通觀するに、歷代戰亂の日は多くして絕對的の治安は甚だ尠い、古來戰亂の最も繼續せるは周末春秋戰國時代である、此時代は支那史中の最も暗黑時代にて社會の秩序紊亂、世道人心の墮落は其極に達し國家統一なぞは夢想だもされなかつた、此時に當り彼の孟子は天下一に定まらんと喝破した如くに、支那は幾年の久しき如何に亂れたりとも時運至らば必ず統一するのである、民國以來十有九年スピード時代ではその戰亂の長きに厭き厭きするも悠久なる支那史から觀ると左程の長年月では無い、隨つて支那は未だ統一の機運が到來してをらぬと思はる。

◇

古來より支那の統一は皆武力統一である、武力以外に支那統一の道は無い、孟子が人を殺さゞる者が天下を統一せんと云ひしは武力に併せて仁政を行ふ王道武を謂ふのである、而して王道武は王者のみこれを用ゐ、その他霸者以下はたゞ霸道武を用ゆ故に吳佩孚氏も張作霖氏も皆霸道的武力統一を夢み蔣介石氏亦武力統一を唯一の目標としてゐる、馮玉祥氏亦彼の獨自の理想の下に武力統一を忘れてはならぬ、閻錫山氏に至つては武力統一の自信も魄力も無いが彼亦一代の風雲兒、決して武力統一を無視してはならぬ、斯く支那軍閥巨頭連は悉く武力統一を夢み一度は成功し或は中成功して登台し又忽ち落台し、榮枯盛衰走馬燈の如くである。故孫文氏亦然り、故張作霖氏然り、蔣介石氏は現に登台し今度は閻錫山氏の番であろ、次ぎの番は馮玉祥氏であらう。

◇

一方支那革命の趨向如何と觀れば南方政府は三民主義を天下に呼號し一擧に張作霖氏の北方政府を倒したるも、元來三民主義は內容空疎、特に「以黨治國」の黨治主義は北人の喜ぶ處にあらず、此次北方政府の組織に當り北方側は兎角曹錕時代の舊法統に還元せんとして、閻、汪兩氏間に意見の衝突を來たしたが辛うじて双方讓歩し約法制定、國民會議召集を條件にて妥協成立し結局南方主義の黨治より北方理想の法治に移り革命工作上一段の進步を見たのである、閻氏は元來武人として同蔣介石氏の敵に非ざるも穩健なる實際政治家としては遙かに蔣氏の上に在れば彼の主宰する北方政府が何時迄繼續するかは第二問題として北方政府の組織及政策は南京政府のそれよりは稍々改善されて今後支那統一政府の建設上取つて以て範とするに足る者があらう。

◇

斯く支那は今漸く統一に向ふての行程に在つて統一の時期は混沌として定まらず。支那の政府建設は支那の國情特に北人の志趣に不適合の黨治主義より法治主義に移るの機運開け將來の統一政府は必ず黨治を排斥するであらう。而して國民黨極左の領袖連も漸次右傾して革命工作は次第に穩健化する者と思はる。

食糧檢查登記機關設置

【奉天特電十三日發】國民政府では今回全國民の生計調查をなす事になつたがこれがため東北にては奉天、龍井村及ハルピン三ケ所に食料檢查登記機關を設置し輸出入及移出入の食料を檢查するに決し東北政務委員會を經由してこの旨吉林省政府に命令した

駐露大使に

廣田和蘭公使

【東京特電十三日發】駐露大使田中都吉氏は今回の歸朝を機としてロシヤ駐在を免ぜられその後任には歸朝中のオランダ駐在公使廣田弘毅氏が赴任することに大體內定した而して田中大使は長岡駐佛大使の後をつぎ駐佛大使に轉ずることになるだらうと

關東廳辭令(十日付)

補大連飛行場長 關東廳航空官 若竹又男
遞信局兼務を命ず
同 (九日付)
從六位勳六等 和多野健藏
敍勳五等授瑞寶章
勳七等 廣重時次郎
授青色桐葉章
勳八等 渡部佐八郎
今泉慶明
石原重吉
敍勳八等授瑞寶章(各通)
同 (十二日付)
關東廳中學校教諭從六位 山田長三郎
任關東廳高等女學校教諭
敍高等官五等、六級俸下賜
大連神明高等女學校勤務を命ず
關東州公立中學校教諭從六位 藤田千代吉
任關東廳中學校教諭
敍高等官五等、七級俸下賜
大連第一中學校勤務を命ず

人事

▲佐藤旭一氏(前滿鐵課長)十三日午前八時半入港のばいかる丸にて歸連
▲岡田源太郎氏(內外棉花取締役)同上來連
▲山口陽弘氏(山口商會社長)同上
▲藤田秀助氏(貿易商)同上
▲室岡孫次郎氏(三井物產社員)同上歸連
▲谷本兎四郎氏(關東廳警務局警部)警官練習生九十九名を引率同上
▲姬路商業學校滿鮮見學團一行七十七名 佐藤教諭引率の下に同上

大觀小觀

また樂觀は許されぬ、併し、悲觀するの必要もない、結局、落ちつくところに落ち着く。

◇

北方は北京の文華殿、武英殿を質に入れやうとする。南方は外人に買つて呉れろなさいといふ。

◇

いよ/\骨董に手が出る。尤も大抵のものは、贋物に置きかへられてゐる時分だが。

◇

秋、秋、秋、松禮が出る藥が出る、空氣はみ澄透り、腹はへる、味覺はそゝられる。

天氣豫報

十四日(南の風)曇一時晴

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二四、九	二六、二
旅順	二三、九	二六、九
營口	二五、一	二六、〇
奉天	二五、七	二七、二
長春	二四、七	二五、一

滿潮 (午前一時三十五分 午後一時三十五分)
干潮 (午前七時五十分 午後七時四十五分)

乗物生活——

裏—(B)—表

ペルシャ猫の首筋から エメラルドの幾粒
船客の動き見逃さぬ『暗に光る眼』
若い稅關吏の話

黄白嘴岬と大孤山半島が淺黒い双臂に大洋を抱して、荒れ狂ふ玄海の波濤を堰止め、內懷にやんわりと抱き育てた港——大連、放泊區、柳樹屯區、大連區の三區、三百萬坪の中に蠢く人々の、機械の、音響の、何んとすさまじく、尨大なことか

▽——△

三日置きに故郷の香氣を船倉に沸らせて入港する定期船、驛樓の南支へ帆を孕むジヤンク、鴨綠江へのスクーナー、等々!、土俗的な華、蕗の臭氣とグロテスクなクレーンの大觸手が表徴する近代機械文明のルツボの中に凝縮された大連埠頭から吞吐される幾百千の船客の一擧手、一投足の細さまで決して見逃さない『暗に光る眼』が二つ——稅關吏がゐる、

▽——△

船の檢察官——稅關官吏が船中で手荷物や乘客檢査を始めたのは昨年春からだ、神戸へ定期船が入つてから稅關檢查では、スピードを尊ぶ時代に反逆する、船中で檢査した方が早手廻しだ、といふので出來上つた制度だ、滿洲から內地への密輸品は煙草、毛皮、ヒスイ等々、稅關で飯を食つた役人の第六感がピーンと鳴ると、妙齡の女性のボイス、ポツプの陰からヒスイの連環が轉がり落ち、一等キヤビンに葉卷を燻らす紳士のチヨツキ裏からコロナ／＼の香の高いヤツが赤いリボンで化粧したまゝ恥しそうにハミ出す、一等稅關吏を惱ますのは國籍違ひの紅毛人だ、殊に婦人は最も苦手だ。

▽——△

X社がキヤビンとスピードを誇る新造船ユー丸が處女航海の時だ、二、三等を終つたエム稅關吏は珍らしくキヤビンを一杯に塞いだ一等船室へ入つた、黑のデコルテ風な衣裳、船客名簿には北歐の或國の爵位持ちだ、金髮止めの伊達な太緣眼鏡をかけて、底に碧玉の瞳が澄んでゐる、と、綃更紗模樣の絨緞を滑つて眞黑なペルシヤ猫が、彼女のマニキユアされた指頭に躍つた、幅廣のホワイトリボンの結び目にブラ下つた首の銀鈴、エム稅關吏の職業意識がリユーンと腦神經を刺激した、パーサーを呼んで——一寸別室へ——國籍證明書の前で傲然と孔雀の尾を逆立てた彼女を冷やかに流し見て、エム稅關吏は黝黑ビロードのやうなペルシヤ猫の首筋を摑んだ、銀鈴が掌中に握られて、軈て——胡桃の殼のやうに割られた中から磨きゝつたエメラルドの幾粒かゞ油汗に濁つたエム稅關吏の指頭に摘み上げられた

▽——△

エム稅關吏は當時の思ひ出としてこれだけ語つた、北歐のバロネスは國籍證明書を僞造した國際的な密輸團の手先だつた

怪しいと睨んだ點ですか、猷に毛唐風を吹かせやがるので、こいつは變だツ、とピーンと來たのですヨ、ところがペルシヤ猫でせう、首の銀鈴がヤケに大きいのです、摑まへて鈴をいぢつてみると鈴の音が幾つにも聞えるんです、でテツキリと推斷しましたよ、身體檢查もやりましたれ、シユミーズの下に薄絹の腹卷きを巻いて、オパールだの、黑曜石だの、ムーンストーンだのふんだんに持つてゐましたヨ

▽——△

だが然し、若いエム稅關吏にはそんな數々の密輸品よりも、スツかりシユミーズを露出した北歐美人の右腕付根に仄かに白粉彫した髑髏の文身が覗いてゐたこと、その發見が、よりエキサイテングな密輸發見であつたに違ひない【寫眞は船內の稅關檢查】

珍らしいお話
男から胎兒
ヒヨツコリ飛び出す
世界で二人目

▽▽…【山口十三日發電通】赤十字病院佐渡外科室で男の睾丸から胎兒が生れ日本醫學界に一大センセーションを捲き起してゐる、患者は山口高等學校三年平本豐一(二〇)といひ、數年來睾丸過大で運動の邪魔になるので佐渡博士の診療を求めこのほど手術したところ意外にも直徑三センチの卵形をした胎兒が發見された、中には齒、毛髮、皮膚、骨、筋肉等各種の人體要素を具備してゐたがこの發見は世界で二人目である

▽▽…佐渡博士の談によると右は醫學の權威ドイツのウイルス氏が約百年前見たことがあるとの記錄があるだけで今まで實例には發見されなかつた、病名は寄生性胎兒腫にて卵巢に寄生することはあるが男に發見されたことは珍しい、原因は双生兒の一方が發達が遅れ睾丸に寄生したもので貴重な資料である

ハルビンに 自殺クラブ
死を讃美宣傳

▽▽…【ハルビン十三日發電通】ロシヤ人の自殺獎勵クラブがハルビンに生れ、クラブ員はカフエーやダンスホールに出沒してひそかに死に勝るものなしとの自殺讃美宣傳ビラを撒布してゐる、支那官憲はこれが取締りに鋭意努力してゐるが世界的不景氣が生む一現象として觀測を集めてゐる

重傷者を放置し 治療拒絶の怪聞
唐澤醫院の措置にめづらしい
醫師法違反と取調べ

仁術をもつて社會の師表として立つ醫師が人事不省の重傷者に充分の手當を施さず放置し、更に正當の理由なくして自動車で負傷した被害者の治療を拒絶、しかも一日に二回も醫師道を無視した擧に出て、問題となつてゐるが、所轄大連署では近ごろ珍しい醫師法違反事件として取調を開始してゐる

けさしかも二回 檢視係官も憤慨
擔ぎ込まれたのはいづれも 交通事故の重傷者

十三日午前七時五十分ごろ市內山縣通り加賀町交叉點において海事日報配達夫周子賓(二〇)が水源地行き四番系統電車の前方を横斷せんとした際、電車のノツカーに着衣を引き掛けて六、七十間引きずられて電車は停車したが、周は後頭部、腰部に重傷を負ひ人事不省に陥つてゐたので最寄りの唐澤醫院に擔ぎ込んだ、然るに唐澤醫師は簡單な應急手當を施したのみでなほ昏睡狀態にある被害者を玄關わきの長椅子に寢ぜたまゝ**放置し**あるを檢視に赴いた大連署司法係吉富警部補が發見、見るに見かねて加害者側の滿電從業員に入院手續きを執るやう命じた、それより二時間を經た午前九時五十分ごろ今度は寺內通と明石町交叉點で日華自動車學校練習生李枝盛(二一)が路上で作業中の苦力張某(四〇)を轢き頭部、顏面、右腰部等に重傷を負はせたので直ちに擔架に乘せ前記唐澤醫院に擔ぎ込み應急手當を乞ふたところ、奇怪にも同醫師は「治療費を誰が出すかもわからぬ者を治療せぬ」と拒絶したので止むなく重傷者を再び**擔架に**乘せ市內吉野町堀江醫院に擔ぎ込み手當を受たが全治二週間を要する重傷である、度び重なる唐澤醫師の不當措置に對し檢視の係官も憤慨してゐる

『金の出所が判らず 治療は出來ない』
加害運轉手の話

被害者を唐澤醫院に擔ぎ込み應急手當を拒絶された加害者運轉手李枝盛は語る

衝突と同時に私は急を寺內通派出所に屆出ると同時に擔架を借りて被害者を唐澤醫院に擔ぎ込みましたところ、どういふわけか治療は出來ぬと斷はられたので[illegible]病院に連れてゆきましたが後から巡捕さんに聞いたところ、唐澤醫師は金の出所が判らぬ者は治療せぬといつてなられたといふことを聞きました

私の方に 責任なし
唐澤醫院の言分

唐澤醫師を訪ふと治療中だからと面會を避け看護婦が代つて語る

前の負傷者に對しては充分なる手當を施し、博愛醫院に入院させろといふことでしたから、それまで玄關の長椅子に安靜させて置いたのです、後からの負傷者が來た時は丁度先生は他の患者の治療中でしたから暫く待たせて置いたところ、勝手に連れて行つて終つたので私の方に責任はありません

事實とせば 嚴重處分
高瀨衛生主任談

右に就き高瀨大連署衛生主任は語る

醫師が正當の理由なく治療を拒絶した場合は醫師法第七條に觸れる違反行爲である、唐澤醫師の行爲が果してこれに觸れるかどうかは目下のところ判然とせぬが充分取調べの結果、事實ありとすれば法規の命ずるところにより嚴重處分する考へである

鮮人共產黨 電線を切斷 支那學校を燒打ち
間島一帶の暴狀愈よ甚だしく
農民續々龍井に避難

【間島特電十三日發】十三日未明鮮人共產黨員數十名が天圖鐵道沿線湖泉街と懷慶街間の電線及び電柱を切斷し、同時に八道河子の支那學校に放火し校舍一棟を全燒せしめたので、日支官憲は大活動を起し容疑者の檢擧に力めてゐる、なほ間島一帶にわたる共產黨の暴狀いよ／＼甚だしく各地より避難民が續々龍井に入り込んでゐるが、いづれも收穫期の農作物を放棄して來る者達で悲慘な光景を呈してゐる

ラグビー
接戰を期待の あすの二試合

來る二十四日頃に擧行される本社主催の滿鮮稻門戰を最後として多事なりし野球シーズンの幕も閉ざされることになるが、これに代るラグビー、シーズンは愈々十四日工事對滿鐵、大連倶樂部對工大の二戰で華々しく開始されることになつた、前者は午後二時より後者は午後三時半よりそれ／＼大連運動場に於て行はれるが、七日奉天に遠征して醫大チームに辛勝した工事軍は破竹の勢ひを以て滿鐵チームに當るべく、大倶は來る廿四日擧行される對滿鐵戰にそなへるべき好機會としてこの一戰に全力を注ぐべく、シーズン開きの劈頭戰としてのふさはしい好試合となるであらう

月明の甲板上に 勇猛な愛慾鬪爭
月見の宴が取り持つたエロ
ばいかる丸の航進曲

十三日入港のばいかる丸が吐き出した浮氣つぽい船中でのエロティシズム——逢坂町遊廓へ賣られる爲に若い吸血鬼の周旋屋二人に連れられた三等船客篠原シズ(二〇)青木リシ(二〇)二人は十二日夜、月影冴え渡る玄海灘に差しかゝつた際、故國を後にはる／＼滿洲くんだりまで身體を賣る淋しさに耐へかねてか、周旋料でしたゝか彼女等自身の肉をしやぶる筈の若い周旋屋二人を甲板に誘ひ出して船上で月見の宴と洒落た揚句、年增のリシは若い男をハツチへ喰はへ込んだ事から、俄出來合ひの二組の男女の間に激烈な愛慾鬪爭が起り、男二人は賣込む筈の女を互に御婦に見立て、女二人は吸血鬼を**馴染客**氣取にして互に打つ、蹴る、引ツ掻くの大修羅場を演じ皎々たる月明の下に船上の大立廻りを演じ、仲裁役の船員は鎮論、馴れぬ航路に暇苦い船客達に飛んだ眠氣醒ましのコメディーの一幕を見せつけてしまつた

砂泥棒捕はる 市內上葵町苦力臧景茂(四四)は十二日午後一時頃同居の苦力張玉成(四二)と共に沙河口管內白雲山馬車收容所下官有地上葭町附近において無許可のまゝ荷馬車四臺分に砂を採集し、練瓦を製造しておいたのを沙河口署員に發見され直ちに檢擧

燒酒製造所 燒く
福得街の火事

十三日午前零時半ごろ市內福得街八番地雙興泉燒酒製造所張忠恩(五〇)方製造工場松葉在中の倉庫より發火したのを夜業中の苦力が發見し消防署に急報したが、燒酒製造所のこととて見る／＼內に火は工場內一面に燃え擴がつた、消防署員必死の活動によつて漸く同一時五十分工場一棟一戶約百坪を全燒して鎮火したが、小崗子署では發火と同時に全署員の非常召集を行ひ大內署長指揮のもとに附近の警戒に當る等一時はなか／＼の騷ぎであつた、損害は約一萬五千圓で原因は目下取調べ中

不正小包送り主 容赦なく告發す
善良な小包送付者のために
遞信局が固い決心

最近內地行小包の中に手紙を入れたもの、無告知のまゝ煙草、マツチなど郵便禁制品を同裝したもの、また甚だしきに至つては麻雀、寶石、指輪の類を砂糖、茶或はロシア飴の中に隱し、または支那靴物類を帶芯等に**縫ひ込**んだものなど續々稅關檢查の際發見されるので、遞信局ではその都度告發その他の處置を取つてゐるが、かゝる不正手段を弄する者のあるために善良な小包送付者の分に對しても檢査が嚴重になり、自然小包遞送が遲延するのが甚だ遺憾であるので、今後この種のものを發見の場合は容赦なく告發する由である、なほ內地行小包はすべて稅關で開披されるし稅關吏は多年の經驗によつていくら**巧妙な**手段を講じてをつても小包の包裝狀態、および手觸り等からこれ等隱蔽手段を看破するのであるから、小包の發送者は一般に注意が肝要であるそ

姉を尋ねて 漂泊ふ露人少年
旅劵なしに營口から來連
水上署の情で青島へ

十二日午後營口から入港の和興號は姉を尋ねて彷徨ふ憐れなウラジミール・ピリニヤツク(一五)といふ露國少年を乘せて來たが、旅劵を所持せぬので水上署員が取調べたところによると、同少年の父は過ぐる革命時に殺され叔父の許に引取られ浦鹽に住んでゐたが、今夏叔父は國事犯の嫌でゲ・ペ・ウに捕はれてしまひ頼む家とてなく、二年前に姉のリングハム(二〇)がダンサーとしてハルビンにゐるうち同地の露國青年と戀仲となり今は青島にゐることを聞き込み、はる／＼營口まで彷よつて來て、ソコから姉の許に赴かんと乘船したもので、水上署員も同情して同日午後零時出帆の十六共同丸で青島に送つた

警官練習生 體力を誇る
見事試驗にパス 九十九名着連

十三日入港のばいかる丸で關東廳警務局の谷本警部は今回東北五縣で募集した警官練習生九十九名を引率して歸つたが氏は語る

聞きなれたことでせうが僅か百名足らずの募集に對して二千餘名の應募者がありました、學歷程度も中等學校卒業が最も多く大學、專門學校卒業も隨分居ました、とにかく體力を主にして採用しましたが、例の新聞に出てゐましたとほり試驗に落第した一人が血書して警視廳へ採用方願出たほどで應募者は皆一生懸命です、ひどい不景氣ですね

パルチザンの大部隊 旅客列車襲擊か
布哈圖から支那討伐隊急行

【ハルビン十二日發電通】十二日午後九時東鐵への入電によれば過般來掠奪虐殺を恣まゝにしてゐた大部隊のパルチザン隊はハルビンの西方鐵道附屬地帶に現はれたので十二日朝八時滿洲里發ハルビンに向つた第四旅客列車は雅魯驛附近に立往生した、パルチザン隊は右旅客列車襲擊の目的らしく一方布哈圖より大部隊の支那軍特別列車で討伐に向つたが彼我の正面衝突避け難く多數旅客の安否頗る氣遣はれてゐる、なほ邦人旅客の有無その他電文簡單にして詳細不明である

慘殺者 百二十餘名
一掃は難かしい

【ハルビン特電十三日發】東線西部線ハイラルから博克圖一帶に猖獗を極めた蒙古人、ロシヤ人混成のパルチザン一隊は五月から八月末に至る四ケ月間に各地の農村、牧場を襲ふた數は百數十件に達しそのため慘殺されたもの百二十餘名に及び今もなほ各地に出沒し猛威を振つてゐるが、冬期結氷時となれば一層彼等の行動に便利であるため被害の範圍は廣くなるだらう、哈滿副司令程志遠氏はハイラルより討伐に向つたが官兵を聽侮してゐる匪賊は到底一掃されないだらうといはれてゐる

運轉手合格者 沙河口署にて去る十一日施行された自動車運轉手筆記試驗において受驗者十二名のうち石橋豐、中野末吉の兩名が合格した

日曜の催物

野球戰　大連實業團滿洲倶樂部　午後三時から實業球場で

ラグビー　大連運動場で午後二時から工事對滿鐵、午後三時半から大倶對工大

南滿洲教育會州內外對抗陸上競技獎學會州內豫選會　午前九時から大連運動場で

スカーリング倶樂部納會と遠漕會

黑石礁の大連スカーリング倶樂部では十四日午前十時より左記の如く本年度の納會及び遠漕會を擧行することになつた

コース老虎灘往復約廿浬(荒天の場合は星ケ浦ホテル前往復)

▲午後五時親睦會(黑石礁)會費一圓(當日持參のこと)

オートバイ乘り 跳ね飛ばさる

市內惠比須町一九五番地ヤマトタクシー運轉手和氣撒(二〇)は十二日午前八時ごろ自轉車を操縱して埠頭よりの歸途、伏見町十一番地先にて右折せんとした際、沙河口方面より疾走して來た市內信濃町三番地大月商會主成房松太郎(四〇)のオートバイと正面衝突し、成房は路上に跳ね飛ばされて右足膝關節下を骨折し直に大連醫院に收容された

東鐵でも 旅客望診
南滿のペストで

【ハルビン特電十二日發】南滿におけるペスト發生に東鐵衛生科では協議の結果、長春、陶賴昭、チ、ハルを防疫箇所として望診を行ふことに決し露人醫師二名は四平街の狀況視察のため派遣された

退路を失ひ 馬賊團溺死
滿浦鎮に潜入

【京城十三日發電通】警務局着電＝十二日夜平安北道滿浦鎮對岸から二十五名の馬賊潜入し掠奪を試みんとしたところ、江岸警戒中のわが警官が發見し銃火を交へてこれを擊退したが、馬賊の大部分は退却するに際し退路を斷たれた爲め鴨綠江に飛込み溺死したものらしい

愛讀者奉仕の 福引景品引換へ
五千の幸運者へ告ぐ

一、御當籤の方へは本月中に本社に於て福引券と引換に景品をお渡し致します
二、地方御當籤の七等以下は十月一日より本紙販賣店に送り屆けますから最寄販賣店に於てお引換へ下さい
三、但し右引換は十一月三十日を期限と致します
四、抽籤洩れの愛讀者への記念品は十月中旬頃より贈呈致します

滿洲日報社

御會葬御禮　田中庄藏　田中庄次郎　親戚一同　友人一同

河盛恒治郎儀豫て病氣の處養生不相叶本月十日午後二時往生を遂げ候間此段生前辱知各位へ謹告仕候 追て葬儀は來る十五日途中行列を廃し午後四時より當別院に於て執行仕候尚勝手乍ら生花花輪放鳥等御供物の儀は本人生前の意思に因り堅く御斷り申上候
九月十三日　男 河盛又治郎　親戚總代 河盛安之介　別家總代 美見清[illegible]　友人總代 荒木伊平

當別院勸定河盛恒治郎殿本月十日午後二時往生を遂げられ候に付此段御門徒各位へ御通知申上候 追て葬儀は來る十五日午後四時當別院に於て執行相成候
本派本願寺關東別院　同 常議員一同　滿洲佛教青年會　滿洲佛教女子青年會　關東婦人會　關東雅樂會

侠艶一代男（55）

米田華紅作　伊藤幾久造畫

お千賀の行方（十二）

老婆は、黒ずんだ齒莖に二三本殘る前齒を露らにニヤリと笑つて

「お嬢さん、お前さんはお千賀さんとやら云ひなさつたれ」

「はい！どうぞお願ひでございますから、早う父のゐる座敷へお連れ下さいまし」

厭ひかゝる恐怖が、黴臭い居間のうちに一杯で、胸を噛まれる思ひがした。

「あいよ」

老婆はまた意味あり氣にニヤリと笑んで、輕く二三度頷いてみせた。

濡れに白蓮の花が浮く模樣を描いてある、煤け切つた間ひ襖を開けると、埃だらけな廊下が奥へ通じてゐる。

「かうお出で！」

言葉が急にぞんざいに變つた。

お千賀は云れる儘に、暗い灯影一つ射さない長い廊下を、足裏に感ずる冷たさとざらく\する埃を無氣味に感じながら、手探り、足探り、なづく\と顫えながら従つた。幾曲りかしたであらう時。向ふに灯の影が細く襖の隙から射してゐるらしいのを見た。

「連れてきたか？」

室内から、確に道玄と思はれる男の聲。濁音を叩きつけて呼かけた。

「あいよ」と、老婆が落ちついた返事。

ガラリと襖が開いて、明るい小座敷、緋毛氈の低膳を前に、獨りでチビリく\飲んでゐたらしい道玄が京繪の縮目の丸行燈を後に、黒い大入道の影を作つて、出入口に立ちはだかつた。

「おうお千賀さんか？待ち兼れてゐた」

「小父さん……！」と、縋りつく聲で、お千賀は座敷へ轉げ入ると自然に涙が何の譯もなくホロリと膝へ落ちた。

「どうしなさつた？大變に隙取つたぢやねえか？隨分と探索てたぜまアいいやそこへ坐んなせえ」

と、道玄は膳の前、元の席に胡坐を組むと

「一杯どうだれ？氣を落ちつけるにや持つてこいの代物さ」と、盃を突きつけた。

「いえ……」と、激しく頭を横に振りながら

「父は……？父さんは、どこにござんすか？早う逢はして下さいまし」

「合點だッ！心配しなさんな」

「でも氣懸りでなりませぬ」

「まアいゝと云ふにさ。それより一杯、飲んでみたらどうだれ？最初は苦いやうだが少し經ちやア、カラリと胸が開けていゝ氣持になる。それが酒の徳さ」

「いえ、私は頂きません。それよりは早く父さんに逢はして下さいませ」

「さうかい！尤もなわけだが實はお千賀さん！お父さんと石上さまはつい今し方まで、お前さんの來るのを、今かく\と待つてお出でだつたが、あんまり遲いので、惜いことに入り違ひにお歸りになつたのさ」

「えッ！」と、お千賀はのけぞる程に吃驚して「では父さんはもう歸りましたのか？」

「さうさ。本當に殘念だつたよ。石上さまもな」と、落ちつき拂つて、冷たい酒、獨りで酌をするとぐびりと飲んだ。

老婆は、襖ぎはに突立つて、無言に道玄と眼で何やらを語り合つてゐた。

「小父さん、こゝは石上さまのお邸ではござんせぬのかえ？」

「と云ふわけでもれえ。御本宅はお茶の水上だが、まア別邸……さうだ。別邸のやうなものさ」

「では何處でござんすかえ？」

「そんな事はどうでもいゝぢやれえか？今夜は遲いこと、また明日になつたら詳しく話してきかせやう。な、何も心配することはれえ。この道玄がついてゐるから安心してお父さんの側にゐると同じに思へばいゝ！」

老婆がふゝんと、鼻で笑ふのを道玄が険しい眼で睨みつけた。

「小父さん！私を家へ返して下さい。お願ひでございます」と、お千賀は思ひつめたらしく頼んだ。

キネマと演藝

浪曲京山幸枝　明日から大劇で

浪曲京山幸枝一行は愈々十四日から大連劇場で開演するが多人數の讀み手にて午後正六時より幕をあけ主なる讀物は左の如くである

▲人情百々千鳥　八洲天韶　▲誠忠録　秋津櫻洲　▲日本海戰記（軍歌節）京山時丸　▲難波戰記（滑稽讀み）藤川友春　▲太刀山と藝者　▲會津小鐵　京山幸枝

尚入場料は時節柄一圓均一特等一圓五十錢の由

琵琶愛吟會　今夕遊樂館で

琵琶界各派の同志が集つて今回新に組織した愛吟會にては今十四日午後六時より遊樂館に於て第一回演奏會を催すが、番組は左の如くである

▲春日野　錦心流　宮本清光　▲西郷隆盛　同　細川務水　▲旅順開城　篁流　鍛川篁雪　▲月下陣　錦心流　河口丞水　▲蓬灣入　錦光流　魚谷光正孃　▲別れの盃　錦心流　川西釋水　▲乃木將軍　同　鹽谷弊水　▲常陸丸　同　淺　願水

藤間勘奈津披露目　やなぎ會溫習會　愈よ十月上旬に大連劇場で　華々しく開催に決る

藤間勘奈津師匠名披露目のやなぎ主催の第三回北村席溫習會は愈々來る十月上旬（十月三、四、五日の會期は都合で延期）三日間大連劇場に於て杵屋六寒三郎田中傳兵衛兩師補導の下に華々しく開催することに決定しプログラムを發表した、殊に今回は大道具に力を注ぎ新しい舞臺を見せるべく大車輪で演し物も亦、長唄の素囃子、舞踊は勿論清元を演し更に藤奈津師匠振付の詩情の豐かな民謠舞踊及び童心を表現した可愛い童謠舞踊等從來の大連に於ける溫習會の舊套を脱した行き方を示し秋の舞踊時代の尖端をゆくダンスを見せる音曲界を飾るべく非常な意氣込みで大いに期待されてゐる、プログラムのうち主なるものは左の如くである

▲舞踊（長唄）雛鶴三番叟▲民謠（映畫小唄）祇園小唄▲民謠梅の小枝▲民謠富士山見れば▲民謠忘れな草▲民謠夏の雲▲民謠（映畫小唄）お吉▲童謠寢んねんコロリ▲童謠紙人形▲童謠からかさ▲素囃し（長唄）勸進帳▲素囃し（新曲長唄）浦島▲素囃し（長唄）秋の色種▲舞踊（清元）おかる勘平道行▲舞踊（長唄）藤娘▲舞踊（清元）玉兎▲舞踊兎ダンス▲舞踊（新作長唄）都島▲舞踊（長唄）多摩川▲舞踊（長唄）新鹿の子道成寺▲三絃童謠雀追ひ雀ダンス▲新作舞踊劇吉野山▲新作舞踊聚樂邸▲新作舞踊劇三條大橋▲舞踊（長唄）奴道成寺

その夜の妻

◆新青年紙上に「九時から九時」までとして發表されたオスカー・シスゴール作の小品の映畫化で、紙上では四頁ぐらゐの短いものであつたやうに記憶してゐる。病兒と夫の爲に、強盜をした夫を捕へに來た刑事に短銃を向ける妻の夜更けより夜明けまでの物語り。映畫として、實によく出來てゐる。確かによい映畫の内に入れる事が出來る映畫ではあるが、唯八卷物にするには原作が餘りに單簡で變化に乏しいものであつた事が殘念に思はれた

◆小津の作品としては確かに今まで變つてゐる。メロドラマ的な味を多分に持つた映畫である。同じメロドラマとして發表されたものでも以前の「朗らかに歩め」がやゝ太い線で描いてあつたに反して此は全々細い線で、力強く描いてある。ただし餘りこまかく描いた爲に力強さとスピードを損じてゐる點もあるが　小津の持つ多くの長所にかくれて餘り目立たない

◆八雲、岡田は例の如くで、餘り取り立てて云ふ程の點はない。それよりも新入社の山本冬郷がよき適役として、堅實老巧な性格俳優ぶりを見せてゐる。おちつきのある此の映畫、無解說の方が氣分が出るかもしれない。此の映畫の解說者は一度「九時から九時まで」を讀んでおくべきだ【次週帝國館上映―（一）】

コロムビアレコード演奏會

今十三日（土曜日）午後六時半から電氣遊園音樂堂に於てコロムビアレコード演奏會を催す

噂話

ゆふべ淡月で北村席が溫習會開催のお披露目をしたが▲餘興に藤奈津師匠が先づ「連獅子」に次いで新舞踊の見本に拵仕立の「笹草」をレコードの伴奏でひと舞あざやかなところを見せて尖端藝者の心意氣はこの通りと許り獣江の蘇唱で宇女ゝ、てまり、宇女柳の三人が廓の子の振袖姿で「一筋人お吉」を見せたが▲小唄映畫のプロローグとして申分のないやうな行き方で映畫館も困つてゐる時ではあるまい▲古い箸の溫習會で映畫館がゆり起されるなんて大連らしい話ではあるが……▲帝館の女優が御殿女中になつてルビーの指環をさして舞臺に出たのは有名な笑ひ草であるが▲紫竹會なんかでもよく見受けるやうに三味線や立方の腕に時計がチラつく位おかしなものはない

活動屋の女性觀　（三）

蔦楮天

E

彼には愛する妻がある。でもある様に見えない。資本主義沒落期に當面し、妻を所有することを諦つて終ふべきに何事ぞ！彼は妻帯せることを極端に隱そうとさえしてゐる。

ジャーナリズムと巧な職らくから彼の計畫されたる艶文がひろめられる時に、微笑する。吐棄すべき心無職策であるが笑えない事實である。

F

F……彼はゴルフパンツを穿いた泉鏡花だ。E程非生産的な遊びは決してやらない。遊びたくとも遊ばない、いや本質的には無理した遊びを好まない。

片岡千惠藏や林長二郎のかゝつた館の初日の二階に、きれいな首がズラリと並んだうしろの方で一人悦に入つてゐる青年を見出さうこれがF君である。益にも泣けないモダン鏡花ばりがある。

G

更に今一つ時代にとりのこされた殘骸（殉情の青年G、ローマの古塔たとへ環ろとも塔の影にさゝやいた戀は永遠に續くと白村そのまゝに、ひたむきな殉情を抱いてゐる。

活動屋によく仕掛けられる戀愛の戀にさえ、彼が胸をときめかすのも無理はない。映畫をそのまゝに、灰色に、憂鬱に、悲戀に泣くかと思へば、晴やかに感激さへもする。

まことに少い、でも愛すべき青年である（完）

ペーヴメント

近代都市の夜を華やかに彩るネオンサイン時代が大連にも近づいて來た、名前からしてシイクなネオン・サイン、近代人の感覺にぴつたりと來るネオン・サインの光と色と言葉の響き、一番古いのが眾山電燈課長の洋行土産の滿電入口の英字の社名、それから三年經つて今春に入つて俄かに夜の浪速プラに、連鎖商店に、また僅かに近代都市らしい匂ひを放つてゐる常盤橋附近に漫歩の眼にチラホラと映るやうになつた、伊勢町の浪速ビルのビユーローがつけると間もなく梅園が商店廣告のトツプを切つてネオン・サインの飾窓が斷然浪速プラの足をとゞめさした岩倉洋行も上品なのをつけた、平田洋行は何時の間にか飾窓から引込めた、大山通ではジヨン商會がたゞ一軒、連鎖商店ではマルタキの果物、その屋根には福昌公司の赤貝印ガソリンの廣告shellが高くサインをかゝけ、そばやの蓬萊がモダン振りを示してゐる、近頃になつて東亞タバコがつけたが、せめてあれ位のものでないと引立たない。大連では優秀なものゝ一つであらう。常盤座も計畫を早く實現さしたら……そして連鎖商店全部にネオン・サインが色と光を競つたならばと樂しい夢のやうな空想も描きたい、常盤橋では中央ビルに滿電の外に瓦斯會社が青と赤、天滿屋ホテルの屋上にはズバ拔けて大きいキリンビールの赤文字、また最近開業した西廣場の普茶料理の雲水が西通の小路の入口に紫で附近の薄闇に異彩を放つてゐるそれから滿電屋上のスカイ・サインがないと物足りなく淋しいからいつも續けて欲しいものである

ラヂオ

大連　JQAK

九月十四日午後七時

▲謠曲（俊寛）觀世流泉泰一郎

▲ラヂオスケッチ（奈仁和風景）武夫（細川）父（宏）冷子（大橋）シヤツを賣る男（高田）釣堀の爺（小川）迷子（駒田）警官（田代）迷子の母（菊池）虫屋（加藤）藥を賣る男（田代）似顔を描く畫家（榎本）アイスクリームを賣る男（高田）其の他群衆大勢

▲落語（野球放送）櫻川ゝま助

▲浪花節（故郷の錦）市村紋十郎

▲支那唱（別宮門）唱劉金蘭、師付王振泉

▲料理獻立

▲天氣豫報

東京　JOAK

九月十四日午後六時廿五分

▲音樂名曲講座（娘道成寺と越後獅子を比較して）講演町田嘉章、實演（三絃）中島雅樂之都、町田嘉章

▲ピアノ獨奏（ノクターン六回ショパン作澤田柳吉

▲新內（明烏後の正夢）淨瑠璃富士松津賀太夫、同尾登太夫、三味線同時壽賀、上調子富士元鶴三郎

海關收入から見た貿易の不振
八月から實施を見た輸出附加税は七萬三千餘兩

八月中に於ける大連海關總收入は八千二萬三十七兩にして、これを前月中の八十萬五千六十九兩に比すれば一萬五千八兩の增加を示してゐるが、八月よりは日支關税協定成立の結果として輸出附加税が徴收されて居り、此の額は船舶税戎克税沿岸貿易税の各附加税合計七萬三千五百七十一兩であるから海關收入としては增加し居るも貿易自體から觀れば、夏枯期の不況愈々深刻を加えたことを示して居る今各種別に示せば（單位海關兩）

輸入税	二五九、四六七
船舶税	一六一、九七〇
戎克税	一、六九八
沿岸貿易税	四、一九七
噸税	三七九
輸入附加税	三三八、五三二
輸出附加税	七三、五七一
合計	八二〇、〇三七

紡績の操短は三割四分邊まで
内外棉の岡田取締 斯業の不況を語る

十三日午前八時半入港のばいかる丸で内外棉花取締役岡田源太郎氏が來連したが氏は最近の我國紡績界の現狀に就いて語る

織布の印度方面及び銀安の爲め支那筋輸出がさつぱり駄目なので我國の紡績界は全く悲況のどん底です今までは一月に二十四、五萬俵の原棉を使つて居りましたが如上の輸出減のため操業短縮をせねばならず既に二割七分位の操短をやつてゐます、今のところ月十九萬俵位しか使へませんから更に操短を決行せねばならず結局三割四分位までいくでせう、米棉の本年の豫想高は昨年と大した變りはありませんが何分繰越高が多いので原棉相場の前途は樂觀出來ません、とにかく我國產業界で紡績業だけは不況に當つて最後まで持堪えたのですが此の世界的不況には叶ひません、印度のボイコットは未だになかなか手堅いものでまあ國民的職業の結果とでも言ひませうか一寸當分局面打開出來さうにもありません、英國の紡績界にしろ我國以上悪く、これは世界的な現象ですね、私は金州の工場を見て廻つて一週位當地に滯在してそれから靑島上海へ廻ります

八月中の銀塊輸入高

本年八月中に上海香港兩港に輸入せる銀塊は二百七十五萬六千八百九十オンスで昨年の八月よりも減少してゐるが本年七月に比ぶれば大に增加してゐる、右の内米國より輸入せるものは二百六十三萬三千六百十オンスで大部分を占め他國よりの輸入は僅に十二萬三千二百八十オンスに過ぎない

十三日限り鈔票受渡高

大連取引所錢鈔市場に於ける九月十三日限り受渡しは十二日前場を以て納會を告げたが受渡し高は百二十四萬圓でこれを前期に比すと四十萬圓の減少を示してゐる、受渡し標準値段は五十九圓三錢である、主なる手口を示せば左の如し（單位千圓）

▲賣方　德泰一八〇、諸峯二九〇、雙聚福一八〇、福順一二〇、義成信二一〇

▲買方　山田一五〇、山本一一〇、裕昌祥一七〇、三井四二〇、東昌祥一二〇

全國商議聯合會
各商議の提出議案

第十三回滿洲商工會議所聯合會は既報の通り來る二十六日、二十七日の兩日に亘り長春において開催されるが各地よりの提案を示せば左の如し

▲奉天商工會議所提出

一、滿洲に產業經濟の調査統制機關設置方建議の件

二、東洋拓殖會社の金利引下並に延利息違約金廢止方建議の件

▲鐵嶺商工會議所提出

一、朝鮮向果の袋詰斤量並に一車袋數統一に關する件

▲四平街市民協會提出

一、全滿邦人特產物商輸出組合設立の件

▲哈爾濱日本商工會議所提出

一、貨物運賃引下方を南滿、東支兩鐵道に要望の件

二、滿蒙における蘇聯官憲の邦人壓迫問題に關し嚴重抗議方政府に要望の件

三、輸出補償法を滿洲に適用方要望の件

四、輸出補償法を滿洲に適用方要望の件

▲長春商工會議所提出

一、度量衡取締規則を滿鐵沿線附屬地に實施方關東長官に要望の件

二、商工會議所基金造成策に關し當局に要望の件

三、滿洲輸出組合に關する件

卸賣市場賣上げ去年に比し激減
八月中に於ける業績

八月中における市設中央卸賣市場の賣上高は點數二萬百八十七點、金額十萬一千七百三十八圓にして前月に比し點數三千三十點、金額八千三百五十五圓の增加を示したこの主なる原因は第一部（日本）輸入品を筆頭に支那及び臺灣よりの入荷激減し、加ふるに朝鮮よりは皆無なりしも地物の最盛期にして七萬六千餘圓の賣上を見たので他部の激減に拘らず斯く增加を示したのである、然るに前年同期に比較すれば七千九百四十六點、五萬五千四百八十圓の減小、同じく果實部中、桃は前年同期よりも、二千七百十八貫（對比七分）梨は一千四百三十八貫（六分）を增加せしも

全額は 反つて前者四千四百六十六圓（三割四分）後者は三千六十六圓（三割五分）の減少を示し、林檎は一萬六千二百三十二貫（四割四分）金額六千百九十三圓を各々減少した、林檎の減收は不作に基因し、桃、梨が數量において增加を示したるも金額において大減少となりしは銀價暴落のため奧地との取引圓滑ならず、荷問への結果安値ながらも投資の已むを得ざる狀態に至つたためで、葡萄が四百十四貫（二割）六百七十四圓を減少したのは開花期より結實期にかけて過度の旱魃を受けし直後霖雨に襲はれて黑痘病にかゝり多量の落果を見たのによる、なほ蔬菜中甜瓜は例年より雨量多かつたゝめ雨落ち腐敗を見る灘れありて、生産者の賣急ぎとなり從つて

非常の 安値にて昨年に比べ數量三十二萬八千六百七十八本（一割三分）を增加したが金額は却つて一萬四百六十三圓（三割四分）の減收を來し、昨年の一本平均一錢三厘強に對し本年は僅か八厘弱に當つた、第三部（支部）果實部の減少は昨年米國產のれもん、れーぷろの直輸入ありしも本年は入荷なかつた爲めで、朝鮮部の減少は本月中松茸の入荷がなかつたのによる、第一部（日本）蔬菜部において玉葱は本年愛知產の初入荷を見、五百六十七箱（一割三分）を增加せしも金額は五千七百五十八圓即ち約四割の減少を來した、これ內地豐作が幾分原因となつてゐるが該品の主なる得意先たる

奧地と 艦船が財界不況に禍され實需不振、供給過剩を來して相場振はなかつた爲めである、馬鈴薯、黑芋の如きは安値のため採算不引合に出荷を見合せ、第一部蔬菜において七千餘圓の減收を來した、而して本月の商況を概說すれば相場は暴落區々ながら果實部において內地輸入品は殆ど見るべきものなきも地物はこれに反し桃を初め林檎、梨、葡萄等の出廻りを見たが下旬頃より桃は峠を越えて終末に近づいたが水蜜の如き優良品の入荷を見、一貫高値一圓二十錢を示し、梨は二十世紀、長十郎、太白、明月の順に、林檎は魁、祝、紅魁、旭等西瓜に代りて新鮮な初秋の味覺をそゝる

果實に 押されて暴落し終末し且つ他の陸を潛めた、相場も最初上物一本二錢を呼んだが自然品質低下に五厘見當の商內を見た、玉菜は第一回栽培物の端境期に入り胡瓜は終末に近づいて出廻り減少のため上押し、甘藷は逐日漸增の傾向にて自然下落を辿り月初の一貫五十錢に對し月末は二十錢に低落した、臺灣、朝鮮物は入荷杜絕して閑散を極め、本月は一般を通じて軟弱氣配裡に越月した、各部別の賣上を示せば左の如し（單位圓）

		賣買高	前月比較
日本物	蔬菜	一〇、七〇六	減 三、六三三
	果實	四五七	同 三、七三三
臺灣物	蔬菜	六	同 一九三
	果實	—	—
支部物	蔬菜	一四八、九〇三	同
	果實	二〇、三三九	同 八〇八
朝鮮物	蔬菜	—	—
	果實	—	九九一
地場物	蔬菜	三五、八五四	增 九、四三九
	果實	二〇、三三四	增 八、二二五
合計		一〇一、七三八	增 八、三五五
點數		二〇、一八七	增 三、〇三〇

國際聯盟總會
經濟關係の議題解說
（A）

國際聯盟第十一回總會は去る十日よりジユネーヴに於て開催された、場所は從來の總會に使用されたサール・ド・ラ・レフォール マシオン（宗教改革記念館）は手狹い通風との關係で、今回の總會からはジユネーヴ大學の傍にあるバチマン・エレクトラルを使用することになり、聯盟事務局では既に約二萬五千圓を投じて、聯盟總會に適する樣に內部の模樣替を行つた昨年は英のマクドナルド、佛のブリアン、獨のストレーゼマン等の立役者の顏が並んだが、今回はストレーゼマン逝き、國際政治界は永遠に博士の溫顏に接する機會を失つたことは遺憾のきはみである、昨年は代表中現職の總理大臣の出席九名あつたが、今年は今迄の所で英、佛、獨等の歐洲大國よりの總理大臣は出席せず他の歐洲小國乃至英國自治領から一、二名の總理が出席する位である、然し外務大臣或は他の國務大臣は昨年の如く二十名位は出席する模樣で、佛のブリアン、英のヘンダーソン、獨のクルチウス、伊のグランヂー氏は勿論この中に含まれてゐる、日本よりは松平駐英、芳澤駐佛の兩大使、井上匡四郎子、支那からは駐米公使伍朝樞氏が出席總會の議事日程に上された議題は極めて多く、先づ總會議長及び副議長各委員長及び委員の選擧の後、過去一ケ年間の聯盟事業の報告に移り、各種の問題につき審議するのであるが、その中經濟財政問題は分科會たる第二委員會に於て審議される。以下今回の總會に於て審議さるべき經濟問題につきその簡單なる解說を試みることゝしよう。

市內各銀行で購買會計畫
近く實現の模樣

市內各銀行では行員及び家族の消費經濟を合理化せしむるため滿鐵消費組合及關東廳購買組合等の方法に模し購買會の設置方につき寄々協議中であるが既に正金、鮮銀、正隆、滿銀の四行共賛成したので近く何等かの形で實現をみる模樣である

滿洲の工業（六）
各種工業の概觀
窯業塗料染料肥料電氣瓦斯

◇…陶器及硝子製造業　滿洲における陶磁器は需要に比べて生產少く、主として上海や日本その他から輸入され、たゞ水甕の類のみは奉天、撫順、長春、本溪湖等において相當多額の生產が行はれてゐた、滿鐵では大正二年に中央試驗所に窯業試驗工場を附設し窯業の試驗研究を續けた結果、陶磁器工場が先づ企業試驗に成功したので大正九年に大連窯業公司が創設され、續いて大正十四年に耐火煉瓦、硝子工場事業を繼承して大連窯業株式會社が設立された硝子製造では從來硝子屑を原料とする壜類、ランプホヤ等を製造する程度のものであつたが曹達硝子や硬質硝子の品質改善に成功し、その製品は南洋、印度、濠洲等にも廣く輸出さるゝに至り、かくて昭和三年十一月には大連窯業會社硝子工場を繼承して南滿硝子會社が設立された、次に滿鐵は板硝子製造の研究にも成功し沙河口に二萬四千坪の敷地を定めて工場建設に着手したが、その後旭硝子會社と共同經營をするとなり、大正十四年四月昌光硝子會社を創設した、同工場は一ケ年卅三萬函の製造能力あり、販路は南北支那及南洋方面にも及んでゐる、其他滿洲製陶、玉置硝子（以上大連）安東硝子等の工場も生產に從事してゐる

◇…塗料及染料製造業　塗料は概ね鑛物質硬化塗料及豆油を原料とし、マグネシア粉末、スタツコマンチユリア、瞪石粉及トラスト、ペイントの類で主として大連及旅順にて製造されてゐる、膠は原料たる獸皮の產出豐富なるため相當の生產あり、その主產地は奉天、錦州、赤峰、ハルビン等である、邦人では大連の滿蒙殖產株式會社が主として膠を製造してゐる次に染料は支那人が衣服類用として多額の藍を需要し、古來北部滿洲地方の藍及び支那產藍、槐樹皮、楓樹染料等を用ゐてきたが一度ドイツ染料の滿洲侵入以來、その價格の低廉にして使用法便利なため一般に歡迎されて在來品は殆ど驅逐された、從來滿洲では化學染料の製造をなすものがなかつたが大正七年與田銀次郎氏が自己發明にかゝる黑色硫化染料の製造を企て、大連に工場を設け鋭意經營した結果、順調な發達を遂げ大正八年組織を改めて資本金二百萬圓の大和染料紡布株式會社とした

◇…肥料工業　豆粕以外の肥料工業としては鞍山製鐵所硫安工場、大連瓦斯會社硫酸アムモニア滿蒙殖產會社の骨粉肥料などがある、硫安の一ケ年生產高は前記三工場を合せて約七千噸瓦にして內地及南滿各地に送られ、骨粉は染藍その他の肥料として歡迎される、この外に乾燥肥料を製造するものに大連の志岐組がある

◇…電氣及瓦斯業　滿洲における電氣事業は露西亞時代東淸鐵道會社の附屬事業として經營されたのが最初であるが明治卅七年五月我軍が大連を占領するや、これを接收し軍用及び官衙燈火用にあてた同卅九年には營口に日支合辦の營口水道電氣會社が設立された、大連の電氣事業は戰後、滿鐵が繼承し、爾來旅順、奉天、撫順、長春、本溪湖、安東、鐵嶺、遼陽、開原、瓦房店、大石橋、公主嶺、金州、四平街、鞍山、范家屯、鐵子窩、普蘭店等の各地に相次で官私營又は日支合辦事業の經營を見るに至つた滿鐵は大正十五年六月電氣事業を分離して南滿電氣會社を設立し、その後鞍山、海城、瓦房店、大石橋、遼陽、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、范家屯等の各電燈會社を合併し又は株式の過半數を買收した、次に瓦斯事業は滿鐵が撫順炭利用の一方法として明治四十年に計畫し、同四十三年より大連で營業を開始したが相次で奉天、撫順、長春、安東、鞍山にも事業を開始した、大正十四年七月滿鐵はその經營にかゝる瓦斯事業（撫順を除く）を分離し南滿洲瓦斯會社を設立した……

輸出奬勵金と代金一部前拂ひ
南洋向林檎問題の當業者協議で要望に決す

滿洲林檎の南洋輸出につき十二日大連民政署にて當業者が協議會を開いたことは既報の通りで、南洋輸出は將來極めて有望であるが、現在においては運送費が元價の約半額に當り且つ代金回收が甚だ遲れるのが輸出を阻害してゐる有樣である、それで藤田商會としても運賃輕減につき汽船會社と極力折衝し、相當割引させることになつたが一方當業者としても荷造に相當の經費を要するので一箱當り五十錢の輸出奬勵金を果樹組合より受け更に組合より一箱につき五十金の前拂立替を受くれば右の障害が取除かれることゝなり、現に組合に右資金を保有されてゐるので來る十六日旅順の果樹組合本部にて右の要望につき打合せをなすことゝなつた、因に藤田商會の輸出豫定個數は約一萬箱にして右の條件が實現すればその蒐集は困難でないと

水產大會下打合

西部水產大會開催につき十三日午後一時より目下關東廳殖產課長も出席し大連民政署において關係各方面の準備打合せをなすと

綿糸座談會開催

十五日午後三時から既報の如く五品取引所商品部綿糸取引振興に關する座談會は都合により延期中のところ十五日午後三時より同所において丸永專務不破小一郎氏並に商品部主任藤井氏を中心として催す筈

税を徴せぬ中山港
今後六十年間

【廣東特電十二日發】國民政府では總理孫文の記念として その出生地なる廣東省中山縣の唐家灣を修築して中山港と命名するに決定したが、今回本港を六十年間無税港となし輸出入税を免除するは勿論同港所屬の釐金税は開港に先だち撤廢する旨中山縣長宛命令した

出廻り

旺盛なりしも買氣薄にて高値七十錢、仲値は三十五錢どころを往復した蔬菜部にあつて泉州玉葱は殆ど居据り狀態、根芋と獨活の氣配は良好であつたが少量と需要も一般的ならずして問題にならず、西瓜は肥後を初め大和、三河、和歌山等より續々の入荷を見、上旬出廻り期においては上物一貫四十錢見當なりしも下旬は終末期に入り入荷薄のため好氣配を示して、上押步調を辿り終に七十五錢臺に及んだ、地物にありて甜瓜は初旬、雨のため荷主の賣急ぎあり、出廻り盛にして每日十萬本を突破し賣上も千圓に及んだが中旬初めより漸落し下旬は釣瓶落しに激減して月末はその……

黃塵

◇…一般證券界の受難時代とは言へ近頃五品市場の不振はひどいもので丸で株式部は閑古鳥の鳴き出しそうな寂れ方だ。

◇…タダ商品部の綿糸取引が彈むので幾らか公設市場らしい體面を保つてゐるに過ぎない、然許五品は細い糸で命脈を繫いでゐる形である。

◇…綿糸取引といへばいよいよ來る十五日限りで安東の陸境關税三分の一減税が廢されることになるから今後は大連が有利となり從つて商品市場も惠まれることになるかも知れない。

◇…現在大連市場の取引は大阪三品の寫眞相場で賣買を商品信託が受繼して大阪市場に繫いでゐるが三品市場では大連筋は百發百中大連節に提灯をつけたら間違ひはないとまで評判が良いそうだ。

◇…流石は國際經濟戰の一線に立つスペキレーターとして銀相場其他海外材料に敏感なところから相場の見方が正確だと賞めても良いが惡くされば大連の人はバクオがすぐれてゐるとも言へる。

市況（十三日）

特產
大豆當限强調
埠頭在庫品薄で

大豆現物は埠頭在庫品薄で强調を呈し當限も亦添ひ軟調、しかし先物は大勢安に押され軟調、豆粕、豆油も亦軟調高粱は保合で大引

◇定期前場（銀建）

▲大豆期近高先安（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	七〇四〇	七〇四〇	六九九〇	七〇四〇
十月末	六九二〇	六九八〇	六九二〇	六九五〇
十一月末	六九八〇	六九八〇	六九四〇	六九八〇
十二月末	六九八〇	六九四〇	六九八〇	六九八〇
一月末	六九八〇	六九八〇	六九四〇	六九八〇

出來高　三百二十六車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	三三〇〇	三三〇〇	三二九〇	三二九〇
十二月限	三三〇〇	三三〇〇	三二九〇	三二九〇
一月限	三二九〇	三二九〇	三二八〇	三二八〇

出來高　二萬四千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇
十一月限	一九七〇	一九七〇	一九六五	一九六五
十二月限	一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇

出來高　四千箱

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	四二五〇	四二六〇	四二五〇	四二六〇
十月末	四二八〇	四二八〇	四二七〇	四二七〇
十一月末	四二八〇	四二八〇	四二八〇	四二八〇
十二月末	四二八〇	四二八〇	四二八〇	四二八〇
一月末	四二八〇	四二八〇	四二八〇	四二八〇

出來高　六十二車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込七一五〇）（裸物）	—	七一八〇
出來高	十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二三六五	二三三〇
出來高	六千枚	
豆油	一九六〇	一九六〇
出來高	五百箱	
高粱	四一七〇	四一七〇
出來高	三車	
包米	出來不申	

◇定期喰合高（十三日現在）（前日對比△印減）

大豆	二四〇四車	二三車
高粱	九二七車	△ 四車
豆粕	九三千枚	△ 一千枚
豆油	一一七〇百箱	—

錢鈔
倫銀高乍ら鈔票弱保合

商品
綿糸は聢り
麻袋は見送り

●麻袋　產地情報は青筋十六分の七幾筋四分の一高と小巾の往來に過ぎず當市は需要皆無で依然として氣乘薄く見送つた

●綿糸　米棉六十錢方の續落を示したが大阪三品は材料に逆行して堅ろ引締りを見せたので地場は總て人氣となり新規買と利食筋の混戰で場面活況を呈した

◇定期

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十二月限	一二七、七	八〇
同	一月限	一二六、七	二九〇〇
同	二月限	一二六、〇	一三〇〇
同	十一月限	一二九、八	一〇〇

出來高　五百十梱

◇定期取引（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近	五九三〇	五九六〇	五九三〇	五九六〇

出來高　三百八十三萬圓

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五九四五	一二三一〇	一八六五
十時	五九三〇	一二三一〇	一八六五
十一時	五九二〇	一二三一〇	一八六五
十二時	五九三〇	一二三一五	一八六五

出來高（銀對金）六十萬七千圓（銀對金）九千圓

株式
內地株一齊安
當市は保合

北濱前場寄は大株一圓安大新五十錢安鐘紡二圓安鐘新五十錢安東京短期の新東も一圓安と一齊安を傳へ當市現物の新東も八十錢安に寄つたが五品新豆錢鈔共同事で閑散裡に散會した出來高定期百枚現物百五十枚

特產
大豆は昨日前場以來銀市の强含みを眺め又大勢安に押れ續落を呈せる氣先にも拘らず騰勢を見せ……

▲今朝は差したる買氣があつた譯ではないが埠頭在高薄を眺め現豆は强調を呈し又當期は現物高に添ひ三錢方の反撥を示した▲しかし十月もの以降は依然大勢安氣配に押され續落を呈して打ち止めた▲十一日現在埠頭在高一等品は二百四十三車で今月の一日に比すと百三十八車の減少で特等品は一日より皆無である▲高粱は昨日在庫薄及び奧地高で堅り商狀を呈し今朝も引き續き奧地高及び出廻り皆無を眺めたにも拘らず伸び悩み保合で大引▲高粱は目先出廻り薄及び奧地の強氣配で底意堅かりしも觀られてゐるが大豆の大勢安を眺めむしろ弱氣配ではなからうか。

錢鈔
昨日……

今のところ一割……より海外材料にも拘らず騰……た▲日米爲替……を維持されて……の流出がかな……目前安氣配……般に鈔票の安……落すると觀測……れる▲一部邦……もあるから內地……まりに騙氣では……▲銀價は最早……途上にあるもの……す人々もボツ……ある樣だ。

奧地市況（十三日前場）

倫敦銀塊週報

滿洲日報

社説

詰込主義の弊
教育者反省の秋

「兒童の世紀」が力說され愛の教育が强調されてゐる朗らかなるべき現代の教育界に於て一學科が不出來だといふ理由から數名の幼き兒童の肉體に笞による體罰が課せられ、其のために一兒童が病床に臥するに至つたといふ事實は學校に愛兒を託してゐる多數父兄の胸に一抹の暗影を投げ與へた。抑も教育と體罰とは如何なる交渉を持つか、吾等は這般の事實を前にして些か之を吟味して見る必要がある。

◇

現代の教育思潮から見て體罰を用ふる教育が拙劣なる教育法であることは何人も肯定するところであらう。之を教育史上に探るならば文化の幼稚な時代程、體罰が多く行はれてゐた。極端なる嚴格教育の行はれたスパルタに於ては矯正、鍛錬の二目的の下に盛に體罰が行はれローマの教育もスパルタ以上の體罰を行つた。中世に入ると宗教上の原罪說から「鞭つは惡魔を追ひ出す道なり」といふ考へから僧庵學校においては單に道德上の缺點のみならず、學習上の過誤に對しても鞭を以て酬いられた。ソロモンは「鞭を節する者は其の子を憎むものなり」と言ひ、メナンデルは「鞭打たざれば人は教育せらるゝことなし」と言つた。ドイツのラテン學校の如きは生徒を鞭うつために學校に青い上衣を着たアルーマンと稱する特別の役人をすら置いた。十五世紀以後においては識見ある教育者の間に鞭を用ふることの不可なることが盛んに力說されラトケ・コメニウス・マルカスターなどは兒童教育から鞭を取り去れとまで極言するに至つた。しかし一部教育家の間にかゝる主張があるにかゝはらず頑迷なる教育者達は十七、八世紀に至るも鞭撻主義の舊態を改めず、十九世紀に於て初めてランカスターがバーロードに鞭のない學校を設け、鞭の教育も次第に影をひそめるに至つた。

◇

我國においても現在の學校の前身である寺小屋時代には相當、苛酷な體罰が行はれたらしいが、明治に入つて學制が布かれ體罰に關する規定が設けられ明治十二年發布の教育令第十六條には「凡そ學校にては生徒に體罰を加ふべからず」と規定し、其の後此の條文に多少の改竄が行はれたが明治三十三年八月改正の小學校令には「小學校長及教員は教育上必要と認めたるときは懲戒を加ふることを得但し體罰を加ふることを得ず」と規定し現今に及んでゐる。

◇

規定に於て嚴禁されるまでもなく體罰が教育の方法として許すべからざるものであることは識者の均しく認めるところであつて思慮ある親達は勿論思慮ある教師も亦教育に體罰を用ひない。一部硬教育主義者の間には「憎しとて叩くにあらず竹の雪」などゝいふ古句を提げ來り熱愛こめた體罰は必ず兒童を感銘せしむるものであるとの說を爲す者があるが、それは「鞭打たざれば人は教育せらるゝことなし」といふ古いローマ時代の教育を繰返すものにしか過ぎない。體罰が教育の方針として恥づべき手段であることは親が人の前で我が子の打擲を遠慮し、教師が視學や校長の參觀の際、或は研究授業の場合等に於て體罰が教育の一方法として用ひられることのないことによつても之を知ることが出來る。

◇

こゝにおいて吾人は現代教育の大いなる缺點を指摘することが出來る。缺陷とは何であるか、それは詰込主義の弊である。人の素質と天分とを見出しそれを十分發揚することが教育本來の目的であるにかゝはらず兒童の個性を沒却し徒らに器械的劃一を强ひ知能の傳達授受を以て職能とするため、そこに教育の無理が生じ、鞭をまで持ち出さなければならないことになる。伸びる技は伸ばせ、伸びぬ技は何故、伸びぬか先づ其の原因を探り然る後、其の對策を講ぜよ。教師には常に兒童を叱る前に教師自身を叱るだけの反省がなければならぬ。

◇

朗らかなるべき教育場に殺伐なる體罰の行はれる今一つの原因は其の學校の空氣である。校長が部下職員を奴隷の如く怒號し、徒らに規定を嚴達履行せしめる如きことあれば部下教員の氣質も次第に荒み職員相互間の愛も姿をひそめて、やがてそれは教室に於て愛のない教育となつて兒童の上に反映することになるのである。こまやかな愛によつて營まれる朗かな家庭には體罰などの行はれない如くよく融和のとれた圓滿な空氣の漲つてゐる學校には體罰の如き忌はしき非教育的な行爲の行はれる筈もない。

一種の微妙な關係に置かれた樞府と政府
深入りした感ある委員の態度
こゝ數日の成行重大

【東京特電十三日發】あはや正面衝突と思はれた政府對樞府の論戰は十二日の精査委員會で危機一髮といふところで「廻れ右ッ」一般の豫想を裏切つて何等の波瀾なく今まで行はれた質問應答を繰返したのみで次回は十五日と決定散會は少々呆氣ないとの感が無いでもない、同日の樞府の形勢に對して

政府側は 案外樂觀的觀測を下しモウ樞府もこれ以上橫車を押し審査不能などゝゴネるやうなことはあるまい、恐く行つても警告附乃至特別上奏の上條約案そのものは必ず可決されるものと觀てゐる、これに對し樞府側の觀るところは依然として既定方針に少しも變化はない、審査材料の不足は何といつても政府の不誠意によるこれが充分出揃はぬ以上審査不能に陷るも保し難しと氣味惡い脅し文句をいつてゐる、斯くの如く政府と樞府の觀測と見解は全然相反し、果して政府の觀るところが眞相か、それとも樞府の言分が當れるか、何れも相對峙してゐる當事者のいふところだけに第三者から觀れば事態は

頗る微妙 な關係に立てゐると觀る外はない、ところでこれまでの經過を觀るに政府側に重大な手落が二三あつただけに樞府の難詰に遭ひ答辯に窮したのは當然の成行であるが、これに乘じ樞府側の追擊ぶりは少々分を忘れて深入も過ぎたとは明瞭な事實であらう、殊に樞府側は絕對安全の城塞に立て籠つて受身の政府を散々惱ましたばかりでは滿足せず勢ひに乘じて土壇場まで追詰やうとした

ところに何といつても無理がある即ち統帥權干犯の點で政府を窘め海軍補充計畫並に減稅などについても政府に責任を持たせれば樞府としては十二分の成功であつた、これを未完成な補充計畫の內容や減稅案、或は政府が

公然提示 出來ないことの判つてゐる奉答文などについて餘り執拗にやり過ぎた事は却て第三者の反感を買つたとさへいへぬでもない、又樞府といはず政府といはず或は周圍を取卷く種々の大小策士連などが眉を顰めしめたる裏面の宣傳戰を行つたことも第三者の一般民衆には不愉快な一現象であつた、何れにしてもこゝ數日の成行こそ重大視すべきであらう

右にて質問應答は終り意見開陳に入つて

金子委員 國防上缺陷ありとすることは國民精神の上に非常な影響がある、依つて

成立は却つて東洋平和確立の所以でないかと思ふ

委員最後の質問と出席三大臣の答辯
掛聲だけで十二日の精査委員會
呆氣なく終はる

【東京十二日發電通】十二日の第十回委員會は午後一時より開會河合、山川、久保田、金子各委員より最後の質問あり、濱口首相以下三大臣それ〴〵分擔事項につき答辯を行つた、審査打切り說頻りに行はれたゝめ委員會は頗る緊張し先づ

河合委員 軍事參議院會議の奉答文は滿場一致を以て通過された由であるが、右奉答文は條約の含む作戰用兵上の缺陷を如何に見てゐるか

財部海相 當時自分は軍事參議官の職分に於て參議院會議に列席した、その際自分は「條約兵力量を以てしては國防上不充分であるが、條約は短期協定であるから補充の途なきに非ず」との意見を述べ、また列席海軍首腦部の意見もこれと同じであつた

河合委員 これは奉答文の內容と同樣と解釋してよいか

財部海相 解釋は御隨意である、右に述べたるは予の意見と承知されたい

河合委員 回訓案決定當時加藤前軍令部長は如何に考へても同意したと思へぬ、しかるに政府は異議なきものと認めてゐる、この認定は誤つてゐると思ふが政府は今なほ左樣に考へてゐるか

濱口首相 加藤前部長は國防上責任を負へぬとの意味でなく條約成立せば作戰計畫上重大な變更をせねばならぬから愼重考慮を要すといふにあり、回訓案反對といふのではなく、また公にされた加藤前部長の聲明も國防を危機に導かぬやう善處せねばならぬといふのである、加藤前部長の態度は終始一貫して居りこの點誤解なきやう願ひ度い

河合委員 補充計畫は餘程急大といはれてゐるが、政府は今日樞府の要求に對しその數字を示し得ず、まだ決定せぬといつてゐるがこれは計畫の尨大なるためではないか

濱口首相 補充計畫の決定が遲れることは獨り今回のみに限らぬ他の軍部の計畫と同樣今回に限らぬ、軍令部において決定した案は政府は直ちにその通り決定するものではない、軍令部と海軍省と協議折衝して更に大藏省と打合せ決定のうへ初めて正確な數字が出來る

次で山川顧問立ち

山川委員 若槻、スチムソン兩全權の自由討議に使用した紙を破り捨てた由であるが、これは甚だ日本を侮辱したものではないか

幣原外相 兩者の自由討議も纏まらなかつたためスチムソン、若槻兩全權ともそれ〴〵自己の主張を書いた紙片を破棄したもので國際問題は起らぬ

山川委員 將來日米間に危機を孕む恐れありと思ふが政府の所見如何

濱口首相 將來のことを今日豫測し得ぬが條約不成立の場合各國間の製艦競爭が起りその結果は軈て日米間の危機を孕むものであると云へるから本條約

伊東委員長の議事進行振りに
樞府側好轉と見る政府

【東京十二日發電通】十二日樞府精査委員會は豫想された進行と全く異つた經過を示したことにつきこれまで張り詰めた氣持の政府は寧ろ啞然として居り果してこの狀勢を以て好轉と解してよいかと半信半疑の念を持つてゐるが、政府は大體において十二日の委員會の經過を以て政府に好轉と解し、なほ委員長の伊東伯が當日示した議事進行振を以て委員會好轉の形勢有利を示してゐる、卽ち河合委員が財部海相を攜まへて奉答文問題の追窮を試み、財部海相の說明を「それは奉答文の內容であるか」との念を押したとき伊東委員長は手を擧げて「河合君もうこれ位でよいではないか、あれで判つたではないか」と河合委員の發言を封じてしまつたといふのである

政府の觀測

【東京十二日發電通】政府は十二日委員會の好轉につき左の如き觀測を行つてゐる

政府が緊張した氣持で待構へた事態に陷らなかつたことは條約成立の點から喜ぶべきことであ る、政府側の出席を要するは最早十五日の委員會でよからう、併し奉答文問題は本日の委員會で形を變へて質問されたゝめ大體終了したと見るべきも尙統帥權問題において樞府側の釋然たらざる如き氣配あり、補充計畫の說明についても腑らぬ色あり更に奉答文提示要求に關する倉富樞相の面目問題もあらうから委員會は報告書に何等かの附帶意見警告を附せんとするものではなからうか、惡意に解すれば政府の安堵を見すまし大鐡槌を下さぬとも限らぬから過般來行はれた策動については充分警戒を要す

委員會の態度決定
十五日以後

【東京十二日發電通】今日の樞府委員會における伊東委員長の宣言に對しては政府は好轉と解してゐるが、樞府側においては斯く解することを以て誤れりとし委員會は依然として態度强硬であることを傳へてゐる、これ等より見れば樞府委員會の態度は未だいづれにも

條約どほりに威海衞還附
英公使王正廷氏に言明

【南京十二日發電通】英公使ランプソン氏は本日王正廷氏と會見し威海衞は條約の規定通り來る十月一日を以て支那側に還附の事務を開始する旨言明した、卽ち山東省が再び中央軍管轄下に入つたので還附延期は自然消滅となつたものである

時局協議よりも宴會麻雀に熱心
平和な東北の首腦達
一片の通電をも出すまい

【奉天特電十二日發】張作相、萬福麟、張景惠、于學忠氏等の來奉以來長官公署においては殆ど連日會議が開かれてゐるが會議といつても形式張つたものではなく各巨頭の所管事務や東北四省の軍事、政務に關する事項を協議してゐるに過ぎないらしく、それよりも酒宴麻雀などの方が熱心に行はれてゐる模樣である、元來今回の巨頭連の會合は中原の時局が東北の安危に係はる一大事とあつて馳せ集まつた譯ではなく張學良氏が二ケ月振りに歸つたのでその御機嫌伺ひやら今月の十六日に行はるゝ張作相氏令息の婚禮のお祝ひやらで出て來たのである、奉天が支那時局解決の中心の如く騷張して飛耳張目してゐるが肝腎の東北派の最高政治層は極めて落着いたものである、勿論東北の對時局方針は最重要問題であるから要人連の重大な話題になつてゐるに違ひはないし、本年

五月一日 張學良氏が內戰停止、平和解決希望の通電を出した時とは情勢も大分變化してゐるし又南北双方から重要代表が押かけて來てゐる時であるから時局に對し如何なる態度を取るべきかといふことは巨頭連も少からず氣を遣つてゐるところである、しかし首腦連中には個々としては南方贔屓もあり北方同情者もあるが東北政權の政策としては所謂五月一日の學良氏の通電の趣旨を一枚看板にして押進むことに決定してゐるその通電は前述の如く南北双方に何等是非の批判を加へず戰爭を罷めて民を救へといふだけで裏に隱れば

中立傍觀 といふことになるのであるがそれ以來戰局は一進一退したが大體において南北の對峙關係は五月一日と今日と殆ど變化は無い、從つて五月一日の意思表示を訂正變更する事態には至つてゐないのであるから若し所謂正式の時局會議なるものが開かれるにしてもその結論が現狀維持に落着くべきは疑ふの餘地がなく結局一片の通電も出さず默察するのではないかと觀られてゐる

四川省獨立し反蔣の通電

【漢口十二日發電通】四川省各軍將領は成都に於て會議を開きたる結果いよ〳〵反蔣聯盟成立し劉文輝、鄧錫侯、田頌堯、楊森及び問題とされた劉湘もこれに參加し十日附四川省獨立聲明をなすと共に反蔣通電を發した、この結果右各軍の在漢口代表は昨夜十時頃何れも逃亡した

「檜」以下四隻佐世保歸港
十二日上海發

【佐世保十二日發電通】過般長江警備增援のため急派された佐世保鎭守府所屬檜以下四隻の驅逐艦は、漢口一帶の形勢もやゝ小康を得海軍大演習も追々接近せるため一時引き揚ぐる事となり本日上海

唐紹儀氏北上
疑問

【上海特電十三日發】唐紹儀氏の北方政府委員に擧されたことは唐氏及その親近者の何等知るところないことで唐氏の秘書黃個傳氏が時に策動し西山會議派と結んだ結果である從つて唐紹儀氏が北上する

歐洲聯盟案の支持者漸く增加
國際聯盟總會にて

【ジユネーヴ十二日發電通】本日午前の國際聯盟總會でブリアン佛外相の歐洲聯盟案に對する各國代表の演說が行はれたが同案の支持は次第に盛返され各國代表は國際聯盟の過去の業績の緩漫なるを批評し新らしき歐洲聯盟に言及しこれによつて國際聯盟が全世界に亘る廣汎な抱負よりも最も難關の多い歐洲問題に對し良く結晶するを得るであらうと述べた、卽ちオランダ外相ブロクランド氏は世界大戰は國際間により緊密な協同の必要を自覺せしめた、就中大戰後の傾向は關稅保護政策に轉換を見せてゐるが關稅障壁程戰後の歐洲新興諸國に對し破壞的のものはない、よつてオランダは歐洲聯盟案を喜ぶと述べ、尙デンマーク外相ミユンヒ氏も左の贊成演說をなした

歐洲における一般的な不安の狀態はブリアン氏提唱の歐洲諸國協調機關の組織を可とすべき有力な論證である、從來歐洲諸國が交渉し合つた形式は今や不完全なものとなつた各國間の關係の更によき基礎が見出さなければならぬ

次にキユバ主席代表フェララ氏は現下の世界的經濟危機および各國間の政治的誤解につき極めて痛烈な口調で演說し歐洲聯盟案に言及し左の如く述べた

歐洲聯盟案は必然的に各國民間の精神的實質的軍縮の素因を作り國際聯盟にも一つの新らしい刺戟を與へるものである、曩に歐洲大亂の苦き經驗を嘗めた人類は歐洲は危機の醸される度に測り知られざる經濟的不安を感ずる故に吾人は緊密な互惠主義に準據せる歐洲の經濟的協約には双手を擧げて贊成するものである

ザール地方撤兵實現

【ジユネーヴ十二日發電】國際聯盟理事會は十二日の會議において多年の懸案たるザール炭礦地方鐵道守備隊の撤退を決定しその結果現在同地方に駐屯せる三百名の聯合國の鐵道守備隊は今後三月以內に撤退することゝなり最近のライン撤兵と共にドイツは漸く多年の希望が達せられた譯である、尙同地方は一九三五年迄國務は聯盟の管理下に置き同年一月十日住民の一般投票によりその歸屬を決することゝなつた、因にザール地方はベルサイユ條約の規定によりフランスの占有に移され佛國は八千の軍隊を駐屯せしめてゐたがドイツの要求により遂に佛、白、英の軍隊八百名を以て鐵道守備隊として之に代らしめ後三百名に減員されてゐたものをライン撤兵と共にドイツは更にこれが撤退を要求し遂に成功したものでこれにより佛獨關係は好轉するものと見らる

議事の模樣から好轉と觀測する
政府側は依然樂觀

【東京十三日發電通】十二日に於ける樞府委員會の空氣を政府は好轉したと解し、一方樞府側の一部では樞府の態度に變化なしと依然强硬論を傳へてゐる事は既報の如くであるが政府側の見る處は樞府の態度が好轉せりや否やは政府でも疑問としてゐるが然し同日の議事進行の模樣から見るとどうしても好轉と見る外はない若し樞府が審議不能といふやうな態度を決定してゐるならば當日の久保田委員や金子委員より政府に對し條約實行上の注文や希望を述べる要はないがこの點より見るも好轉したと見る外はない

久保田委員 アメリカの行動は東洋に野心を持つてゐると認められるが、本條約では甚だ不安なりといはざるを得ない、依つて政府においては補充計畫樹立に對しては特に力を用ひて貰ひたい

次で久保田委員立ち

將來國防を輕く取扱はぬやう注意ありたい、これは質問ではないが將來に對する警告として述べる

之にて意見を終り伊東委員長より

伊東委員長 大體政府より聞くべきことは聞いた、政府としては說明出來ぬやうなこともあるやうであるが、その點は最早如何とも致し方がない、依つて大體精査委員會としての審議もこの程度で宜いと思ふ、併し十五日に今一回開會することゝしたい

と述べ午後三時五十分散會したが政府は右伊東委員長の說を以て樞府の形勢は好轉したものと解釋してゐる

翰長委員長訪問

【東京十三日發電通】二上樞府書記官長は十三日午前八時五十分伊東委員長を訪問し十二日の第十回委員會を以て條約案に對する政府側の答辯も大體聽取し終り十五日尙一回政府側は三大臣出席の下に最後の答辯を求めた後愈々委員會としての最後の態度を決定することとなつたのでこの點の善後措置に關し委員長と種々意見を交換打合せを爲す處あつた

翰長、議長協議

【東京十三日發電通】二上樞府書記官長は伊東委員長訪問に先立ち今朝八時倉富議長を自邸に訪ひロンドン條約案今後の審查方針につき種々打合せを爲し八時四十分辭去した

決定せぬと見るべきであり、十五日の委員會を經過せずばいづれとも確定的の態度決定を見ぬものと察せらる

奉軍出兵の事實無し
長官公署否定

【奉天特電十三日發】關內奉天軍の出動說に對し長官公署は全然其事實なしと明白に否認してゐる、單なる兵時裝備の充實を誤り傳へたものらしい

かどうか疑問だと見られてゐる

青島市長閻氏に祝電

【北京特電十二日發】青島市長胡若愚氏は閻錫山氏に長文の祝電を發した、奉天系要人で北方政府の主席就任を祝したのは氏一人である

張學良氏武器材料購入

【上海特電十三日發】張學良氏は當地においてドイツ商人から武器製造の材料二十萬噸を購入し目下

露支交渉方針を南京政府に請訓
露に誠意無しとして

【南京特電十二日發】張學良氏は本日南京政府へ次の如く報告し今後の露支交渉を如何にすべきやについて請訓した

莫全權入露以來カラハン氏と十數回に亘りて會見するところあつたことは既に報告濟の通りであるが要するに勞農露國の態度は無誠意極るものである、彼にして方針を改めざる限り莫全權をモスクワに滯在せしむることは今や不必要となつた、今後如何なる方針を以て交渉を進むべきや又は莫全權を引揚げしむべきやについて何分の指示を請ふ

仙石總裁日程
哈爾濱における

【ハルビン特電十二日發】仙石滿鐵總裁は廿四日十五時着哈、その夜露支關係者を招待し廿五日一泊廿六日九時十五分發列車で南下するが、廿五日には日本人有志と會見の豫定で民會主催の歡迎會を催す筈

海外貿易振興四省次官會合

【東京十二日發電通】十二日の閣議の結果今後海外貿易振興のため外務、拓務、農林、商工四省次官は政務官は一週一、二度集會打合せを行ふ事に決定した

遼寧救災費に蔣氏義捐

【奉天特電十三日發】蔣介石氏は吳鐵城氏を通じて遼寧省の水害救濟金に二十萬元を寄附する旨張學良氏に電告した

遼寧警務處長更迭

【奉天特電十三日發】遼寧全省警察處長孫旭昌氏は今回東北騎兵第一師長に榮轉するに內定しその後任として瀋陽公安局長白銘鎭氏、又公安局長には安東公安局長張滋威氏が昇任する模樣である

辭令

【東京十三日發電通】

昭和五年特別大演習觀艦式指揮官被仰付　海軍中將　山本英輔

同參謀長被仰付　海軍少將　鹽澤幸一

同副官被仰付　海軍中佐　後藤鎰造

關東廳辭令（十一日付）

任關東廳醫院書記旅順醫院事務長を命す　安藤榮次郎

依願免本官　關東廳旅順醫院書記　江頭重太郎

安樂椅子

▲張學良氏の南北に對する態度は依然嚴正中立を固守してゐるとはいへ銃器彈藥等の加勢の點から考へると北に七分・南に三分といふ比例を生じてゐる▲奉派の巨頭會議を前に國民政府代表方本仁、吳鐵城、張群の諸氏その使命を果すべく聯かあせり氣味となつて十一日張學良氏を訪問し膝詰談判にて至く讓官の態度不明にして未だにわたが使命を全うする能はず今回の奉派巨頭會議に先立ち東北省として態度及び執るべき內容如何にや

この質問に對し張學良氏はいやお質問は尤もの話、今回の巨頭會議の主要目は內治外交時局問題にあり時局問題に關しては既に奉天に集中してゐる奉派の巨頭連も本官と同樣意見である故に巨頭會議としても別に變化はなし東北省としての態度は最初聲明せる如く絕對中立を嚴守するものである

その返事▲聯か物足らぬ代表はスゴ〳〵引下つたとの事であるが何れにせよ近く開かれる巨頭會議で奉派としての態度を確定しなければならぬといふ板挾みの間にある學良氏は何時までも嚴正中立で押し通すかどうか

市況（十三日）

株式

後場引 氣配變らず 無味閑散

大阪株式 後場寄: 大株 五六九〇 / 大新 四二〇〇 / 鐘紡 一三一六〇 / 鐘新 五四一〇 / 日糖 二七七〇 / 郵船 二八七〇 / 東新 八九八〇

東京株式 後場寄: 東株 一〇一九〇 / 東新 八九六〇 / 五品（當中先）不申 / 豆信（當中先）不申

特產

市場電報

神戸特產 大豆現物 / 先物 / 豆粕現物 / 先物 / 滿洲小麥 / 豆油現現

後場 大阪三品引戾 地場は氣迷

大阪三品後場强調を示すは賣人氣乍ら休日控へ見送りの巡であつた 綿糸（出來不申） 綿布（出來不申）

商品

◇現物後場 銀對金 銀對洋

◇定期取引 寄付 高値 期近 出來高

前場より引き續き內地服を眺め人氣引き立すも響かず弱氣配を辿り

鈔票弱氣配 人氣引立す

錢鈔

豆粕 出來高 三千枚 二三〇 / 豆油 出來不申 / 高粱 出來不申 / 包米 出來不申

コドモ

倒れるかも知れない 名物のピザの傾塔

根元に雨の水が貯つたのです

先づこゝに載つて居る傾いた塔の寫眞をごらんなさい、皆さんの中には一目見て「ハヽアこれは世界七不思議の一つとして有名なイタリーにあるピザの斜塔だナ」とすぐおわかりになつた方もあるでせう、このピザの斜塔が大變なことに近頃降りつゞいた雨で塔の根もとのところに雨水がたくさんたまつて地盤に穴があき、うつかりすると此の塔が倒れるかも知れないといふのです、下の寫眞をごらんなさい、これは塔の根元に水の溜つてゐるところです、だが、六百年餘りも傾いたまゝで倒れないでゐるところを見ると、これ位のことでは中々倒れないかも知れません。

このピザの斜塔については昔から色々の説があつて皆さん方のお讀みになる兒童文庫などには建築中に斜いたのをそのまゝ工事を進めたのだといふやうに書いてありますが、このピザの附近には他にも幾つかの傾いた塔があるところから見て其の當時の人が好奇心からわざと斜めに設計したものらしいといふのがほんたうのやうです

此のピザの斜塔はごらんの通り外から見ると八階建てのやうですが、中は直通した圓筒で八階目にあたるところに數個の鐘が吊されてゐます、塔の高さは地上百八十尺、直徑は五十二尺で壁の厚さは十二尺ばかりもあります。

この塔がこんなに傾いてゐて中々倒れないのはどうしてでせう、重力の原理で學んだ方はすぐおわかりになるでせう。

深い海の底にもぐり 謎の世界の探險家

いろ〳〵な珍らしいお土産話 ビーブ博士の研究

おとぎばなしで見ると海の底には金や銀や水晶などで出來た目もまばゆいやうな龍宮城があつて、そこには美しい乙姫さまがいらつしやることになつてゐますが、ほんたうの海の底はどうして〳〵そんな美しいものではなくて、それは地上に住む私どもの想像も出來ないやうな恐ろしい靜寂と死の世界があるばかりなのです

表面から見るとあの青々とした海の水の底はどんなに美しいことだらうとも思はれますが、それはほんの表面に近いところだけのことで九十尋も入ると太陽の光線も全く通らない眞の暗黒世界です、海の表面には山なす大波が人も船も丸呑みにするやうな勢ひで荒れ狂ふてゐても深い海の底は風もなければ音もなくそよめき一つしない死の世界なのです

昔から海の底の探險を企てた人は決して少くありませんでした、しかし海水の壓力は一インチ平方に加はる壓力が一千尋毎に一噸づゝも増して行くので深海にもぐり込むことは中々出來ません、それで深い海の底は昔から謎の世界とされて居りましたが、近頃海底研究家のビーブ氏とそのお友達のオチスバートン氏とは厚い硝子の窓をつけた大きな鋼鐵のボールの中に入り、ベルムダの沖で千四百二十六呎の海底にもぐり込み今まで知られなかつた不思議な世界を探檢しました

この鋼鐵のボールの中には勿論酸素が用意されました、暗黒の世界を照らすためには強力な電燈も用意されました、寫眞機も用意されました、船の甲板の上でビーブ氏とオチス氏がボールの中にもぐり込むと外からは何百噸の壓力にも堪へる厚いトビラがしつかり閉ざされやがて長い〳〵綱で結びつけられたボールはクレーンによつて甲板上から海にする〳〵と降ろされました、甲板上の乘組員たちが片唾をのんで眺めてゐる中に二人を閉ぢこめた鋼鐵のボールは靜かに〳〵海の底へ沈んで行きました

ボールの中のビーブ博士とオチスバートン氏とは一々深さを計る器械とにらめつこをしながらだん〳〵深く入つてゆきます、そして二百呎も降るとそろ〳〵珍しい世界が見えて來ました、光も通さない眞暗な海底の世界には今まで見たこともない妙な動物が螢のやうに光りを出しながら人魂のやうにふわ〳〵と游いでゐるのも見えました、お化のやうな海のお魚もおよいでゐました、蛇とヤモリの合の子のやうなヒョロ〳〵した魚も泳ぎ廻つてゐました、やがて二人の入つたこの鋼鐵ボールが再び甲板に引き上げられた時に二人はニコ〳〵しながら珍しいお土産話をどつさり持つてボールの中から出て來たのでした（繪は鋼鐵ボールの中から顔を出したビーブ博士と海底で撮つた珍しい深海魚の寫眞です）

童話 星とこほろぎ

石森延男

蚊帳がつつてありますが、もうその用はないほどに涼しくなつてゐます。窓からはいつてくる夜風が、蚊帳の裾をふはふはとウゴかします。それがもうなんとなく、うすら寒いやうにさへおもはれます。

蚊帳をはづしてもいゝのですが、まだどこかに蚊がさんでゐて、それが、かへつてわづらはしいから、蚊帳をさらずにゐます。それに、夏がすぎて、すつかり秋になつてしまふから、それがみようにものたりない氣がするのです。

お母さんは、末の三ちやんを睡りつかせながら、こんなことをかんがへました。お母さんにとつては、秋はものさびしいものです。それは三ちやんのお父さんが、貨物船の船長でしたから。秋になると波があれてきます。土用波がたつて、それから、二百十日、それがすぎて、北風がひつきりなしに吹きます。船長だから、波や風などにおそれるやうな人ではないのですが、お留守居をしてゐるお母さんにとつては、おちおち睡れないやうな心ぼそさを感じました。

今夜も、かうして、三ちやんといつしよにお床に横になりながら秋のくろのをかなしみました。

三ちやんが、ふと眼をさまして「お母さん」といひかけました。

「なあに」

「どこからこほろぎがはいつてきたの」

お母さんは、はつとして耳をそばだてました。たしかにこほろぎが鳴いてゐます。しかもお風呂場の窓からきこえてきます。お母さんは、秋のくろのをかんがへてゐたので、このこほろぎの聲には、氣がつかずにゐました。

ころ　ころ　ころ　ころ……

「あ、ほんと。いゝ聲で鳴いてるわれえ」

「どこからはいつてきたの」

「さあ、どこからでせう」

「あ、わかつた、お窓からよ」

お窓の硝子は、よくすきとほつてみえます。光でも音でも、色でもすきとほります。こほろぎもその硝子窓から、そつとすきとほつて、はいつてきたとおもつたのです。

三ちやんはかういつたきり、またうとうとしてしまひました。

お母さんは、蚊帳から窓をすかして外をみると、黒い空に星が、かゞやきすぎるほどに光つてゐました。四つ五つの星が、美しくならんでゐました。

一つの星から、隣の星に、青白い小路がかよつてゐます。その路を通り歩いてゆくと、お隣の星へ近道がついてゐます。そこをつたつてゆくと、お隣の星へぞくぞく並木路ができてゐます。

星と星との間には、つぎつぎとつながつてゐます。

お母さんの眼にはそれが、蜘蛛の巣のやうに見えましたが、そのうちの細い一筋がにはかに呼吸をうつて太くふくれてきます。

それは、いつかお父さんにくはしいお話をきいた海上の航路にかはりました。眞黒い海面を、一艘の貨物船が、しづしづと走つてゐます。波の跡が、白く永く尾をひいていきます。

貨物船の上甲板に、お父さんがぽつつりたゝずんでゐて、眞白なつめ襟服をきて、眼に双眼鏡をあてゝゐます。

船の姿はたちまち小さくなつていつて、波の尾も、うすく消えかゝりました。スクリューの音だけが、かすかにきこえてゐます。それが、

「ころ　ころ　ころ　ころ……」

ときこえてきます。

お母さんも、いつかしら三ちやんを傍にだきかゝえたまゝ睡つてゐました。

夜風は、なりなり、蚊帳をうごかしましたが、お母さんの瞼は、さめません。

負けるものか「我慢ごつこ」

子供は木の上で頑張り合ひ 米國は耐久競争時代

「オイにらめつこをしやう、先に笑つた方が負けだよ」これも一つの耐久競争だ、だがそんなおやさしい耐久競争でなくて中々念の入つた耐久競争がアメリカでは大はやりだ「飛行機を何時間續けて飛ばせるかやつて見やう」といつてやりだしたのが抑々のはじまり「何時間水泳を續けられるかやつて見やう」一人がレコードをつくると「何に負けるものか、オレはもつと長い時間泳いで見せる」と負けぬ氣になつて別のがやり始める「何日間御飯を食べないで居られるかやつて見やう」「うんそれは面白い、やらう」「小便をこらへる競争をやらう」「よし、やらう」大人達があちらでもこちらでもこんなことを始めると何でも眞似たがる子供は中々默つては居ない「オイ僕等も耐久競争をやらうや」「うん、やらう、何をやらうか」「木登りをやらう、木の上にいつまでも登つてゐるんだ、長く登つてゐるものが勝だよ」「面白いッ、やらう〳〵」さあ大變だ、茶目坊共が公園あたりに行つて思ひ〳〵の木に攀ぢ登る

夕方になつても子供が歸つて來ないのでお母さん達があちらこちら探し廻すと、茶目公達が公園の木の上で濟まし込んでゐる「オヤ〳〵あんなところに登つて居る、こまつた子だれえ、もう夕方になつたから早くおうちへお歸り」「だつてお母さん今僕達木登りの耐久競争をしてゐるのだから歸れないよ」「えッ耐久競争をしてゐるのかい、それぢや、しつかりおやり今パンを持つて來て上げますからね」さあ、こうなると大變なことだ、子供達は木の上で我慢くらべをやつてゐる、下では親達が「負けるでないよ」と聲援をする、雨が降ると雨具を持つて來てやる、日が暮れるとバリカンを持つて來て散髪をしてやる、三度の食事の間にはオヤツを持つて來てやるといふ騒ぎ

その中に「木登りなんかつまらないや、それよりも竹竿の上にどれだけ登つてゐられるか耐久競争をやらう」「ブランコにいつまで乘つてゐられるか競争をしやう」「何時間續けて本が讀めるか競争をしやう」と次から次といろ〳〵の耐久競争がはじまりアメリカは今大人も子供も耐久競争時代である

スズシイ アキ ニ ナリマシタ

ゲンキニ アソビマセウ

アツイ アツイト イツテヰルウチニ イツノマニカ スズシクナツテ ヨル ナドハ ヒトヘ デハ サムイクラヰニ ナリマシタ

クサムラ ニハ キリギリス ヤ コホロギ ナド ガ アキノ キタノヲ ヨロコブヤウニ イイコエデ ウタツテ キマス。

コレカラハ ダンダン ヨル ガ ナガクナリマス、デンキ ノ シタデ エホン ヲ ミタリ ガクカウノ ゴホン ヲ ヨンダリ スルノニ ヨイジセツデス、シカシ マイトシ アキニ ナルト イロイロノ ワルイ ベウキ ガ ハヤリマスカラ タベモノ ニ キヲ ツケナケレバ ナリマセン。マタ ネビエ ヲ シタリ カゼ ヲ ヒイタリ シナイヤウニ キ ヲ ツケナケレバ ナリマセン。

童謠 ジャンク波止場

北村しげる

ジャンク波止場に
夕日がしづむ
並んだ帆柱
だん〳〵くれて
ゆふげの仕度の
炭火が赤い
海もどんより
岸からくれて
ジャンク波止場に
日がくれる

旅順

劍士百餘名が晴れの爭霸戰

二十一日新市街振武館で 第六回無段者の大會

旅順劍道聯盟會主催第六回優勝刀爭奪無段者劍道大會は二十一日正午から新市街振武館において開催の豫定で、參加團體は武徳會支部有志を初め、工大、一中、警察署、憲兵分隊、刑務所、軍司令部、關東廳、民政署等十餘團體百餘名の出演を見る筈である、各參加團體では前二回引續き工大一組を優勝されてゐるので今年こそはと何れも必勝を期し白熱戰を豫想されてゐる

重砲隊の射擊演習 水師營附近で

旅順重砲兵大隊では來る二十六日より十月五日まで十日間に亘り水師營公學堂附近にて本年度の陸地射擊演習を擧行することゝなり本部並に宿舍は同地公學堂を使用する筈である

秋！跳躍の秋！

廿日の州内中學校陸競大會 引續いて種々な催

十三日開催の旅順二中秋季運動會を皮切りに左記の日割で催物がある
二十日(州内中學校陸上競技大會)二十六日(工科大學秋季運動會)十月五日(旅順一中運動會)同十四日(旅順高女運動會)同十七日(旅順リレー)

十年町の出火

旅順市十年町一三皮具製造業李義濤方では從業員三ボヤで注意を與へられて居たが十二日午前四時十分頃から失火三軒二棟の支那家屋を燒失し同四十分鎭火した、人畜に死傷なく損害約七千圓餘

江頭醫師辭任

在勤十三ケ年間事務に精通し勤勉を以て内外より信頼されてゐた關東廳旅順醫院江頭重太郎氏は十二日附で辭職各方面から非常に惜まれてゐる、氏は奧地の旅行を終り十月中旬頃歸旅し郷里佐賀へ出發する

傳染病續發

▲千歳町二五 馬丁家族柳瀾覺(四つ)十一日赤痢と診斷さる ▲學堂二 官吏村上節(二三)同上 ▲朝日町 僧侶山崎哲家族貞丸(九つ)同昭丸(六つ)は十二日腸チブスと確診

生れた人

▲吉野町一五 [illegible]福田三郎長男英郎十二日出生 ▲鮫島町二三 官吏古賀清長男秀三十一日出生

林田收入役母堂

病氣中であつた旅順市役所收入役林田基政氏母堂安(七七)は十二日朝死去、葬儀は十三日午後三時西本願寺にて執行

黃金臺

◇關東廳警察官練習所では十五日午前八時三十分より振武館で第九期甲科生入所式を擧行する
◇關東廳千歳俱樂部對大連商業ラグビー蹴球試合は十四日午後二時から旅順球場にて開催の豫定
◇第九驅逐隊「クワ」乘組員は十二日午後二時より大陽溝海軍射擊場にて小銃射擊を行つた
◇旅順公學堂をはじめ管内各普通學堂では十一、二日頃より農繁期につき十日間づゝ臨時休業を開始した

警察官の瀆職(上)

在東京 山田生

◇巡査といふ職名が警吏、警官若しくは巡吏といふ孰れかの名稱に變るさうだが、折も折、東京を中心として、警察官の瀆職事件が世人の注目を惹いてゐる。淀橋警察署の前署長、警視、巡査部長と同地の十二社二業組合に絡まる瀆職事件は、前署長の瀆職、その他も行政處分といふ事になつて、司法處分は免れやうとの噂あるも、また能くハッキリしない。これを尖端として、他の警察署の瀆職事件も續々と表に出て來る。

◇日本の警察官は、イギリスの警察官のやうな親みが乏しく、親切氣が薄く、非社會的非民衆的だと言はれたものである。併し今日の我が警察官は昔のやうに權柄ぶらず、概して社會と民衆に相當の理解力を有つて居り「オイこら」など呼ぶものは殆ど無くなつた。事實も比較的優良と認められてゐた。然るにその警察官のうちから瀆職者を出し、甚だしきは詐欺を働いた警察官を生ずるに至つたと云ふことは、日本警察界のために悲しむべきことである。

◇政治界が腐敗し、實業界が腐敗し、教育界もまた腐敗し、贈賄と收賄、背任や横領、さうした疑獄事件の續發する今日、ひとり警察界の潔淨なのみ望むのは無理かも知れない。上層階級の者ほど惡事をなし、ブルジョアジーが惡いお手本を示せば、聖人君子にあらざる限り、それを見様見眞似に中層階級のプチブルや下層階級のプロ連中までが相率ひて惡い事をなすのは、蓋し或は當然の歸趨かも知れない。併し警察官は昔の檢非違使の如きものであり、其の職分は今日極めて複雜になつてゐるけれども、犯罪の豫防、搜査、檢擧と云ふことが重なる役目であつて見れば、警察界の腐敗は由々しき問題と謂はねばならぬ。

八相 赤化の魔手

一愛讀者

勞農政府は哈府協定以來、鋭意東支鐵道内部に自己勢力扶植に努力中なりしが、最近は一部赤大根を殘すのみにて殆んど白系を掃蕩したるところより、當然起る問題は舊首社員の退職手當並に恩給々與等である、東鐵在來の給與規定による時は莫大なる金額の支拂を要する、然し赤派としては感情上よりしても彼等に支給を欲せざるは勿論、昨今の財政難も手傳ひ種々の苦情や口實を設けて支拂はずためには東鐵を相手取り訴訟を提起するもの續出するに至つた、一方東鐵赤露現幹部は支那側司法部を取込み原告等を擊退するの方策を樹て、先づ白羽の矢を今日まで兎角の評ある現高等審判廳長に立て、東鐵は毎月審判廳維持費の名目にて五萬金留を支出する、審判廳は東鐵に對するあらゆる訴訟を上手に拒絶し赤派の政治犯には裁判上の手加減をなす默契が成立た見、事實上東省特別區審判廳は赤露の傀儡に過ぎざるに至つた、これが側杖を喰つたのは永年東鐵と關係ある請負業者連中であつて、業界不振の昨今、東鐵關係の債權は例へ訴へても回收が出來ず四苦八苦の態である、最近哈市に倒産者、失業者の續出を見るに至つたのは世界的銀安、並に不況の影響もあるとはいへ、確に赤露のプロ化政策の鋭鋒の閃きも大に手傳つて居るものである、更に支那側爲政者や東鐵幹部連は赤露の鼻藥に魔醉され社交を名目に唇の赤いダンサーに骨抜きにされ、廣大なる社宅の奧深く自己逸樂の夢を食つてゐる、今や北滿の原野は秋冷さと共に赤化に向ひつゝある、恐るべきは主義のためには手段を擇ばざる赤魔である

(係り) 手段を擇ばない事が彼等の主義に忠なる所以とすれば對手は自ら最善の戒心を竭す外はないでせう、邦人―特に緊張味を失ひ易い植民地在留のわれ等は當面の思想問題も單に爲政者思想家のみの問題としないで各自に充分善處の用意が必要です、對岸の火災ではありますまい

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以内のこと。

熊岳城

幸運の當籤者

本社大福引の結果發表

本社創刊二十五周年並に社屋新築落成記念の愛讀者謝恩大福引は當支局管内の愛讀者にして當籤の幸運者も割合に多く十二日朝刊を以て發表せられたもの、中に左記の番號が現れて居る、各自御手持の引換券番號と御照合のうへ當支局まで申出られたし

七四七九九番 三九八五八番 三九八八九番 三九八一〇番 三九八二〇番 三九八六〇番 三九八八八番 三九八四三番 三九八七一番 五六二八八番 三九八一二番 三九八三九番 三九八七五番

秋季清潔法 日割決定

本年は當附屬地にも相當多數の傳染病患者を出した事とて各自入念に秋季清潔法を行はれたく日割左の如し

施行區域	施行月日	檢查月日
許家屯	九月十五日	九月十六日
九寨	同十六日	同十七日
沙岡	同十七日	同十八日
芦家屯	同十八日	同十九日
萬家嶺	同十九日	同二十日
熊岳市中	同廿一日	同廿二日
城村落	同廿二日	同廿三日

鞍山

けふは神社の宵祭

假装行列には必ず一戸から一人

鞍山神社秋季大祭は愈々十四日は宵祭十五日は本祭を執行されるが一年一度の大祭でもあり不景氣打開のため賑やかにと十二日午後一時より實業協會堂に各町内代表者集り協議の結果、各戸から一人づつ是非假装行列に出る事に申合決定した

製鐵所の三交代勤務

鞍山製鐵所では從來二交代の銑鐵工場、化學工場、動力水道工場等を愈々來る十六日より三交代に改正することに決定發表したが一番方は午前六時より午後二時まで、二番方は午後二時より午後十時まで、三番方は午後十時より翌日午前七時まで各方共九時間勤務に改正された

上水道檢査

鞍山地方事務所衛生係では大連衛生研究所から松谷、三宅兩所員を招き十日より一週間上水道水を研究しつゝあるが箇所は左の通りである
柳町井戸、製鐵所タンク、自彊寮、消防隊、地方事務所、臺町俱樂部、滿鐵醫院、立山水源地

御大典事業報告會

鞍山御大典記念事業報告會は十一日午後一時より實業協會堂において開催、鞍山神社神殿造營建設及び社頭整理、驛前廣場遊歩地施設及びモーターサイレン塔建設、濟生會寄附等の三事業について經過報告及び左記決算報告等があつた
▲收入の部(寄附金)六、七八二圓(神社經費より)六五〇圓(滿鐵補助)三五〇圓(雜收入)二〇〇圓(計)七、九八二圓 ▲支出の部(神社關係)三、五一三圓九二錢(サイレン關係)四、〇〇五圓三三錢(雜支出)三六圓五〇錢(濟生會繰入)四二七圓(計)七、九八二圓七六錢

體育ボール講習

鞍山實業會輸入組合員の體育獎勵の意味で滿鐵社會係後援のもとに消費組合西空地に體育ボールコートを新設したが十二日より中學校山本教諭が特に町側の講習會を開き指導すると

商業視察團申込者

鞍山輸入組合主催の内地商業視察團は加入申込締切は九月中であるが十二日までの申込者は左の七氏である
田村孝平、桑田幸治、大瀬熊作、村田源一、小川清、山本則吉、望月忠治

青年團役員會

鞍山實業青年團では十二日午後七時より實業會堂において臨時役員會を開き鞍山神社秋季大祭の假装行列その他の件を協議する處あつた

瓦房店

なごやかに夕の集ひ

すッかりお化粧した益濟寮で 來賓の挨拶も碎けた記念祭

既報瓦房店益濟寮記念祝賀祭の十日午前八時より寮内全部を開放し參觀に供した、寮員各自が思ひ思ひの趣向で種々の裝飾に恰も龍宮城を現出したかの觀、參觀人が安閑廳下等に充滿した、夜に入つては各所廳長及び有志を招待し一夕の宴を張り吉村社會主事主催者を代表して挨拶、松井守備隊長は「獨身時代」といふくだけた懷舊的の談を以て謝意を述べ續いて宴に移つたが百餘名の寮員が一堂に會し會場和樂の巷と化し樂しい夕であつた

警察署の射擊會

大石橋警察署管内全署員の競點射擊は十二日午前八時より蟠龍山麓の射擊場において開始され午後二時終了した、其成績は左の通りである
◇步兵銃◇ ▲一等寺師兵事係▲二等西田巡査▲三等田崎巡査▲四等枝川巡査▲五等楊巡捕
◇拳銃◇ ▲一等上野巡査▲二等村井巡査▲三等佐藤部長▲四等塚村巡査▲五等大津署長

守備隊の成績良好 軍司令官講評

既報菱刈軍司令官は、十二日午前中第三大隊營舍において軍規風紀の檢閲と鐵道守備演習、戰鬪演習を檢閲して十二列車急行にて歸旅したが守備隊の成績は軍規風紀守備勤務戰鬪動作等總ての點において概して良好なりとの講評を與へた、尚奉天守備隊司令官も當地の初度巡視を終り軍司令官と同乘し熊岳城に向け出發した

安東

問題の金延棒

辯護士が來安して事實調査

既報安東海關で輸出を阻止され沒收された金の延棒は遂に總稅務司からの命令で十一日安東海關で競賣に附される運命に立至つたが、被沒收側の三名(特に名を秘す)は九日東京から小倉辯護士と共に來安、小倉氏は今日までの經過を調査しつゝあるが今後同氏が如何なる態度に出るかは頗る注目されてゐる

井上所長招宴

井上地方事務所長は九日午後七時から在安新聞記者有志數名を招待し「東雲」において晩餐會を開催し川畑安東新報社長謝辭を述べ宴に移つたが同家の美妓總出動で盛會を極め九時半頃散會した

水管自動車增設

滿鐵安東消防隊の消火器具は從來ポンプ自動車一臺、器具自動車一臺、水管自動車一臺であつたが近く滿鐵本社からオ式水管自動車一臺が配給される事となつた、安東消防隊も威力が增大された譯である

大津渡邊兩氏挨拶

採木公司參事大津鹺氏並に渡邊武夫氏は十日相携へて公司關係方面を歷訪退職の挨拶を述ぶる處あつた兩氏共安東に永住すると

滿俱選手慰勞宴

安東滿俱では選手の慰勞會を十日午後七時から安東俱樂部で開催した井上會長、井上監督、運動記者、幹事、選手一同出席し非常なる盛會裡に十時過ぎ散會した

三道林子に匪賊團

去る六日午後十時頃大孤山東北約三十支里、岫巖縣第三區管内三道林子村の頭目佔中洋の率ゆる二十數名の馬賊が同地の豪農沈國亮方を襲ひ小洋三千元を強奪し、附近の部落において穀物其他を要求し悠々と引揚げた旨急報に依り討伐隊は出動したが既に逃走後で引續き嚴重搜査中である

五龍背温泉の改修 完成は一週間後

滿洲旅館會社の直營に移つた五龍背温泉は各館共大改修に着手して居るが安東地方事務所地方係においても約一週間前から安東公園事務所の鈴木園丁を同地に派して樹木、庭園、運池、運動器具等の大手入を行ひはじめてゐる

本溪湖を語る(下)

本溪湖 守屋生

◆…以上の内、日本人の手に支配權を有し或は仲買業を行ひ得し品物の總額は約三十萬圓内外であり全然仲買的性質を帶びた額は十萬圓内外はあるが、これは極めて利潤に薄き木炭鑛等が主なるものである、斯る勞働者は總て中國人で現今の趨勢としては利潤の大部は此の勞働者に占有むらる、狀態であるから資本家而も日本人の側に入る金は恐らく十萬圓には達すまい、これが直接機關に市民生活資の一大機關である、購買組合の發達せる現今では公司、滿鐵兩社員の市中に落す金額は極少である、店舖の收入は減少し貨品は死藏され、旅行には脅威され價値は減少して金利のみ增加する、商店の立ち行かざるも當然である。

◆…工業用所要品は勿論家庭の日用品に到るまで手紙一本にて輕便に安價に日ならずして手に入る、交通の便が距離を縮小せし世の中は中間商人の勢力を益々縮小する嘆聲を發するは獨り吾本溪湖の商業者のみではあるまい、商業都市として初めより其の條件を具備して居ないためである、交通時代の當今、特殊の場合の他商業における商品、工業における原料が產地にあるに越した事はない、往時においては賣消者の多い地域も此の條件の一なりしも大量販賣政策は此の見解を益々薄くする、現在の本溪湖商業者は以上の意味において悉く惠まれて居ない、然し悲觀は餘りにも早計である、寧ろ遮るの路もある。

◆…先づ第一に日本人の商業的分を動ぎ捨て、其の身を輕くする、第二には資本を增大する許りでなく、そして輸込易き日本向き商品を一切捨て、中國人向きの品物を輸入することである、同胞の友誼ひでは國運の進展も計られまい、幸ひにして本溪湖には數萬の中國人居住者を有すると共に其の物資供給勢力圈内には數十萬の中國人がある、其の生活必需品の中には多數の祖國製品はあり又其の急進する嗜好性は益々手製品に長ぜし吾國產品の需要を喚起するは必定である、此等嗜好の傾勢を把握し鍊ずるは市民の智力であり、祖國の觀念と呼應して販路の擴張に勉めなば内地商況に通せる點において中國人商人よりも一歩の長あるべきは必然である

◆…第三に考ふべきは商品の原產地となる事である、即ち土地の原料を製品化する事である、本溪湖には公司製產品たる鐵、骸炭、並に石炭の他、石灰、木材、木炭、石材等があり、何れも工業的色彩を帶ぶるものなるが故に、工業者と結合する必要はあるが、其の考案の如何によりては未だ製品化し得る餘地はある、要は人世における努力と概力とである、これを培ふものは智力であり、棚からぼた餅は寢て居ては落ちて來ぬ世の中である(終)

旅順動物園に四川省產の錦鷄と朝鮮產の鷭とが初お目見得した【寫眞中央より左方の大きな鶴のやうな鳥、鷭に似て實は鷺科に屬するもの】

祝創刊二十五周年並に社屋新築記念

鞍山

鞍山 笑話會員一同

鞍山 滿鐵醫院從事員一同

鞍山輸入組合 電話六一番

鞍山不動産信託株式會社 電話二〇一・一四一番

南滿洲電氣株式會社鞍山支店 電話一五・五三番

滿洲興業株式會社 電話五五・四二二番

南滿洲土木建築協會鞍山支部 電話四番

立山 滿洲鑄鐵株式會社 專務 神保香藏

南滿洲瓦斯株式會社鞍山支店 電話四五八番

鞍山菓子商組合

滿洲銀行鞍山支店
正隆銀行鞍山支店

地方委員副議長 石川義助

地方委員 山崎英武

地方委員 野毛四郎

地方委員 三浦源七

區長 門井甕

區長 相谷彦三郎

區長 東鄕清一

區長 片岡對吉

金融組合理事 藤竿義雄

實業協會副會長 神田藤兵衛

實業協會長 加藤政人

土建支部長 笠原弘

菊地龜助

やまき呉服店 電話二三一・三六番

銑鐵共同販賣所 電三七〇番

石炭共同販賣所 電四七番

關東廳陸軍滿鐵助成旅館 近江屋ホテル 電三二・二三八七番

和洋雜貨 大惠商店 電話一二六番

日用雜貨 滿洲購買組合 電五四番

和洋菓子 小原洋行支店 電三〇九番

和洋菓子 八雲堂 電二六四番

和洋菓子 菊水堂 電一一九番

書籍文房具 大盛堂書店 電二四〇番

永井自轉車商會 電四三八番

自動車 鞍山タクシー 電一二八・二七五番

自動車 池田タクシー 電一五〇・四三五番

彫刻印刷 金城商會 電二九番

劇場 演藝館 電二七〇番

日用雜貨食料品 盛海洋行 電二二・四三六五番

木材煉瓦 叶井商會 電六五・一二番

食料雜貨 〇國洋行 電一四四・二二三番

牛乳販賣 吉川牧場 電三五二・二三〇番

履物 瀧口洋行 電三四五・四三七番

高等理髮 大正軒

文具、雜貨、玩具 大達摩藤井商店 電二一五番

呉服 志きし滿屋 電一三九番

米穀薪炭 田中洋行 電三一番

銘茶 世帶道具 近江洋行茶舖 電二七八番

建築材料 岡部商店 電一三二番

柳町 料理 橘家 電一二五・三五五番

仕出飲食 住吉商店 電七六番

食料雜貨 大福商店 電二五八番

金物 世帶道具 福井洋行 電二三一番

製靴 北本製靴店 電三〇六番

高等洋服 小川洋服店 電二四三番

高等洋服 金城洋服店 電三三五番

時計 貴金屬 北川金光堂 電三五九番

ペンキ塗 硝子販賣 諫山工舍 電三六一番

文具玩具 三好號 電一一七番

機械器具 田村表具店 電二一九番

蓄音機 和洋樂器 濱田樂器店 電一三六番

質 みね川質店 電四二番

東京饅頭 カルシユムパン 肝油パン 東月堂 電三一八番

旅館 扇屋旅館 電一四〇番

長唄研究 美也古會 杵屋六眞龜

飲食店 鹿兒島屋 電三四九番

和洋食堂 ますや

カフエー 月夜 電一五二番

料理 銀蝶 電二一二番

料理 明月 電四四七番

料理 開福 電三〇番

毛布 雜貨 太平號 電四四五番

柳町 料理 一樂 電一二七・一七五・三六〇番

大連

藥 合名會社 菱川大昌堂藥局
代表社員 日本赤十字社出身 勳八等 菱川みね
藥局主任 藥學士 安倍靜雄

銘茶並ニ茶器一式 薰香 柿造
ス 袋布向春園支店
大連市浪速町三丁目一五八
電話四四四五番、七七六六番 振替大連七四番

赤星寫眞館
大連市敷島町五二 電話七六八〇番

和洋家具製造、各種漆器、籐製品、內外敷物、窓掛室內裝飾品、其他附屬材料品
W 渡邊洋行
大連市信濃町一四(市場前) 電話八八三七番

大分名產、滿洲物產紹介
株式會社 東亞物產館
大連市[illegible]城町八 電話七〇三七番

パン、菓子製造
イ マルイパン店
大連市常盤橋(瓦斯會社前) 電話八二五一

ラヂウム温泉
大連市松山町 電話六八七九番

美容と結髮
ミトセ美容院
大連市西通九三常盤橋に向ふ角松村ビル階上 電話三五九九番

文房具、運動具
天野滿書堂
大連市浪速町大山通角 電話四四九九番

機械煖房設計請負
勝本機械事務所
大連連鎖商店街銀座通 電話二六八九・二一九〇番

魚商 西園商店
大連市信濃町市場三三 電話代表五一五五番
住宅同西通八四 電話三六四〇番

支那人勞働者の給料や手當を銀建金拂に

滿鐵勞務課が生活調査の結果　愈よ勞務會議に提案

滿鐵では工場、埠頭、鞍山、撫順等において多數の支那人勞働者を使用してゐるので、時節がら彼等の思想傾向や生活問題には深甚の注意を拂ひ研究してゐるが、最も

頭痛の種となつてゐる

のは金銀相場の變動による給料支拂方法で、この缺點を除去するためにさきに支那人傭員の給料はすべて銀建金拂ひとし、相場の變動により換算率を變更して手加減することゝなつてゐる、しかし宿舍料その他の手當は從來通り金建とし矛盾した方法を採つてゐたが今度勞務課で生活調査をした結果、彼等の生活費は必ずしも貨幣相場に左右されないことが立證されたので、給與方法を

合理化

し給料も手當もすべて銀建とし貨幣相場及び物價指數に準じて換算率を定め金拂ひとすることに大體決定、恒例による十六、七兩日の勞務會議に提出することゝなつた

8—5

踏張り利かず　奉滿惜敗

十二日の對實業戰

大連新聞社主催、第二回全滿選拔野球大會第一回の奉天滿倶對大連實業戰は十二日午後四時より實業球場に於て仙石滿鐵總裁始球式後芥田（球審）中澤、綠川（壘審）三氏審判、實業先攻で開始、前半シーソーゲームを續けたが九回奉滿内野丸失で實業一擧五點を、奉滿また同裏二點を上げ結局八對五で奉滿惜敗す、時間六時十五分

【經過】

〈第一回　實業宮武四球で二盜し中川の三前一壘高投に生還中川は一擧三壘に走つて死ぬ、津田二匍、渡邊の右飛野手日光に妨げられて三壘打さし岩瀨四球（代走津田）木下三振▲奉天香川遊匍一失に生き水原のバント飛球岩瀨故意に落して香川を二壘封殺す、沖二越單打して近藤一擧三進、小島の三匍水原を封殺、小島の三匍高投で近藤生還青木三匍

〈第二回　實業二死後中島一越テ……

兒に代る）投匍して渡邊二進し更に三盜したが武井三振▲奉天（實業安藤兒、武井退き安藤弟一壘、源川一壘、渡邊捕手となる）田村四球で原田のバントに二進したが松本二直香川投飛

〈第九回　實業中島三壘上を拔き宮武の一匍バントを投手走者宮武の背に當て、中島三進宮武二進、中川三壘強襲直球單打し無死滿壘、津田の二匍野手本壘に高投し中島宮武生還中川津田二三進、渡邊二遊間單打し中川津田生還、渡邊二盜、岩瀨三匍で渡邊三進、木下三遊間單打し渡邊も生還、木下投手牽制球に死し源川遊匍▲奉天水原二壘左單打、近藤投手強襲單打につゞき沖の二匍で水原、近藤三二進、小島右越三壘打し水原近藤生還後の攻撃を思はせたが青木中飛田村三振

〔戰評〕▲奉滿實業を徹底的に壓迫しながら遂に呑舟の魚を逸した、八回までの兩者の成績より考へるとき何人も奉滿があのドタン場になつて決勝的潰滅に逢はんとは恐らく思はなかつたであらう▲この日實の岩瀨頗に球速なく奉滿各打者乘じて好く打つ、これに對する奉滿小島投手變化極まる球を以て攻め立てる▲一回表渡邊右飛日光にさえぎられたために三壘打となり、四球に出でた岩瀨（……

▲三壘打―渡邊1小島1▲二壘打―田村1▲併殺―實業1（岩瀨武井渡邊）▲試合時間―二時間十五分

イギリスから女流空の珍客

わが航空局に許可願

【東京十二日發電通】今年の春から夏にかけて空の珍客に賑はつた日本は今回更に花恥しい英國女流飛行家ビクターブルース孃を迎へることゝなつた、孃は本月中旬英國を發し英支日間の單獨飛行を試みたいと十二日英大使館經由航空局に許可を願ひ出て來た、それによると使用機はジプシー百二十馬カブラッグバーン、ブリユーバード機で本月二十七日廣島、二十八日大阪、二十九日東京着の豫定である、若し孃が飛來すれば本邦を訪れる最初の女流飛行家となるわけである

こども肥ゆ　—北公園所見—

贓品は入質遊興に

恐るべき猪太郎の罪業

流石の惡黨振りに係官舌を卷く　漸く取り調べ一段落、きのふ送局

八月卅一日午前八時ごろ市内櫻花臺五二番地昌光硝子社員杉森政治方に押入り女中を脅迫、現金三十圓を強奪した前科一犯幣猪太郎（二〇）は引續き大連署司法係大崎警部補の手で取調中であるが、續々として窃盜、詐欺、横領の

餘罪が

發覺、二十歳位の男の仕事とも思はれぬ惡黨振りに流石の係員も舌を卷いてゐる、卽ち

本年三月十日惠比須町五六番地印刷業磯綿方に雇はれ中集金二十七圓を横領したのを手初めに八月八日主家の金七十圓を窃盜同十五日眞弓町三番地辻竹次郎方に侵入、衣類二十五圓を窃取同十六日星ケ浦ヤマトホテルベランダーに忍び込み佛人サンマーの衣類七十圓を窃取、同十八日伊勢町四番地脇川省民方に侵入、衣類十二圓を窃取、同廿日加賀町影正夫方で衣類十七圓を窃取、同二十五日神戸町三四番滿鐵社員大藤義夫方に侵入し衣類二百四十圓を窃取、その足で柳町八四番地國際運輸社員片山茂丸方で百六十圓の衣類を盜み、同廿八日聖德街間原德太郎方で三十圓を窃取、同夜水仙町二二番地杉牧夫方で二十圓

更らに廿九日同町四番地長谷川吉次郎方で百三十八圓の衣類を窃取

何れも入質して金に替へ遊興に

費消し

たもので取調べ一段落つき十三日午後一件書類と共に身柄を送局した

變な被害者

ボーイを賊の手引に仕立　恐れながらと屆け出る

何の爲？　厄介な話

被害者が故意に僞犯人を作つて却て警察の搜査を複雜ならしめたといふ厄介な話―市内元町五十番地吉行吉徳（？）方と同職家の佐野幸七（？）方へ去月廿七日

泥棒が

侵入して兩家より現金二十四圓ほか萬年筆、時計等約五十圓を窃取した事件あり、沙河口署にて取調べ中、被害者の吉行が自家にて使用して居るボーイ王慶祥（？）が賊の手引きをなしたと自白したといつて屆出たので同署では直に王慶祥を引致して取調べたところ「賊を手引しましたのは誠に相違ない」と王も自白したが別に物的證據となるべきものもないので同署では一先づ釋放したところがその後吉行は沙河口署に出頭して久下沼署長に對し「王は……

沙河口署の刑事巡捕に二十五圓を贈賄して釋放された」と

奇怪な

申立をなしたので久下沼署長は直に贈賄の巡捕と共に刑事巡捕について嚴重なる取調べを行つたが、かゝる事實は全く無いので、同署刑事係は事實を判然すべく全力をあげ犯人逮捕に力めてゐたところ、十二日午前九時眞犯人として老虎灘生れ住所不定……の三名が大連署に逮捕されたことによつて、吉行方のボーイが手引きせることは

眞赤な

僞りと判明、沙河口署司法係では更にボーイ王を引致して取調べたところ、ボーイは吉行から教唆されて犯人を手引したと更に刑事巡捕に贈賄をなした等と供述したものであると陳述したので、同署では直に吉行を引致し更にナニのためにかゝる虚構の申立をなさしめたかについて嚴重取調中

滿洲の職業婦人　なぜ晩婚か

八割迄は家庭を支ふ　彼女らにかゝる重荷

滿鐵に勤務するタイピストや事務員、看護婦、その他在滿職業婦人が一般に晩婚であることはよく問題にされるが、これも捨て置き難い社會問題だとあつて滿鐵で調査したところによると、大部分の原因はやはり經濟上の理由によることが明かとなつた、卽ち彼女等の多くは親を養ふものや兄弟の教育を引受けてゐるものや女の細腕で一家をさゝへてゐるものが八割を占めてゐるといふことである、彼女等のそうした重荷が自然結婚の時機を失はせるものである

五十五浬を水上滑走

西下田沖に不時着の海軍機

【橫須賀十二日發電通】霞ケ浦航空隊では卒業飛行のため三十日往復飛行を行つたが、同隊教官……中尉同乘、越水航空兵曹……一五式水上偵察機は十一日……海岸に沿ひ歸還飛行の途中一時發動機に故障を生じ西下田沖に不時着水した、その際フロートを破損し西風強く波高きため陸上に入港する能はず海上を滑走し、午後五時牛巢山沖に到着し青年團の手で海岸に引上げ、航空隊の應援を得て機體の修理をなし十二日霞ケ浦に歸還した、五十五浬の海洋を水上滑走で走つた事は始めてゞある

德島沖で特務艦坐礁

程なく引下さる

【德島十二日發電通】十二日午後三時頃德島縣那賀郡椿村蒲生田岬沖航行中の來る十五、六日同縣南岸にて行はれる陸海軍聯合演習に參加の吳鎭守府所屬特務艦黑潮は北風を受け波高く遂に坐礁したのを漁船が發見、縣保安課に急報課員全部現場に出張村民、青年團、在鄕軍人出動して救助船を出し乘組員の救助に努めたが激浪で作業困……

新潟縣下に大豪雨

北陸線は不通

【高田十二日發電通】新潟縣西頸城郡地方に十二日拂曉急に豪雨襲來し午前八時半北陸線筒石、能生間トンネル附近山腹二百坪は豪雨のため崩潰線路を埋沒し、筒石で九時再び崩潰あり、このため上野發米原行列車は午前九時九分直江津を發車したが、筒石から引返し北陸線は不通となつた

公定相場を崩し露貨賣買を禁ず

ハバロフスク財政全權から浦鹽鮮銀支店に通告

【東京十三日發電通】浦鹽鮮銀有門支配人宛ハバロフスク財政全權より十二日附公文を以て左の如き通告があつた

外國貨幣並に貴金屬及び有價證券の賣買及び送金は千九百廿四年四月四日附及び千九百廿八年三月廿一日附ソウエート政府の閣議の法律ならびに千九百廿八年五月廿一日附財政人民委員會の訓令によりてのみ許可せらるべきものとす、公定相場によらざる自由相場を以て外國貨幣に對しソウエート政府貨幣の現金を賣買することは投機と見做し法律を以て訴追せらるゝものとす、依つて國外送金業務及び公定相場に該當せざる自由相場にて露貨を賣買する業務を絶對に行はざる樣申し送る

右報命に接した浦鹽領事館の緒方事務代理はこれが對策につき外務省に訓請し來たので本省では目下對策講究中である

タコマ市號又復延期

十三日出發を

【三本木十二日發電通】タコマ市號の出發はブ、ケ兩氏の希望する追風の氣勢見えぬため十三日の出發は又復延期することゝなつた、當地方は午後三時頃より雨となり兹兩三日は持續するものと見られてゐる、ブ中尉は朝來ガソリンの積込みをなし五百五十ガロンを注入し終つたが殘る二百五十ガロンは出發確定までそのまゝにして置くことゝなつた

オリムピック選手

【長春特電十二日發】歸朝の途に……

淺間山又復大爆發

柔劍道階級試合

大日本武德會滿洲支部では來る十月十三日午前十時より旅順振武館に於て本年度劍、柔道階級試驗を行ふが、受驗者は本月二十五日までに履歷書に受驗請求書を添へ支部宛申込むべしと有級段者の試驗につき行ふ筈である

大連神社月次祭

來る十五日の大連神社月次祭には氏子代參當番町信濃町市場區の氏子役員等參列のうへ午前十時より月次祭典執行一般參拜者のため早朝より祓神樂を奉仕し御神酒供物を頒與すると

ナンと奇妙な商賣！湯たんぽ屋さん

料理屋の繁昌に比例して大儲

おらが大連の成長を語る（13）

「ストーヴなんてあんな暖いものは最近出來たんですよ」と如何にもうらめしさうに明治三十七年戰爭時分から滿洲に來て今日に至るまで建築請負で終始一貫してゐる某君の話―この人には今の大連に於ける屋根の文化住宅が出來たり、……

悲慘だ、嚴寒に叺寢

「なるほど二十五年たつたんですかな、さういへばわつしの嬶も大連に生れたんですが昨年嫁にやりましたわい、なるほど」と……

美しいモダンマダムが濱町邊の夜を漫歩する姿がドウ考へても理窟に合はないのだ。

◇―◇

へて今更の樣に感心してゐる。來た時はれ、軍人は未だようござんしたよ、不便だといつても寢る時には毛布は貰えたし、それで來た軍人以外の者は悲慘なものでしたね、嚴寒に夜具も何もないんですよ叺寢なんかありませんよ、それで炊事場に行つてその中にはかますを盗んで來てその中に潜り込んで寢るんですよそのか……

◇―◇

戰爭は勝つた、續々若い元氣盛りの男が入り込んで來る、で無論水に臨れる湊の樣に入り込んで來た親子軍、奥町や東鳳町邊に小料理屋が雨後の筍の樣に續々現はした、その後西通りに市中散在の料理屋を集めたといふ話は前に書いたが……

ますの取りッこで血を流したほどの喧嘩をしましたよ、まるっきり乞食ですね、だから皆病氣でころ〳〵斃れましたよ、我々は戰場に行かない代りに病氣で隨分やられたものですよ

彼は軍夫時代に次から次へ病死して逝つた仲間のことを想ひ出して少し面を曇らせたが「あんた、こんなこと知つてゐますか」と話してくれたのは珍無類ゆたんぽ賣の話。

實際當時西通り一帶は大連唯一の柳暗花明の巷であつた、その頃はストーヴもなければ何の煖房裝置もない、いくら肉布團の暖さはいひながらアンペラの隙を洩れて來る朔を刺す滿洲風には叶はないと考へ出したのはこれ等料理屋の界隈の湯たんぽ屋さんが繁昌すると共にこの「何と奇妙な商賣でせうが」と彼一類」と早速湯たんぽやが繁昌すると共にこ客が來て注文があれば「湯たんぽ」と相手に貸込むさいつても實は賃貸屋だが―「ゆたんぽや」だ、も當時アンペラ張りの裸蝋燭に湯たんぽを抱いた一人か、そして彼は「儲りましたなあ―」と縮んだ。

海の唄 『五三』

神木貞一作　林唯一畫

疑惑（九）

昨夜から一睡もさらなかったので、月枝は京子が歸って了ふと、間もなく煖爐に火を入れて、うとうとと寢てしまった。

和雄は、田部に摸ぐられた時から、京子の歸るまで、何が何だかまるで夢の中に暮してしまったやうな感じがしてならなかった。

だんだん、頭や身體が痛み出して、胸は引むしられるやうに寂しかった。そして悲しくなった。

「すべてが運命のさすらひだ」

かう思ふと。和雄は、もうそこに、ぢっとしてはゐられない。そっと視線を、そらして月枝を見れば、彼女はもういつか熟睡に落ちてゐる。

和雄は、フラフラと起ち上るさ、傍のマントを、ちょっと引っかけて外へ出た。そして、當もなく停車場の方へ歩いた。

「なんだって、俺は呼び返してやらなかったんだらう？」

再び、悔恨の情が心の底に、冷たく瞳を擡げて來た。

そして、時々、冬枯の郊外に、白く光るトタン屋根の照り返しが強く疲れた和雄の眼底を射た。

いつか停留場の前まで來てゐたポケットのパスを、何と云ふ氣なしに改札へ示すさ、ホームへ出たそこから來合せた電車に乘り込んだ。

何時も、和雄が出勤する時間より、ずっと早いので、電車は可なりこんでゐた。

「あゝ、今頃が、やはりラッシュアワーか」

漸く氣付いたやうに心に云ってみた。

和雄が乘った列車が次の驛へ着くさ、まるで京子と姉妹でもあるかと思はれる一人の女が乘り込んだ。そして、而も和雄の隣りに立ち並んで吊り皮を握った。

稍々さした、その女の腕の肉付から、強く昨夜の京子を感じて、和雄は、吊り皮を握ったまゝ、法廷に立たされた囚人のやうに首垂れた。

「京子は、途中、思ひ返して、すなほに大阪へ歸ってくれたらうか？」

またも、かう考へるのだった。

大勢の他人がゐるので、理性の指揮を仰いで黙と心を落附かせたが、いつかまた感情で心は一杯になって了った。

「綺に、俺は一人の女を殺したのか！」

不用意にも、和雄は、かう聲を出してしまった。それは、車の動搖に混じって、さう聞きされるほどのものではなかったが、和雄の隣りの女には聞えたらしい。

その女は、和雄の歪んだ蒼白に疲れた横顔を、そっと偸み見た。そして、和雄の顔の様子から、何かしらない悩みでも、分けて貰ってもいゝと云った表情をした。

それから二十分も過ぎたころ、そこで乘り替へたのかも分ら

なかったのに、新宿の驛へ着いてゐた。さっきの女が、まだ、和雄の横にゐた。

そして、和雄が下りると、その女も下りて來た。和雄は改札を出ると、寂しさ、悩ましさを押へ切れず、そのまゝ電車線に沿って右側のペーブメントを、歩いて來た。

武藏野館への入口のところまで來て、和雄がキネマの方へ曲るさまた、さっきの女が彼の後からうつ向き加減にして歩いてきた。

丁度、その日から「キーン」と「ボージエスト」とのサイレント週間が始まらうとしてゐた。

そこには、ハムレット役者として、英國當代隨一と稱せられたエドマンド・キーンに扮したイヴアン・モジユヒンと、ケーフエルド伯爵夫人のナタリー・リセンコ嬢

さが、ゆくりなくも邂逅して、初めて握り合った手に、喜びは高く躍る心臓を震はせながら、大きく瞠くその眼ざしを見交した時のスチールが貼り出されてゐた。和雄は、思はずそこに立ち止まった。

その時、さっきの女は、するすると武藏野館の中へ消えて行った。

和雄は、またも京子の幻像を瞼の裏に描いて茫然と佇んだ。

滿日俳壇募集規定

次回課題「夜寒」「秋の雨」「コスモス」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題列紙▲各用紙に必ず雅號氏名を記し置くこと▲締切九月二十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

滿日柳壇課題

△祝吟「滿日二十五周年記念」△課題「虫」「又聞」「新築」△句數 祝吟三句、其他五句限△締切 九月二十日（各題別記）△宛所 大連市彌生町高橋月南